



福島県立美術館
年報
平成28年度
2016



福島県立美術館年報
平成 28 年度 (2016)

目 次

設置の目的と立地	2
沿革	3
平成 28 年度主要記事	4
第 1 節 委員会等	4
美術館運営協議会	
他館等との連携	
第 2 節 収集・保存	5
収集作品点数	
収集評価委員会	
平成 28 年度収集作品	
図書資料の収集	
保存管理	
第 3 節 展示事業	19
常設展	
企画展	
観覧者数一覧	
第 4 節 調査研究事業	56
第 5 節 普及事業	56
館内解説	
鑑賞講座	
実技教室	
美術館への年賀状展	
博物館実習	
美術館・学校教育連携事業	
友の会、協力会との連携	
その他の事業	
関係法規	62
予算	68
施設・設備	69
施設配置図	70
組織図・職員名簿	71
利用案内	72

◆設置の目的と立地



福島県立美術館は、すぐれた美術作品にふれることで人々の感受性が高まり、情操が養われ、憩いと喜びのなかに創造の手がかりが得られる場として、1984（昭和59）年7月に、隣接する福島県立図書館とともに設けられました。

この目的のために、収蔵作品の充実をはかり、貴重な文化財である美術品の保存につとめ、継続的な調査研究にもとづく展示・普及事業を積極的に展開するとともに、美術に関するさまざまな情報を提供します。

美術館は、福島市のシンボルであり、憩いの場として親しまれている信夫山のふもとにあります。福島駅からも近く、交通の便もよい場所にありながら、野鳥の声もきこえる静かで落ち着いた環境にあります。60,000㎡もの広大な敷地には、樹木や花々、広い芝生や日本庭園があり、散策や休息の場として親しまれています。

美術館と図書館は、多面的な機能と豊富な情報にもとづく、さまざまなサービスを提供することによって、見る・聴く・語る・作る・考える空間として活用していただくことをめざしています。

◆沿革

1977年	5月	文化を考える県民会議を設置	10月	18日以降臨時休館となる（-2000年7月
	6-8月	文化に関する県民意識調査を実施		19日）空調機械改修工事（第一期）着工
1978年	1月	文化を考える県民会議より「県の文化振興について」を県知事に報告		「移動美術館」開始（第1回は喜多方市美術館）
	7月	文化振興会議を設置	2000年	3月 『福島県立美術館所蔵作品選 ポケット・ミュージアム』発行
1979年	2月	文化振興会議より「文化振興策の具体策について」を県知事に報告		4月 第四代館長に酒井哲朗が就任（-2012年3月）
	3月	文化施設等整備基金条例制定		7月 空調機械工事（第一期）竣工、再開館（20日）
	4月	県教育庁文化課内に文化施設班を置く	2001年	11月 19日以降臨時休館となる（-2002年4月
	6月	福島県立美術館基本構想検討委員会を設置（委員10人を委嘱）		26日）空調機械工事（第二期）等着工
	12月	美術品等取得基金条例制定	2002年	3月 空調機械工事（第二期）、展示室改修工事竣工（県立図書館空調工事も竣工）
1980年	1月	「福島県立美術館建設基本構想について」を同委員会より知事に報告		4月 再開館（27日） レストラン「カフェ・ドゥ・ミュゼ ムスターシュ」開店（-2008年3月
	2月	美術館・図書館の建設地を福島市に決定 版画家斎藤清氏より県に自作227点が寄贈される		23日）
	4月	福島県立美術館収集評価委員会を設置（委員7人を委嘱） 美術館・図書館の建設地を福島大学経済学部跡地に決定	2003年	4月 「美術館友の会（仮称）設立に向けて県民の意見を聴く会」を設置 高校生以下の常設展観覧料金を無料化 「福島県立美術館友の会設立発起人会」を開催、友の会発足
	5月	第1回収集評価委員会開催、ワイエス「松ぼっくり男爵」他の購入を決定	2004年	6月 「特定非営利活動法人 福島県立美術館協力会」発足
	12月	美術館基本設計を委託（大高建築設計事務所）		7月 「アートオブスター・ウォーズ展」開催、77,601人の観覧者を記録する
1981年	7月	美術館実施設計を委託（大高建築設計事務所）		10月 開館20周年記念展「田園の夢」開催
1982年	7月	美術館設計工事着工	2005年	3月 『収蔵作品図録1990-2005』発行
1984年	3月	美術館本体工事完了 福島県立美術館条例を議決	2006年	5月 入館者通算200万人を記録する
	4月	福島県立美術館設置		8月 初の県立美術館・図書館連携事業として「アートな おはなしかい」を開催
	6月	福島県立美術館博物館所管の県有美術品365点を移管	2008年	10月 レストラン「ミュゼ・ドゥ・カナール」新装開店
	7月	開館（22日）初代館長に原田實が就任（-1989年3月） 開館記念展第1部「戦後の名作に見る人間像」展開催 『所蔵品図録抄』を発行	2009年	7月 開館25周年記念展「福島県立美術館のすべて」「文化の力」「アルバム」展開催
	10月	第1回運営協議会開催	2011年	3月 12日以降東日本大震災の被害により臨時休館となる（-4月25日）
1986年	3月	『研究紀要第1号』発行		4月 再開館（26日）
1989年	4月	第二代館長に佐藤昌志が就任（-1990年3月）		5月 入館者通算300万人を記録
1990年	3月	『収蔵作品図録1984-1989』発行	2012年	2月 震災復旧工事のため1日以降臨時休館となる（-4月6日）
	4月	館長事務代行を教育長兼務とする（-1992年3月）		4月 第五代館長に早川博明が就任
1992年	4月	第三代館長に長谷部満彦が就任（-2000年3月）	2013年	7月 再開館（7日） 「若冲が来てくれました」展開催、155,592人の観覧者を記録する
1994年	7月	開館10周年記念展「ルネサンスの絵画」「日本画の風景」開催	2014年	7月 開館30周年記念展「コレクション・クッキング」展開催
1995年	6月	入館者通算100万人を記録する	2015年	4月 6日以降臨時休館となる（-2016年4月
1998年	4月	「ピカソ回顧展」開催、67,125人の観覧者を記録する		1日）空調設備等改修工事着工
1999年	3月	屋根改修工事着工	2016年	4月 再開館（2日） 名誉館長に酒井哲朗が就任 「フェルメールとレンブラント」展開催、104,510人の観覧者を記録する
	8月	屋根改修工事のため23日以降常設展を休止（-2000年7月19日）		
	9月	通算100本目の企画展「生誕100年関根正二展」を開催		

◆平成 28 年度主要記事 (2016.4 - 2017.3)

第 1 節 委員会等

平成 28 (2016) 年

- 4月 1日 空調設備等改修工事にともなう休館(平成 27 年 4 月 6 日 -)
菅野 徹総務課長・玉木文夫専門員着任
- 4月 2日 再開館
「第 I 期常設展」開幕(-7 月 3 日)
- 4月 6日 「フェルメールとレンブラント」展開幕(-5 月 8 日)
- 5月 5日 常設展無料観覧日(こどもの日)
- 5月 26日 【協力会】理事会、総会
- 5月 26日 全国美術館会議総会出席(福岡市、-27 日)
- 5月 28日 「よみがえるオオカミ」展開幕(-7 月 3 日)
- 6月 4日 【友の会】通常総会
- 6月 11日 「移動美術館」国見町で開幕(-19 日)
- 7月 9日 「第 II 期常設展」開幕(-10 月 9 日)
- 7月 16日 「エドワード・ゴッリーの優雅な秘密」展開幕(-8 月 28 日)
- 7月 31日 佐藤泰彦副館長退職
- 8月 1日 石幡 敦副館長着任
- 8月 21日 常設展無料観覧日(県民の日)
- 9月 10日 「被災地からの発信」展開幕(-10 月 10 日)
- 9月 19日 常設展無料観覧日(敬老の日)
- 10月 15日 「第 III 期常設展」開幕(-12 月 25 日)
- 10月 29日 「広重ビッド」展開幕(-12 月 11 日)
- 11月 3日 常設展無料観覧日(文化の日)
- 12月 26日 臨時休館および年末年始休館(-1 月 6 日)

平成 29 (2017) 年

- 1月 7日 「第 IV 期常設展」開幕(-3 月 20 日)
- 1月 12日 「美術館への年賀状展」開幕(-31 日)
- 1月 21日 「Gallery F コレクション再発見」(第 1 部) 開幕(-2 月 12 日)
- 2月 18日 「Gallery F コレクション再発見」(第 2 部) 開幕(-3 月 12 日)
- 2月 23日 平成 28 年度収集評価委員会
- 3月 2日 美術館・図書館合同消防訓練
- 3月 10日 平成 28 年度運営協議会
- 3月 21日 館内消毒にともなう臨時休館(-4 月 7 日)
- 3月 31日 伊藤 匡学芸課長退職、石幡 敦副館長・曳地香代子主査転任

1 美術館運営協議会

(1) 委員

- 山口 功 福島県中学校教育研究会美術専門部所属
(平成 25.1.1 ~)
- 番匠あつみ 福島県高等学校教育研究会美術工芸部会所属
(平成 27.1.1 ~)
- 杉 昭重 公益財団法人福島県文化振興財団理事長
(平成 29.1.1 ~)
- 坂本節子 福島県家庭教育インストラクターいわきの会事務局長
(平成 25.1.1 ~)
- 齋藤勝正 福島県美術家連盟会長
(平成 29.1.1 ~)
- 本保 晃 日本放送協会福島放送局長
(平成 27.10.17 ~)
- 星真智子 西会津国際芸術村事務局長
(平成 27.1.1 ~)
- 清水真砂 世田谷美術館分館長
(平成 27.1.1 ~)
- 齋藤美保子 郡山女子大学短期大学部教授
(平成 27.1.1 ~)
- 舟木藤弘 福島県立美術館友の会理事
(平成 29.1.1 ~)

(2) 協議会の開催

期日：平成 29 年 3 月 10 日(金)

内容：・運営協議会会長及び副会長の選出

- ・平成 28 年度事業実施の概要
- ・平成 29 年度事業計画案の概要
- ・その他(県立美術館の運営等について)

2 他館等との連携

県内外の博物館施設および全国組織等との連携を図り運営・事業等に関する情報交換や研修等を実施した。

〈加盟団体〉

- ・全国美術館会議 (理事)
- ・日本博物館協会 (会員)
- ・日本博物館協会東北支部 (監事)
- ・東北地区博物館協会 (監事)
- ・福島県博物館連絡協議会 (理事)

第2節 収集・保存

優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、文化財を保存継承するために、コレクション(収蔵作品)の収集活動を継続的に行っている。

平成28年度は146点の作品、および美術資料23件を寄贈により収蔵した。

1 収蔵作品点数(平成29年3月31日現在)

種別	購入点数	受贈点数	移管点数	合計
海外作品	421	29	0	450
日本画	75	152	116	343
洋画	99	707	96	902
素描・下絵	15	172	17	204
版画	376	732	40	1,148
写真	0	390	20	410
立体	14	76	48	138
工芸	76	45	33	154
書	0	3	36	39
美術資料(件数)	1	57	4	62
合計	1,077点	2,363点	410点	3,850点

2 収集評価委員会

(1) 委員

- 原田 光 元岩手県立美術館長(平成23.12.1～)
 村田真宏 豊田市美術館長(平成23.12.1～)
 荒屋鋪透 元ポーラ美術館長(平成23.12.1～)
 三上満良 宮城県美術館副館長(平成23.12.1～)
 佐々木吉晴 いわき市立美術館長(平成23.12.1～)

(2) 委員会の開催

期日：平成29年2月23日(木)

内容：・平成27年度収集作品の報告

・平成28年度収集候補作品について

3 平成28年度収蔵作品

(1) 美術作品及び美術資料の収集

国内：日本画	小川千襲	19点
	小川芋銭	1点
	佐藤玄々(朝山)	1点
	米倉 兌	3点
国内：洋画	小川千襲	72点
	田口安男	18点
	平岡権八郎	1点
	米倉 兌	8点
国内：素描・下絵	田口安男	7点
国内：版画	亜欧堂田善	1点
	安部直人	4点
国内：立体	佐藤玄々(朝山)	9点

国内：書	小川千襲	1点
	小川芋銭	1点
国内：資料	小川千襲資料	1件
	荻生天泉資料	21件
	井上定雄旧蔵資料	1件
	計146点 美術資料23件	

(2) 新収蔵作品一覧

1. 小川千襲(1882-1971)

《さすらひの楽師(西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 64.5×30.3cm 小川三郎氏寄贈



2. 小川千襲(1882-1971)

《ダンスの女(西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.3×30.3cm 小川三郎氏寄贈



3. 小川千襲(1882-1971)

《パリの辻待馬車の馭者(西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.4×30.2cm 小川三郎氏寄贈



4. 小川千襲(1882-1971)

《フランススカンの僧(西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 64.8×30.2cm 小川三郎氏寄贈



5. 小川千襲(1882-1971)

《ベニスの Gondola(西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.8×30.2cm 小川三郎氏寄贈



6. 小川千襲 (1882-1971)

《ベルリンの花売女 (西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.7 × 30.0cm 小川三郎氏寄贈



7. 小川千襲 (1882-1971)

《ペンキ職人 (巴里所見) (西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 64.1 × 30.0cm 小川三郎氏寄贈



8. 小川千襲 (1882-1971)

《ホーレンダムの娘 (西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.6 × 30.1cm 小川三郎氏寄贈



9. 小川千襲 (1882-1971)

《ループルの横写女 (西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.8 × 30.0cm 小川三郎氏寄贈



10. 小川千襲 (1882-1971)

《英国の龍騎兵 (西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.2 × 30.3cm 小川三郎氏寄贈



11. 小川千襲 (1882-1971)

《独逸の大学生 (西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.3 × 30.0cm 小川三郎氏寄贈



12. 小川千襲 (1882-1971)

《南伊太利の女 (西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.5 × 30.1cm 小川三郎氏寄贈



13. 小川千襲 (1882-1971)

《旅館のおとこ (西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.6 × 29.8cm 小川三郎氏寄贈



14. 小川千襲 (1882-1971)

《倫敦塔の番人 (西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.9 × 29.0cm 小川三郎氏寄贈



15. 小川千襲 (1882-1971)

《和蘭白耳義の犬車 (西洋風俗大津絵のうち)》1914年
紙・木版、着色 63.7 × 30.0cm 小川三郎氏寄贈



16. 小川千襲 (1882-1971)

《[舞子風景]》1906年 紙・水彩
24.0 × 33.2cm 小川三郎氏寄贈



17. 小川千襲 (1882-1971)

《[伊予丸にて]》1913年 紙・水彩
24.8 × 18.1cm 小川三郎氏寄贈



18. 小川千襲 (1882-1971)
 《[外国風景]》1913年 紙・水彩
 24.7 × 17.9cm 小川三郎氏寄贈



19. 小川千襲 (1882-1971)
 《[舟と煙]》1914年 紙・水彩
 24.7 × 18.7cm 小川三郎氏寄贈



20. 小川千襲 (1882-1971)
 《[城の門]》1914年 紙・水彩
 38.5 × 28.3cm 小川三郎氏寄贈



21. 小川千襲 (1882-1971)
 《土浦にて [(柳)]》1914年11月12日 紙・水彩
 26.0 × 19.8cm 小川三郎氏寄贈



22. 小川千襲 (1882-1971)
 《於土浦》1914年11月17日 紙・水彩
 25.2 × 18.2cm 小川三郎氏寄贈



23. 小川千襲 (1882-1971)
 《土浦にて》1914年11月17日 紙・水彩
 25.8 × 19.8cm 小川三郎氏寄贈



24. 小川千襲 (1882-1971)
 《[たき火]》1914年12月 紙・水彩
 31.4 × 22.8cm 小川三郎氏寄贈



25. 小川千襲 (1882-1971)
 《[女性像]》1914年1月 紙・水彩
 24.7 × 18.7cm 小川三郎氏寄贈



26. 小川千襲 (1882-1971)
 《[岩山の麓の蔵]》1914年5月 紙・水彩
 24.7 × 18.7cm 小川三郎氏寄贈



27. 小川千襲 (1882-1971)
 《上総勝浦にて》1914年5月5日 紙・水彩
 24.6 × 18.0cm 小川三郎氏寄贈



28. 小川千襲 (1882-1971)
 《[外国の玩具]》1914年8月 紙・水彩
 30.1 × 23.0cm 小川三郎氏寄贈



29. 小川千襲 (1882-1971)
 《[干し草積み]》1915年 紙・水彩
 18.0 × 25.1cm 小川三郎氏寄贈



30. 小川千襲 (1882-1971)
 《[海沿いの道]》1915年 紙・水彩
 25.2 × 18.1cm 小川三郎氏寄贈



31. 小川千襲 (1882-1971)
 《[水郷 ポプラ]》1915年 紙・水彩
 24.4 × 33.2cm 小川三郎氏寄贈



32. 小川千襲 (1882-1971)
 《[山麓の畑]》1915年11月 紙・水彩
 39.5 × 28.8cm 小川三郎氏寄贈



33. 小川千襲 (1882-1971)
 《於高野村》1915年11月14日 紙・水彩
 21.2 × 32.2cm 小川三郎氏寄贈



34. 小川千襲 (1882-1971)
 《[田園風景 点描]》1915年12月 紙・水彩
 19.7 × 16.7cm 小川三郎氏寄贈



35. 小川千襲 (1882-1971)
 《[漁村風景、犬と鶏]》1915年1月 紙・水彩
 26.5 × 35.4cm 小川三郎氏寄贈



36. 小川千襲 (1882-1971)
 《[早春風景]》1915年1月 紙・水彩
 17.0 × 28.5cm 小川三郎氏寄贈



37. 小川千襲 (1882-1971)
 《[田園風景]》1915年1月 紙・インク
 33.7 × 26.7cm 小川三郎氏寄贈



38. 小川千襲 (1882-1971)
 《[黒犬]》1915年1月 紙・水彩
 38.1 × 28.0cm 小川三郎氏寄贈



39. 小川千襲 (1882-1971)
 《上総御宿の港にて》1915年1月25日 紙・水彩
 23.0 × 30.3cm 小川三郎氏寄贈



40. 小川千襲 (1882-1971)
 《[街道風景]》1915年3月 紙・水彩
 33.2 × 23.6cm 小川三郎氏寄贈



41. 小川千襲 (1882-1971)
 《[耕す人二人]》1915年3月 紙・水彩
 30.2 × 22.8cm 小川三郎氏寄贈



42. 小川千襲 (1882-1971)
《[野菜畑を耕す]》1915年3月 紙・水彩
24.8 × 18.7cm 小川三郎氏寄贈



43. 小川千襲 (1882-1971)
《[田園春景]》1915年3月 紙・水彩
27.0 × 32.5cm 小川三郎氏寄贈



44. 小川千襲 (1882-1971)
《[土手]》1915年3月 紙・水彩
26.3 × 36.8cm 小川三郎氏寄贈



45. 小川千襲 (1882-1971)
《[漁村風景]》1915年3月25日 紙・水彩
23.0 × 30.0cm 小川三郎氏寄贈



46. 小川千襲 (1882-1971)
《[花見]》1915年4月 紙・水彩
38.2 × 27.7cm 小川三郎氏寄贈



47. 小川千襲 (1882-1971)
《[船着き場]》1915年4月 紙・水彩
33.4 × 24.5cm 小川三郎氏寄贈



48. 小川千襲 (1882-1971)
《[蔵と畑]》1915年4月3日 紙・水彩
33.5 × 24.3cm 小川三郎氏寄贈



49. 小川千襲 (1882-1971)
《[船橋附近にて]》1915年4月5日 紙・水彩
24.7 × 33.4cm 小川三郎氏寄贈



50. 小川千襲 (1882-1971)
《[於船橋]》1915年4月5日 紙・水彩
24.3 × 33.3cm 小川三郎氏寄贈



51. 小川千襲 (1882-1971)
《[井戸]》1915年5月 紙・水彩
33.1 × 24.3cm 小川三郎氏寄贈



52. 小川千襲 (1882-1971)
《[取手にて]》1915年5月 紙・水彩
24.4 × 33.2cm 小川三郎氏寄贈



53. 小川千襲 (1882-1971)
《[舟、畑]》1915年5月 紙・水彩
26.5 × 26.9cm 小川三郎氏寄贈



54. 小川千襲 (1882-1971)
 《[帆掛け船]》1915年5月 紙・水彩
 33.3 × 24.4cm 小川三郎氏寄贈



55. 小川千襲 (1882-1971)
 《[庭園 犬二匹]》1915年5月5日 紙・水彩
 33.4 × 24.2cm 小川三郎氏寄贈



56. 小川千襲 (1882-1971)
 《[春の山]》1915年5月5日 紙・水彩
 33.3 × 24.7cm 小川三郎氏寄贈



57. 小川千襲 (1882-1971)
 《[潮来にて]》1915年6月 紙・水彩
 24.3 × 33.0cm 小川三郎氏寄贈



58. 小川千襲 (1882-1971)
 《[芝居の馬車]》1916年10月 紙・水彩
 34.5 × 25.8cm 小川三郎氏寄贈



59. 小川千襲 (1882-1971)
 《[大嶋元村三原館より]》1916年1月7日 紙・水彩
 24.2 × 23.2cm 小川三郎氏寄贈



60. 小川千襲 (1882-1971)
 《[大島の灯台]》1916年頃 紙・水彩
 25.0 × 18.2cm 小川三郎氏寄贈



61. 小川千襲 (1882-1971)
 《[大島風景]》1916年頃 紙・水彩
 24.9 × 18.1cm 小川三郎氏寄贈



62. 小川千襲 (1882-1971)
 《[於新宮]》1917年 紙・水彩
 18.0 × 24.8cm 小川三郎氏寄贈



63. 小川千襲 (1882-1971)
 《[紀伊新宮熊野 画稿]》1917年 紙・水彩
 24.1 × 33.1cm 小川三郎氏寄贈



64. 小川千襲 (1882-1971)
 《[南紀熊野川口]》1917年3月 紙・水彩
 24.2 × 33.3cm 小川三郎氏寄贈



65. 小川千襲 (1882-1971)
 《[下関銀水にて]》1920年2月3日 紙・墨
 15.8 × 23.4cm 小川三郎氏寄贈



66. 小川千襲 (1882-1971)
 《[水汲み]》1922年頃 カンヴァス・油彩
 72.0 × 49.0cm 小川三郎氏寄贈



67. 小川千襲 (1882-1971)
 《[漁村風景 (かごを背負う女性)]》制作年不詳 紙・水彩
 22.0 × 27.6cm 小川三郎氏寄贈



68. 小川千襲 (1882-1971)
 《[舟に干し草を積む]》制作年不詳 紙・水彩
 32.9 × 24.4cm 小川三郎氏寄贈



69. 小川千襲 (1882-1971)
 《[水辺の道]》制作年不詳 紙・水彩
 19.7 × 26.0cm 小川三郎氏寄贈



70. 小川千襲 (1882-1971)
 《[農婦と農夫]》制作年不詳 紙・水彩
 23.7 × 18.2cm 小川三郎氏寄贈



71. 小川千襲 (1882-1971)
 《[オリーブ色の山景 画稿]》制作年不詳 紙・水彩
 24.8 × 32.4cm 小川三郎氏寄贈



72. 小川千襲 (1882-1971)
 《[葦 淡彩]》制作年不詳 紙・水彩
 24.3 × 33.2cm 小川三郎氏寄贈



73. 小川千襲 (1882-1971)
 《[遠景・雲・山]》制作年不詳 紙・水彩
 24.2 × 33.1cm 小川三郎氏寄贈



74. 小川千襲 (1882-1971)
 《[遠景・雲・草]》制作年不詳 紙・水彩
 24.2 × 32.9cm 小川三郎氏寄贈



75. 小川千襲 (1882-1971)
 《[丘陵と煙突]》制作年不詳 紙・水彩
 25.8 × 35.8cm 小川三郎氏寄贈



76. 小川千襲 (1882-1971)
 《[漁村 画稿]》制作年不詳 紙・水彩
 23.0 × 30.2cm 小川三郎氏寄贈



77. 小川千襲 (1882-1971)
 《[山麓・農作業]》制作年不詳 紙・水彩
 29.2 × 24.3cm 小川三郎氏寄贈



78. 小川千襲 (1882-1971)
《[舟 淡彩]》制作年不詳 紙・水彩
24.5 × 33.2cm 小川三郎氏寄贈



79. 小川千襲 (1882-1971)
《[京都郊外]》制作年不詳 紙・水彩
24.0 × 44.0cm 小川三郎氏寄贈



80. 小川千襲 (1882-1971)
《[舟とガス灯]》制作年不詳 紙・水彩
33.1 × 20.1cm 小川三郎氏寄贈



81. 小川千襲 (1882-1971)
《[水郷・紫]》制作年不詳 紙・水彩
31.7 × 25.0cm 小川三郎氏寄贈



82. 小川千襲 (1882-1971)
《[水郷風景 (女性)]》制作年不詳 紙・水彩
33.6 × 50.0cm 小川三郎氏寄贈



83. 小川千襲 (1882-1971)
《[村道 淡彩]》制作年不詳 紙・水彩
24.7 × 33.4cm 小川三郎氏寄贈



84. 小川千襲 (1882-1971)
《[笛吹き]》制作年不詳 紙・墨、水彩
33.0 × 24.1cm 小川三郎氏寄贈



85. 小川千襲 (1882-1971)
《[水郷風景 天秤担ぎ]》制作年不詳 紙・水彩
34.2 × 48.8cm 小川三郎氏寄贈



86. 小川千襲 (1882-1971)
《[船橋■村]》制作年不詳 10月21日 紙・水彩
24.3 × 33.0cm 小川三郎氏寄贈



87. 小川千襲 (1882-1971)
《[鯨波]》制作年不詳 7月6日 紙・水彩
30.2 × 23.0cm 小川三郎氏寄贈

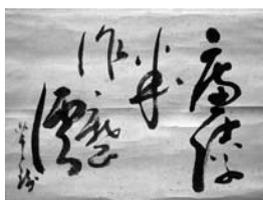


88. 小川千襲 (1882-1971)
《[スケッチブック]》121点
小川三郎氏寄贈

89. 小川芋銭 (1868-1938)
《[ニッ烟]》制作年不詳 (箱書 1919) 紙本着色
134.7 × 38.0cm 小川三郎氏寄贈



90. 小川芋銭（1868-1938）
《広陵半価》制作年不詳 紙本墨書
31.1 × 40.9cm 小川三郎氏寄贈



91. 小川千襲（1882-1971）
《観世音菩薩》1917年 紙本着色
135.1 × 33.7cm 星野画廊寄贈



92. 小川千襲（1882-1971）
《一帆順風》制作年不詳 紙本着色
44.5 × 61.0cm 星野画廊寄贈



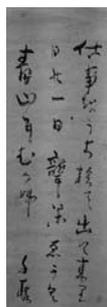
93. 小川千襲（1882-1971）
《漁樵問答》制作年不詳 絹本着色
132.5 × 41.2cm 星野画廊寄贈



94. 小川千襲（1882-1971）
《秋の芭蕉翁》制作年不詳 紙本墨画
127.6 × 22.9cm 星野画廊寄贈



95. 小川千襲（1882-1971）
《和歌書（新井謹也旧蔵）》制作年不詳 紙本墨画
85.1 × 27.3cm 星野画廊寄贈



96. 荻生天泉（1882-1946）資料 永川富士子氏寄贈
- (1) 資料 荻生天泉《画稿》44枚
 - (2) 資料 画会名簿 3冊 昭和11年1月～21年8月
 - (3) 資料 自筆草稿 2件
 - (4) 資料 自筆歌集 3冊
 - (5) 資料 画会案内 3部
 - (6) 資料 自筆履歴書 1冊
 - (7) 資料 授業講義録 1冊
 - (8) 資料 自筆花ごよみ 1冊
 - (9) 資料 印章 4顆 袋付き
 - (10) 資料 印矩 2点
 - (11) 資料 漢文写し 2枚
 - (12) 資料 書簡 40通 うち封筒欠1
 - (13) 資料 はがき 5葉
 - (14) 資料 複製絵はがき 3葉
 - (15) 資料 雑誌切り抜き 1冊 和漢美談幼年立志編
 - (16) 資料 達郡誌 1冊 成績優秀賞と墨書
 - (17) 資料 和漢朗詠集 1件 印刷物
 - (18) 資料 懐中三用便 1冊 明治11年刊行
 - (19) 資料 木版画便せん 72枚 4種 18枚ずつ
 - (20) 資料 霊夢譚渡書類 1綴り
 - (21) 資料 木箱 1点

97. 米倉 兌（1913-2000）
《兵庫港風景》1933年 紙・グアッシュ
38.0 × 55.0cm 米倉みなと氏寄贈



98. 米倉 兌（1913-2000）
《下駄ト植木ノ物干》1936年 紙・グアッシュ
47.4 × 64.2cm 米倉みなと氏寄贈



99. 米倉 兌（1913-2000）
《[森の小道]》1930年代後半 紙・グアッシュ
60.2 × 80.0cm 米倉みなと氏寄贈



112. 田口安男 (1930-)
《波から焔へ-B》1982年 カンヴァス・油彩、テンペラ
197.0 × 290.9cm 田口安男氏寄贈



113. 田口安男 (1930-)
《みもぎの手》1984年 カンヴァス・油彩、テンペラ
130.0 × 193.9cm 田口安男氏寄贈



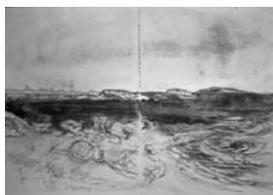
114. 田口安男 (1930-)
《もちあい三つ手》1984年 パネル・油彩、テンペラ
90.9 × 90.9cm 田口安男氏寄贈



115. 田口安男 (1930-)
《てふてふ》1985年8月10日-1990年10月 紙・水彩、鉛筆
25.5 × 25.3cm 田口安男氏寄贈



116. 田口安男 (1930-)
《風景 (オーストラリア)》2002年 紙・水彩、パステル、鉛筆
26.1 × 37.1cm 田口安男氏寄贈



117. 田口安男 (1930-)
《風景》2002年か 紙・水彩、パステル
24.0 × 64.0cm 田口安男氏寄贈



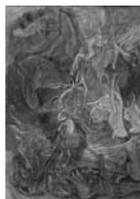
118. 田口安男 (1930-)
《手を織る手》2012年 紙・水彩、鉛筆
32.6 × 44.6cm 田口安男氏寄贈



119. 田口安男 (1930-)
《無題》2012-14年 紙・水彩、鉛筆
45.4 × 32.2cm 田口安男氏寄贈



120. 田口安男 (1930-)
《無題》2013年7月 紙・水彩、鉛筆
62.4 × 47.3cm 田口安男氏寄贈



121. 田口安男 (1930-)
《連星手眼》制作年不詳 紙・水彩、鉛筆
45.5 × 34.0cm 田口安男氏寄贈



122. 田口安男 (1930-)
《無題》制作年不詳 紙・水彩、鉛筆
63.5 × 48.0cm 田口安男氏寄贈



123. 田口安男 (1930-)
《無題》制作年不詳 紙・水彩、鉛筆
63.8 × 48.0cm 田口安男氏寄贈



124. 田口安男 (1930-)
《無題》制作年不詳 紙・水彩、鉛筆
63.0 × 46.6cm 田口安男氏寄贈



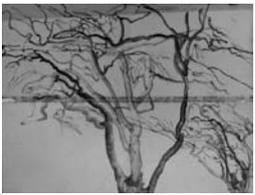
125. 田口安男 (1930-)
《無題》制作年不詳 紙・水彩、鉛筆
34.4 × 45.2cm 田口安男氏寄贈



126. 田口安男 (1930-)
《墨のドローイング（樹枝）1》制作年不詳 紙・墨
56.4 × 43.1cm 田口安男氏寄贈



127. 田口安男 (1930-)
《墨のドローイング（樹枝）2》制作年不詳 紙・墨、鉛筆
43.1 × 56.5cm 田口安男氏寄贈



128. 田口安男 (1930-)
《墨のドローイング（樹枝）3》制作年不詳 紙・墨
50.0 × 74.0cm 田口安男氏寄贈



129. 田口安男 (1930-)
《季節を通り抜けて 下図1》1980年頃 紙・鉛筆
27.4 × 39.6cm 田口安男氏寄贈



130. 田口安男 (1930-)
《季節を通り抜けて 下図2》1980年頃 紙・鉛筆
26.6 × 49.4cm 田口安男氏寄贈



131. 田口安男 (1930-)
《夢から紡ぎ 下図》1980年頃 紙・ボールペン、色鉛筆、サインペン 25.4 × 36.1cm 田口安男氏寄贈



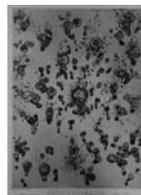
132. 田口安男 (1930-)
《波から焔へB 下図》1982年 紙・鉛筆、色鉛筆
34.7 × 49.8cm 田口安男氏寄贈



133. 垂欧堂田善 (1748-1822)
《イスパニア女帝コロンバス引見図》1804-18年頃
絹本銅版 51.8 × 52.4cm 蕪木颯子氏寄贈



134. 安部直人 (1952-)
《生成するイメージとその変容Ⅲ》1979年 紙・エッチング
24.5 × 17.6cm 安部直人氏寄贈



135. 安部直人 (1952-)
《腐食と侵食Ⅰ》1979年 紙・エッチング
29.6 × 12.0cm 安部直人氏寄贈



136. 安部直人 (1952-)
《腐食と侵食Ⅳ》1980年 紙・エッチング・アクアチント
29.5 × 21.6cm 安部直人氏寄贈



- 安部直人 (1952-)
《Meaning of Absence》1990年 紙・ディープエッチング・メ
ゾチント 42.0 × 59.5cm 安部直人氏寄贈



138. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)
《[南洋人物像]》1910年代 木彫彩色
48.5 × 25.0 × 27.0cm 横井美恵子氏寄贈



139. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)
《春》1917年 木彫彩色
29.5 × 28.5 × 18.5cm 横井美恵子氏寄贈



140. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)
《巢鶏》1920年頃 木彫彩色
16.9 × 18.0 × 25.2cm 横井美恵子氏寄贈



141. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)
《牛》1926年 木彫
20.5 × 27.0 × 13.0cm 横井美恵子氏寄贈



142. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)
《鳩》1931年頃 木彫
27.8 × 22.0 × 10.0cm 横井美恵子氏寄贈



143. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)
《[陶仏頭]》1945年 磁製
25.5 × 23.3 × 16.5cm 横井美恵子氏寄贈



144. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)
《諸葛孔明図》1947年 紙本墨画
138.0 × 50.8cm 横井美恵子氏寄贈



145. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)
《子鳩》1947年以降 木彫
6.2 × 12.2 × 6.3cm 横井美恵子氏寄贈



146. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)
《鶴》1947年以降 木彫彩色
22.0 × 8.0 × 4.0cm 横井美恵子氏寄贈



147. 佐藤玄々 (朝山) (1888-1963)
《山風》1947年以降 木彫彩色
41.5 × 50.8 × 11.0cm 横井美恵子氏寄贈



148. 平岡権八郎 (1883-1943)

《競争前》制作年不詳 カンヴァス・油彩

27.4 × 45.3cm 井上ヒデ子氏寄贈



149. 井上定雄旧蔵資料

《ムーラン・ルージュ、ラ・ゲーリュ 複製》

1) 石版 石灰岩 31.8 × 24.0 × 3.7cm

2) 石版画 紙・リトグラフ 30.4 × 19.1cm

井上ヒデ子氏寄贈



4 図書資料の収集

収蔵図書数 57,798冊 (平成29年2月26日現在)

5 保存管理

美術品の状態を維持回復し、美術品の保管・展示の環境を良好に保つために、計画的に美術品の修復や館内の保存環境調査を実施している。

(1) 保存環境調査の実施

時期:平成28年6月6日～20日、8月11日～26日(調査期間)

[報告書は7月20日、9月27日提出]

内容:展示室、収蔵庫、搬入口およびその他の館内外の虫菌害調査、酸アルカリ濃度測定等

(2) 美術作品の修復

平成28年度は河野保雄コレクションのガラス絵作品53点、山口薫《水》、鎌田正蔵《裸体》、長谷川利行《カフェオリエント》他12点、村上華岳《秋谿図》の修復を実施した。

(3) 放射線測定

美術館施設内および敷地内の放射線測定を実施、測定結果を当館ホームページで公開した。

時期:毎月1回、計12回測定

場所:美術館内および敷地内、計45か所

測定機種:ALOKA TCS-172 (γ線)、ALOKA TGS-146 (β線)

第3節 展示事業

1 常設展

収蔵および寄託の美術作品を展示している。美術の多様な領域や数多くの作家を紹介するとともに、作品の状態の保全に配慮して通常、年4回（版画は年8回）展示替えを行っている。

(1) 常設展示

① 「第1期常設展」

会期：平成28年4月2日(土)～7月3日(日)

内容：・特集 亜欧堂田善と渡辺光徳

- ・関根正二と大正洋画
- ・佐藤玄々（朝山）の彫刻
- ・吉井忠の絵画とその周辺
- ・アメリカ、フランスの美術
- ・斎藤清の版画：《会津の冬》《かすみ慈愛》など
- ・銅版画の魅力：長谷川潔、浜口陽三ほか

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考（*は寄託作品）]

展示室A

【特集・亜欧堂田善と渡辺光徳】

亜欧堂田善/医範提綱内象銅版図/1808頃/紙・銅版

亜欧堂田善/大日本龍山之図/制作年不詳/紙・銅版

亜欧堂田善/新訂万国全図/1810頃/紙・銅版

渡辺光徳/すか川なべし橋/1925/紙・銅版

渡辺光徳/風景/制作年不詳/紙・銅版

渡辺光徳/早川雪洲像/1931/紙・銅版

渡辺光徳/すか川御隠居岳/制作年不詳/紙・銅版

渡辺光徳/すか川の町はづれ/制作年不詳/紙・銅版

【日本画】

山口華楊/畑/1925/絹本着色、屏風二曲一隻

平福百穂/ふき/制作年不詳/紙本墨画淡彩、屏風二曲一隻

小茂田青樹/薫房/1927/紙本着色、屏風二曲一双

池田遙邨/大漁/1932/絹本着色、屏風二曲一隻

酒井三良/江南春色/1940/紙本墨画淡彩

酒井三良/沖縄風俗/1955/紙本墨画淡彩

酒井三良/松籟/1964/紙本墨画淡彩

中島清之/胡瓜/1923/絹本着色

勝田蕉琴/煙る小雨/1922/絹本着色

速水御舟/女二題/1931/絹本着色

橋本関雪/倪雲林/1917/絹本着色

大山忠作/0先生/1946/紙本着色

大山忠作/爽涼/1980/紙本着色

福王寺法林/バドガオンの月/1982/紙本着色

展示室B

【関根正二と大正洋画】

岸田劉生/自画像/1914/カンヴァス・油彩

村山槐多/庭園の少女/1914/紙・水彩

関根正二/真田吉之助夫妻像/1918/カンヴァス・油彩

関根正二/一本杉の風景/1918/カンヴァス・油彩

関根正二/自画像/1918/カンヴァス・油彩

【佐藤玄々（朝山）の彫刻】

佐藤玄々（朝山）/山兔/1951頃/木彫彩色

佐藤玄々（朝山）/鼠/1930頃/木彫

*佐藤玄々（朝山）/南洋人物/制作年不詳/木彫彩色/横井美恵子コレクション

*佐藤玄々（朝山）/春/1917/木彫彩色/横井美恵子コレクション

*佐藤玄々（朝山）/牛/1926/木彫/横井美恵子コレクション

*佐藤玄々（朝山）/鳩/1931頃/木彫彩色/横井美恵子コレクション

*佐藤玄々（朝山）/陶仏頭/1945/磁製/横井美恵子コレクション

【吉井忠の洋画/その周辺】

吉井忠/空の祭壇/1937/カンヴァス・油彩

吉井忠/森林帯/1938/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション

*吉井忠/毛馬内風景/1943/カンヴァス・油彩

吉井忠/くろみを割る自画像/1941/カンヴァス・油彩

吉井忠/街/1949/カンヴァス・油彩

吉井忠/広津先生/1962/カンヴァス・油彩

吉井忠/寓話/1966/カンヴァス・油彩

*吉井忠/晴れた日（平泉）/1975/カンヴァス・油彩

長谷川利行/浅草の女/1935/カンヴァス・油彩

松本竣介/駅/1942/板に紙・油彩

麻生三郎/家族/1959/カンヴァス・油彩

寺田政明/いきもの/1959/カンヴァス・油彩

中谷泰/炭坑町/1963/カンヴァス・油彩

展示室C

【アメリカ、フランスの美術】

ジョン・スローン/サンタフェからの二人の女/1921/カンヴァス・油彩

ベン・シャーン/W.P.A. サンデー/1939/紙・グアッシュ

ベン・シャーン/スイミングプール/1945/ボード・テンペラ

ベン・シャーン/恐怖の夜の町/1951/ボード・グアッシュ、テンペラ

アンドリュウ・ワイエス/ガニング・ロックス/1966/紙・水彩

アンドリュウ・ワイエス/ドイツ人の住むところ/1973/紙・水彩

アンドリュウ・ワイエス/松ぼっくり男爵/1976/ボード・テンペラ

アンドリュウ・ワイエス/農場にて/1988/紙・水彩

アンドリュウ・ワイエス/そよ風/1978/紙・水彩

オーギュスト・ルノワール/帽子を被る女/制作年不詳/カンヴァス・油彩

クロード・モネ/ジヴェルニーの草原/1890/カンヴァス・油彩

カミーユ・ピサロ/エラニーの菜園/1899/カンヴァス・油彩

パブロ・ピカソ/二人の裸婦（18点組のうち1, 4, 7, 10, 13, 16, 18）/1945-46/紙・リトグラフ

展示室D

【斎藤清の版画】

斎藤清/会津の冬（御母堂）/1938-40/紙・木版

斎藤清/鏡（自画像）/1938頃/紙・木版

斎藤清/ヌード（B）/1950/紙・木版

斎藤清/野良犬、メキシコ/1956/紙・木版

斎藤清/ショッピングガール・パリ/1960/紙・木版

斎藤清/仏陀、阿修羅、奈良（C）/1959/紙・木版

斎藤清/白磁/1957/紙・木版

斎藤清/慈愛（E）/1978/紙・木版

斎藤 清/六月、鎌倉 (B) / 1972 / 紙・木版

斎藤 清/春の鎌倉, 甘繩神明宮 / 1983 / 紙・木版

斎藤 清/春の鶴ヶ城 (A) / 1988 / 紙・木版

斎藤 清/かすみ 慈愛 / 1991 / 紙・木版

【銅版画の魅力】

長谷川潔/アレキサンドル三世橋とフランスの飛行船 / 1930 / 紙・銅版

長谷川潔/サン=ポール=ド=ヴァンスの風景 / 1936 / 紙・銅版

長谷川潔/狐と葡萄 (ラ・フォンテーヌ寓話) / 1963 / 紙・銅版

長谷川潔/メキシコの鳩 / 1966 / 紙・銅版

浜口陽三/西瓜 / 1954 / 紙・銅版

浜口陽三/14のさくらんぼ / 1963 / 紙・銅版

浜田知明/初年兵哀歌 (歩哨) / 1954 / 紙・銅版

浜田知明/副校長D氏像 / 1956 / 紙・銅版

浜田知明/詩人 / 1963 / 紙・銅版/河野保雄コレクション

駒井哲郎/思い出 / 1948 / 紙・銅版

駒井哲郎/東の間の幻影 / 1950 / 紙・銅版

駒井哲郎/海底の祭 / 1951 / 紙・銅版

駒井哲郎/調理場 / 1960 / 紙・銅版

屋外・ホール彫刻

林 範親/路地裏 / 1994 / ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具

佐藤忠良/若い女・シャツ / 1982 / ブロンズ

エミリオ・グレコ/スケートをする女 / 1951 / ブロンズ

マリノ・マリーニ/騎手 / 1956-1957 / ブロンズ

井上武吉/My Sky Hole 89-2 / 1989 / ステンレス・鏡面磨き

*フェルナン・レジェ/歩く花 / 1952-53 原型作成/ブロンズ・エナメル塗装



② 「第Ⅱ期常設展」

会期：平成 28 年 7 月 9 日(土)～ 10 月 10 日(日)

内容：・特集 荻生天泉：《花卉虫鳥類写生図巻》《霊夢》

- ・斎藤清名作選：《凝視 (花)》《会津の冬 (坂下)》など
- ・洋画特集 草木のある風景：山川忠義《山村風景》など
- ・石原コレクション：ロダン《影の頭部》など
- ・エルンスト《博物誌》
- ・清宮質文の版画、ガラス絵

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考 (*は寄託作品)]

展示室 A

【特集・荻生天泉】

堀江繁太郎/荻生天泉〈東宮怨〉模写 / 1913 / 紙本墨画淡彩/福島県立図書館蔵

荻生天泉/花卉虫鳥類写生図巻 / 1921 / 紙本着色、卷子装

荻生天泉/書聖 / 1937 頃/絹本着色/福島県立図書館蔵

荻生天泉/三十六歌仙伊勢大輔 / 1941 / 絹本着色

荻生天泉/霊夢 / 1941 / 絹本着色

*荻生天泉/石山寺/制作年不詳/紙本着色、屏風二曲一隻

*荻生天泉/画稿 / 1946 以前/紙に墨画、鉛筆

『天泉画集』書籍 12 冊 / 1920-44 / 福島県立図書館蔵

*橋本雅邦/谿流洗馬図/明治期/絹本着色

*横山大観/山間旅行図 / 1901 / 絹本墨画

寺崎廣業/楊柳観音 / 1905 / 絹本墨画淡彩

勝田蕉琴/出城釈迦図 / 1907 / 絹本着色

勝田蕉琴/花鳥屏風/制作年不詳/絹本金地着色、屏風二曲一隻

荻生天泉/待宵 / 1925 / 絹本着色

太田秋民/唐美人図/制作年不詳/絹本着色

*太田秋民/秋の夜長 / 1927 / 絹本着色/☆

*土橋華城/清涼図 / 1912 以前/紙本着色/★

坂内青嵐/運動会之図 / 1915 / 紙本着色、屏風六曲一隻

*菱田春草/飛燕/明治期/紙本墨画

*今村紫紅/[人物図]/明治時代末期/絹本墨画淡彩/★

*寺崎廣業/蝦蟇仙人/明治期/絹本墨画/☆

【斎藤清 名品選】

斎藤 清/凝視 (花) / 1950 / 紙・木版/★

斎藤 清/パリ (3) / 1961 / 紙・木版/★

斎藤 清/雪のボストン / 1963 / 紙・コラグラフ/★

斎藤 清/門、鎌倉 (F) / 1973 / 紙・木版/★

斎藤 清/猜疑 / 1973 / 紙・木版/★

斎藤 清/地の幸 / 1989 / 紙・木版/★

斎藤 清/会津の冬 (坂下) / 1938-40 / 紙・木版/★

斎藤 清/会津の冬 (3) / 1970 / 紙・木版/★

斎藤 清/会津の冬 (17) / 1970 / 紙・木版/★

斎藤 清/会津の冬 残柿 A / 1973 / 紙・木版/★

斎藤 清/会津の冬 (50) / 1981 / 紙・木版/★

斎藤 清/会津の冬 (67) 坂下・立木観音 / 1987 / 紙・木版/★

斎藤 清/凝視 (猫) / 1948 / 紙・木版/☆

斎藤 清/雨のミシガン / 1956 / 紙・木版/☆

斎藤 清/セーヌ、パリ (B) / 1963 / 紙・コラグラフ/☆

斎藤 清/嵯峨、京都 (B) / 1965 / 紙・木版/☆

斎藤 清/競艶 / 1973 / 紙・木版/☆

斎藤 清/霊峰 (1) / 1980 / 紙・木版/☆
 斎藤 清/会津の冬 (窪) / 1938-40 / 紙・木版/☆
 斎藤 清/会津の冬 (14) / 1970 / 紙・木版/☆
 斎藤 清/会津の冬 (19) / 1970 / 紙・木版/☆
 斎藤 清/会津の冬 (51) / 1982 / 紙・木版/☆
 斎藤 清/会津の冬 (57) / 1982 / 紙・木版/☆
 斎藤 清/会津の冬 (71) 若松 / 1987 / 紙・木版/☆
 斎藤 清/会津の冬 (8) 川井 / 1981 / 紙本墨画
 斎藤 清/会津の冬 (5) 西会津・牧 / 1982 / 紙本墨画
 斎藤 清/秋の只見 / 1980 / 紙本著色

展示室 B

【洋画 草木のある風景】

山川忠義/山村雪景 / 1948 / カンヴァス・油彩
 大内のぶ子/樹林 / 1963 / カンヴァス・油彩
 吉井 忠/寓話 / 1966 / カンヴァス・油彩
 玉川信一/樹のある風景 / 1985 / カンヴァス・油彩
 田淵安一/豊饒の樹 未完の季節 NO.1 / 1978 / カンヴァス・油彩
 西村榮悟/草の風景 / 1989 / カンヴァス・油彩
 渡辺良雄/早春 / 2002 / カンヴァス・油彩
 田口安男/季節を通り抜けて (眼の影) (夢から紡ぎ) (彼方へ) /
 1980 / パネル・卵黄テンペラ

【関根正二と大正洋画】

木村莊八/樹の下に遊んでいる子供 / 1915 / カンヴァス・油彩
 村山槐多/樹木 (けやき) / 1917 頃 / 紙・木炭
 関根正二/一本杉の風景 / 1918 / カンヴァス・油彩
 関根正二/真田吉之助夫妻像 / 1918 / カンヴァス・油彩
 関根正二/自画像 / 1918 / カンヴァス・油彩
 関根正二/大樹 / 1915 / 紙・木炭
 関根正二/裸婦 / 1915 / 紙・木炭

【石原コレクション】

シャルル・デスピオ/裸婦/制作年不詳/紙・コンテ
 シャルル・デスピオ/裸婦椅像/制作年不詳/紙・コンテ
 シャルル・デスピオ/裸婦座像/制作年不詳/紙・コンテ
 シャルル・デスピオ/寄りかかる裸婦/制作年不詳/紙・コンテ
 エミリオ・グレコ/ELLISE No.3 / 1971 / 紙・エッチング
 オーギュスト・ロダン/柱上のフナイユ夫人の胸像 / 1898-1900 (1996
 鑄造) / ブロンズ
 オーギュスト・ロダン/《影》の頭部/制作年不詳 (1995 鑄造) / ブ
 ロンズ
 オーギュスト・ロダン/髪をすく女 / 1900 以前 (2002 鑄造) / ブロ
 ンズ
 舟越保武/R / 1986 / ブロンズ
 佐藤忠良/ジャコピン / 1977 / ブロンズ
 高田博厚/小さなトルソ / 1961 / ブロンズ
 掛井五郎/とんでもないよ / 1983 / ブロンズ
 桜井祐一/印度服の女 / 1976 / ブロンズ

展示室 C

ジョン・スローン/ジェファーソンマーケット、ナイト / 1911 / カン
 ヴァス・油彩
 野田英夫/牛乳ワゴン / 1936 / カンヴァス・油彩
 清水登之/十四番街の地下鉄駅 / 1918 / カンヴァス・油彩
 レジナルド・マーシュ/回転ブランコ / 1931 / 板・テンペラ

ベン・シャーン/トム・ムーニーの母親に挨拶するジミー・ウォーカー
 / 1932-33 / 紙・グアッシュ
 ベン・シャーン/農民にたずねよ / 1941 / ボード・グアッシュ
 ベン・シャーン/これがナチの残虐だ / 1942 / 紙・オフセット
 ベン・シャーン/我々は平和を望んでいる / 1946 / 紙・リトグラフ
 ベン・シャーン/これらあらゆる権利のために我々は闘いを開始したの
 だ / 1946 / 紙・リトグラフ
 ベン・シャーン/ラッキードラゴン / 1960 / 綿布・テンペラ
 アンドリュー・ワイエス/ドイツ人の住むところ / 1973 / 紙・水彩
 アンドリュー・ワイエス/松ぼっくり男爵 / 1976 / ボード・テンペラ
 アンドリュー・ワイエス/農場にて / 1988 / 紙・水彩
 アンドリュー・ワイエス/そよ風 / 1978 / 紙・水彩
 カミーユ・コロー/ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロ一家へ向かう池
 沿いの道 / 1873 / カンヴァス・油彩
 クロード・モネ/ジヴェルニーの草原 / 1890 / カンヴァス・油彩
 カミーユ・ピサロ/エラニーの菜園 / 1899 / カンヴァス・油彩

展示室 D

【エルンスト《博物誌》】

マックス・エルンスト / 『博物誌』 (34 点組のうち) / 1926 / 紙・フ
 ロッタージュ、コロタイプ
 (3) 地球を囲む小さなテーブル (6) 大草原 (8) 誤った位置 (11) 鞭
 打ち、もしくは火山岩の紐 (14) 栗の木のスタート (18) 木の葉の習
 性 (20) シーザーのパレット (23) 予防接種を受けたパン (24) 14
 歳以下の稲妻 (25) ダイヤモンド婚 (29) 光の輪 (32) すべてを忘
 れてしまうほど (34) イヴ、我々に残された唯一の女/以上★
 (4) 雪の結晶模様のショール (12) 戦場、洪水、地震の植物 (10) 彼
 女は秘密を隠しもっている (7) 彼ははるかかなたに落ちていくだろ
 う (16) 菩提樹は従順である (17) 魅惑的な糸糸 (19) 偶像 (21)
 壁すれすれに (22) 大陸に足を踏み入れろ (26) 振り子時計の起源
 (27) スフィンクスの馬小屋にて (30) 脱走者 (31) 太陽の通貨制度
 / 以上☆

【清宮質文の版画・ガラス絵】

清宮質文/ある空間 (蝶) / 1962 / 紙・木版/★
 清宮質文/火屋の中 / 1966 / 紙・木版/★
 清宮質文/歳月 / 1970 / 紙・木版/★
 清宮質文/九月の海辺 / 1962 / 紙・木版/★
 清宮質文/虜囚の窓 / 1972 / 紙・木版/★
 清宮質文/窓のカンテラ / 1972 / 紙・木版/★
 清宮質文/入日 / 1972 / 紙・木版/★
 清宮質文/夕日の静物 / 1972 / 紙・木版/★
 清宮質文/葬送の花火 / 1973 / 紙・木版/★
 清宮質文/深夜の蠟燭 / 1974 / 紙・木版/★
 清宮質文/早春の静物 / 1977 / 紙・木版/★
 清宮質文/夜明け/制作年不詳/ガラス・油彩/河野保雄コレクション
 /★
 清宮質文/蠟燭 / 1988 / ガラス・油彩/河野保雄コレクション/★

【木口木版画】

日和崎尊夫/KALPA X / 1969 / 紙・木口木版/☆
 日和崎尊夫/KALPA 夜 / 1972 / 紙・木口木版/☆
 日和崎尊夫/詩画集『卵』 (8 点組のうち 1, 3, 8) / 1970 / 紙・木口
 木版/☆
 柄澤 齊/譚画集『迷宮の潭』 (10 点組のうち II, III, V, VI, IX) /
 1980-81 / 紙・木口木版/☆

柄澤 齊/肖像画Ⅳ アルチュール・ランボー/1982/紙・木口木版/☆
 柄澤 齊/肖像画ⅩⅥ マティアス・グリュネバルト/1983/紙・木口木版/☆
 柄澤 齊/肖像画ⅩⅦ オディロン・ルドン/1985/紙・木口木版/☆

屋外・ホール彫刻

林 範親/路地裏/1994/ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
 佐藤忠良/若い女・シャツ/1982/ブロンズ
 エミリオ・グレコ/スケートをする女/1951/ブロンズ
 マリノ・マリーニ/騎手/1956-1957/ブロンズ
 井上武吉/My Sky Hole 89-2/1989/ステンレス・鏡面磨き
 ＊フェルナン・レジェ/歩く花/1952-53 原型作成/ブロンズ・エナメル塗装

★ = 展示期間 7月9日～8月25日

☆ = 展示期間 8月26日～10月10日



③ 「第Ⅲ期常設展」

会期：平成 28 年 10 月 15 日(土)～12 月 25 日(日)

内容：・日本画 三良と芋銭

- ・ 関根正二と大正洋画
- ・ 特集 浮世絵とフランス美術
- ・ 石原コレクション：佐藤忠良《ジャコピン》など
- ・ 河野保雄コレクション：麻生三郎、井上長三郎など
- ・ 新東京百景：恩地孝四郎、平塚運一など

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考（＊は寄託作品）]

展示室 A

【日本画 三良と芋銭】

小川芋銭/細道絵日記/1911/紙本墨画淡彩、卷子装
 小川芋銭/於那羅合戦/1921/紙本墨画淡彩、卷子装
 酒井三良/雪に埋もれつつ正月はゆく/1919/絹本著色、屏風二曲一隻
 酒井三良/村芝居/1921-24/絹本著色

酒井三良/田園秋色図/1921-23/絹本著色
 酒井三良/残秋/1933/紙本著色
 酒井三良/冬暖/1936/絹本著色
 酒井三良/江南春色/1940/紙本墨画淡彩

【関根正二と大正洋画】

安井曾太郎/テーブルの上/1912/カンヴァス・油彩
 岸田劉生/自画像/1914/カンヴァス・油彩
 恩地孝四郎/自画像D(白和服)/1919/カンヴァス・油彩
 木村荘八/樹の下に遊んでいる子供/1915/カンヴァス・油彩
 村山槐多/庭園の少女/1914/紙・水彩
 万鉄五郎/庫/1918/カンヴァス・油彩
 関根正二/牛舎/1915頃/カンヴァス・油彩
 ＊関根正二/風景/1915頃/カンヴァス・油彩
 関根正二/風景/1916頃/板・油彩
 関根正二/姉弟/1918/カンヴァス・油彩

【歿後 10 年 村上善男】

村上善男/疍町に釘打ち(参)/1983/カンヴァス、紙・アクリル
 村上善男/疍町に釘打ち(四)/1983/カンヴァス、紙・アクリル
 村上善男/鹽景之内赤倉山赤一文字圖/1999/和紙・布、紐、アクリリック・カラー
 村上善男/津軽・赤倉山系大石神社越後屋 千代吉帰還之圖/1997/和紙・布、紐、アクリリック・カラー

展示室 B

【特集展示：浮世絵とフランス美術】

トゥルーズ＝ロートレック/『ムーラン・ルージュ：ラ・ゲーリュ』とその原版(複製品、縮尺約 1/5)/個人蔵
 オノレ・ドーミエ/古典悲劇の表情 1/1841/紙・リトグラフ/★
 オノレ・ドーミエ/古代史 14 オデュッセウスとベネロペイア/1842/紙・リトグラフ/★
 オノレ・ドーミエ/中国を旅すれば 1 上陸/1843/紙・リトグラフ/★
 オノレ・ドーミエ/日々の出来事(アクチュアリテ)/1858/紙・リトグラフ/★
 オノレ・ドーミエ/議会百面相 12/1849/紙・リトグラフ/★
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 6 デュフォーール/紙・リトグラフ/★
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 24 プレイ(ド・ラ・ムルト)/1849/紙・リトグラフ/★
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 41 ダンジョワ/1849/紙・リトグラフ/★
 オノレ・ドーミエ/悲劇 3/1848/紙・リトグラフ/☆
 オノレ・ドーミエ/古代史 40 カリュプソの嘆き/1842/紙・リトグラフ/☆
 オノレ・ドーミエ/中国を旅すれば 12 中国の競馬/1844/紙・リトグラフ/☆
 オノレ・ドーミエ/日々の出来事(アクチュアリテ)/1859/紙・リトグラフ/☆
 オノレ・ドーミエ/議会百面相 28/1850/紙・リトグラフ/☆
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 立法議会 11 プーパン/1849/紙・リトグラフ/☆
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 立法議会 19 ルシアン・ミュラ/1849/紙・リトグラフ/☆
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 立法議会 24 コルヌ/1849/紙・リトグラフ/☆
 カミーユ・コロウ/ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロ一家へ向かう池

治いの道 / 1873 / カンヴァス・油彩
 ポール・ゴーギャン / プルターニュの子供 / 1889 / 紙・水彩、パステル
 ピエール＝オーギュスト・ルノワール / 帽子を被る女 / 制作年不詳 / カ
 ンヴァス・油彩 / ★
 ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (17) 眠れ、よい子よ / 1935
 (1938 出版) / 紙・アクアチント / ☆

【石原コレクション】

小磯良平 / バレリーナ / 1966 / 紙・メゾチント
 小磯良平 / 白川女 / 制作年不詳 / 紙・エッチング
 小磯良平 / 椅子に座る女 / 1980 / 紙・リトグラフ
 小磯良平 / 舞妓 II -3 / 1976 / 紙・リトグラフ
 小磯良平 / 黒マントの人形 / 1977 / 紙・リトグラフ
 小磯良平 / 帽子を被った人形 / 1977 / 紙・リトグラフ
 小磯良平 / リボンの人形 / 1981 / 紙・リトグラフ
 小磯良平 / 紫のガウンの人形 B / 1984 / 紙・リトグラフ
 ヤコブ・アガム / [作品] / 制作年不詳 / 紙・リトグラフ
 アレキサンダー・コルダー / 無題 / 1969 / 紙・グアッシュ
 ペリクレ・ファッツィーニ / [無題] / 制作年不詳 / 紙・リトグラフ
 エミリオ・グレコ / 青春 (レリーフ) / 1986 / ブロンズ
 ヘンリー・ムーア / 彫刻のアイディア I / 1980 / 紙・エッチング、ア
 クアチント
 オーギュスト・ロダン / 柱上のフナイユ夫人の胸像 / 1898-1900 (1996
 鑄造) / ブロンズ
 オーギュスト・ロダン / 《影》の頭部 / 制作年不詳 (1995 鑄造) / ブ
 ロンズ
 ジャン・カルトン / 乳房を吸う幼子 / 制作年不詳 / ブロンズ
 ロベール・クーチュリエ / 踊るファウヌス / 制作年不詳 / ブロンズ
 佐藤忠良 / ジャコピン / 1977 / ブロンズ
 笹戸千津子 / 彫刻家 / 1988 / ブロンズ
 笹戸千津子 / おんなの子 / 1994 / ブロンズ
 佐藤忠良 / 富山 / 1960 / 紙・コンテ
 佐藤忠良 / 銚子 / 1960 / 紙・鉛筆、コンテ
 佐藤忠良 / チューリッヒへの道 / 1973 / 紙・パステル、鉛筆
 佐藤忠良 / フランクフルト駅事中 / 1973 / 紙・ボールペン、パステル、
 鉛筆
 佐藤忠良 / 柿とみかん / 1994 / 紙・水彩、パステル
 佐藤忠良 / 書簡 / 制作年不詳 / 紙・水彩、パステル、鉛筆

展示室 C

【河野保雄コレクション】

岸田劉生 / 静物 / 1928 / 板・油彩
 恩地孝四郎 / 春 / 1953 / 紙・水彩
 井上長三郎 / 花 / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩
 鳥海青児 / けし / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩
 坂本善三 / 冬果 / 1950 頃 / カンヴァス・油彩
 高橋忠弥 / 花・鳥・ランプ / 1950 年代 / 紙・油彩
 青木繁 / 漁夫晩歸 (下図) / 1908 / カンヴァス・油彩
 青木繁 / 催合傘 / 1904 頃 / 紙・水彩
 木村莊八 / 一ノ谷合戦 (《いがみの権太》裏面) / 1924 / 板・油彩
 前田寛治 / 後向きの裸婦 / 1927 / カンヴァス・油彩
 野田英夫 / 少女 / 1936 / カンヴァス・油彩
 坂田一男 / オダリスク / 1952 頃 / カンヴァス・油彩
 小山田二郎 / 聖母 / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩
 鶴岡政男 / 人 / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩

陽 咸二 / 支那人の皿廻し / 1928 / ブロンズ
 小出楯重 / 大和岡寺の辺にて / 1913 / 板・油彩
 岸田劉生 / 畑と赤土の道 (浜松風景) / 1920 / 板・油彩
 三岸好太郎 / 風景 / 1927 / カンヴァス・油彩
 藤島武二 / 夜の黄浦江 / 1941 頃 / 板・油彩
 長谷川利行 / カフェーオリエント / 1935 / カンヴァス・油彩
 麻生三郎 / 街と人 / 1959 / カンヴァス・油彩
 吉井 忠 / 森林帯 / 1938 / カンヴァス・油彩
 山口 薫 / 水 / 1944 / カンヴァス・油彩
 山中春雄 / 街 (横浜) / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩

展示室 D

【斎藤清の版画】

斎藤 清 / 会津の家 (A) / 1972 / 紙・木版 / ★
 斎藤 清 / 初秋、会津 / 1973 / 紙・木版 / ★
 斎藤 清 / 柿の会津 (2) / 1973 / 紙・木版 / ★
 斎藤 清 / 柿の会津 (4) / 1973 / 紙・木版 / ★
 斎藤 清 / 稔りの会津 (2) / 1975 / 紙・木版 / ★
 斎藤 清 / 稔りの会津 (3) / 1975 / 紙・木版 / ★
 斎藤 清 / 只見川、会津柳津 (1) / 1979 / 紙・木版 / ★
 斎藤 清 / 只見川、会津柳津 (2) / 1979 / 紙・木版 / ★
 斎藤 清 / 支那寺、長崎 / 1955 / 紙・木版 / ☆
 斎藤 清 / 館 / 1955 / 紙・木版 / ☆
 斎藤 清 / 京都の壁 (B) / 1960 / 紙・木版 / ☆
 斎藤 清 / 障子 (D) / 1964 / 紙・木版 / ☆
 斎藤 清 / 桂、京都 '70 (C) / 1970 / 紙・木版 / ☆
 斎藤 清 / 桂、京都 (D) / 1971 / 紙・木版 / ☆
 斎藤 清 / 霊峰 (18)、秋 (B) / 1980 / 紙・木版 / ☆
 斎藤 清 / 霊峰 (15)、晴天なり / 1980 / 紙・木版 / ☆

【新東京百景】

恩地孝四郎 / 邦楽座内景 (新東京百景) / 1929 / 紙・木版 / ★
 恩地孝四郎 / カフェ (新東京百景) / 1930 / 紙・木版 / ★
 深沢索一 / 千住大橋 (新東京百景) / 1930 頃 / 紙・木版 / ★
 前川千帆 / 工場地帯本所 (新東京百景) / 1929 / 紙・木版 / ★
 前川千帆 / 新宿夜景 (新東京百景) / 1931 頃 / 紙・木版 / ★
 川上澄生 / 日比谷公園菊花大会 (新東京百景) / 1930 / 紙・木版 / ★
 逸見 亨 / 戸山ヶ原 (新東京百景) / 1931 / 紙・木版 / ★
 平塚運一 / 代々木ヶ原 (新東京百景) / 1931 / 紙・木版 / ★
 平塚運一 / 上野公園 (新東京百景) / 1929 頃 / 紙・木版 / ★
 平塚運一 / 日本橋 (新東京百景) / 1931 / 紙・木版 / ★

【福島ゆかりの版画家】

長谷川雄一 / 凍河 / 1990 / 紙・木版 / ☆
 長谷川雄一 / 大地への接近 (7) / 1991 / 紙・木版 / ☆
 長谷川雄一 / 瑞天 / 1997 / 紙・木版 / ☆
 長谷川雄一 / 大地 949 / 1994 / 紙・木版 / ☆
 丸山浩司 / shape of the heart 07-a / 2007 / 紙・木版、油性絵具 / ☆
 丸山浩司 / shape of the heart 08-b / 2008 / 紙・木版、油性絵具 / ☆
 丸山浩司 / field of the dark 09-c / 2009 / 紙・モノプリント / ☆

屋外・ホール彫刻

林 範親 / 路地裏 / 1994 / ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
 ＊高野正晃 / ずっとここで生きてゆく / 2013 / FRP
 佐藤忠良 / 若い女・シャツ / 1982 / ブロンズ
 エミリオ・グレコ / スケートをする女 / 1951 / ブロンズ

マリノ・マリーニ／騎手／1956-1957／ブロンズ
井上武吉／My Sky Hole 89-2／1989／ステンレス・鏡面磨き
*フェルナン・レジェ／歩く花／1952-53 原型作成／ブロンズ・エナメル塗装

★ = 展示期間 10月15日～11月17日
☆ = 展示期間 11月18日～12月25日



④ 「第IV期常設展」

会期：平成 29 年 1 月 7 日(土)～ 3 月 20 日(月)祝
内容：
・ 現代の日本画：朝倉 撰《[屏風]》など
・ 新収蔵作品：織田彩子《ガラス器の静物》など
・ 抽象絵画：田中敦子《WORK 1968》など
・ 海外の絵画：ルオー、ベン・シャーン
・ 山中現 木版画集《時の器》

◆ 出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考 (*は寄託作品)]

展示室 A

【現代の日本画】

佐藤多持／水芭蕉曼陀羅(黄 18) 風神／1969／紙・墨、岩絵具など、
屏風二曲一隻
佐藤多持／水芭蕉曼陀羅(白 20)／1972／紙・墨、岩絵具など、
屏風六曲一隻
朝倉 撰／[屏風]／1964／紙・岩絵具など、屏風六曲一雙
松本 栄／群像(曳く)／1983／紙・岩絵具など、屏風六曲一隻
今井珠泉／夕照／1967／紙・岩絵具など、屏風二曲一隻
菊地養之助／煙突の下の子供達／1956／紙・岩絵具など
菊地養之助／戯画 A／1962／紙・岩絵具など
黒沢吉蔵／煙突／1956／紙・岩絵具、金箔など
黒沢吉蔵／起重機／1956／紙・岩絵具、金箔など
山本丘人／月夜の噴煙／1962／絹・岩絵具、金銀泥など
太田正弘／遠い茜／1977／紙・岩絵具など
渡辺 学／遺された人／1981／紙・岩絵具など
上野泰郎／地にある人たち／1969／紙・岩絵具など

上野泰郎／人間讃美／1977／紙・岩絵具など
星野真吾／麻紙による心象(集)／1960／紙・岩絵具など
星野真吾／暗色の記憶／1979／紙・岩絵具など
横山 操／闇迫る／1958／麻布・岩絵具など

展示室 B

【新収蔵作品】

丸樹長三郎／ジーザス・ラブズ・ミー／1948／カンヴァス・油彩
大内のぶ子／風景／1951 頃／カンヴァス・油彩
織田彩子／ガラス器の静物／1952／カンヴァス・油彩
織田彩子／飛ぶ／1967／カンヴァス・油彩
織田彩子／森／1984／カンヴァス・油彩
渡部 武／景＝畸形・幻影(1)／1977／カンヴァス・油彩
深沢軍司／チカ子の空気・A／1984／麻布・油彩、アクリル

【抽象絵画】

若松光一郎／北国の記念碑／1966／カンヴァス・和紙、カゼインカラー、
墨、他
若松光一郎／オートノミー 1／1979／カンヴァス・和紙、カゼインカ
ラー、墨、他
橋本章／ビルディング／1967／カンヴァス・油彩
橋本章／地平／1961／板・塗料、砂
前田常作／ロック街(白)／1958／カンヴァス・油彩、グアッシュ、石
菅井 汲／YARI／1958／カンヴァス・油彩
元永定正／作品(1)／1958／板・油彩
杉全直／眼 No.6／1960／カンヴァス・油彩
斎藤義重／作品 13／1961／合板・油彩
山口長男／坦／1962／板・油彩
堂本尚郎／コンポジション／1954-59／カンヴァス・油彩
田中敦子／WORK 1968／1968／カンヴァス・エナメル、鉄、モーター
三瓶光夫／玉響 457／2005／紙・メディウムはがし刷りによる木版画

展示室 C

【フランスの美術】

ジョルジュ・ルオー／超人／1916／紙・油彩
ジョルジュ・ルオー／版画集『ミセレーレ』／1922-27(1948 出版)／紙・
銅版混合技法
(1) 神よ、我を憐れみたまえ、御身の大きい慈悲によりて／1923
(23) 「孤独者」通り／1922 (31) 汝ら、互いに愛し合うべし／1923
(56) 高慢と無信仰のこの暗き時代に、地の果てより聖母は見守る／
1927 以上★
(13) 愛すれば心嬉しきに／1923 (44) 我がうるわしの国、今いずこ
／1927 (55) 盲人も、時に目明きを慰めた／1926 (58) 我らが癒
されたるは、彼の打傷によりてなり／1922 以上☆

【アメリカの美術】

ベン・シャーン／ドレフュス事件／1984(原画制作 1930)／紙・ボショ
ワール
(3) パレオローグとドゥマンジュ (4) ドレフュス大尉 (8) ラボリ弁
護士 以上★
(5) エステラジー (6) ジョルジュ・ピカール (7) デュ・パティ・ドウ
・クラム 以上☆
ベン・シャーン／トム・ムーニーの母親に挨拶するジミー・ウォーカー
／1932-33／紙・グアッシュ
ベン・シャーン／これがナチの残虐だ／1942／紙・オフセット
ベン・シャーン／我々は平和を望んでいる／1946／紙・リトグラフ

ベン・シャーン／恐怖の夜の町／1951／ボード・グアッシュ、テンペラ
 ベン・シャーン／ラッキードラゴン／1960／綿布・テンペラ
 『久保山とラッキードラゴン伝説』／1965／書籍
 ベン・シャーン／版画集『リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…』／1968／紙・リトグラフ
 (1) 扉I (3) 多くの都市を (8) 小さな草花のたたずまい (14) 少年時代の病気を 以上★
 (5) 多くの事物を (7) 飛ぶ鳥の姿 (18) 星くずとともに消え去った旅寝の夜々 (14) 死んでゆく人の枕もと 以上☆
 アンドリュー・ワイエス／冬の水車小屋／1978／紙・水彩
 アンドリュー・ワイエス／ドイツ人の住むところ／1973／紙・水彩
 アンドリュー・ワイエス／松ぼっくり男爵／1976／ボード・テンペラ
 アンドリュー・ワイエス／農場にて／1988／紙・水彩

展示室D

【斎藤清の版画】

斎藤 清／憩い、メキシコ／1956／紙・木版／★
 斎藤 清／野良犬、メキシコ／1956／紙・木版／★
 斎藤 清／田舎、メキシコ／1956／紙・木版／★
 斎藤 清／本屋、セヌ、パリ／1960／紙・木版／★
 斎藤 清／冬のパリ (C)／1966／紙・木版／★
 斎藤 清／ニューメキシコ／1965／紙・木版／★
 斎藤 清／タヒチ (A)／1966／紙・木版／★
 斎藤 清／タヒチ (B)／1966／紙・木版／★
 斎藤 清／印度 (B)／1968／紙・木版／★
 斎藤 清／印度 (C)／1968／紙・木版／★
 斎藤 清／凝視、モデル、パリ (A)／1960／紙・木版／☆
 斎藤 清／祈り (尼僧) パリ／1960／紙・木版／☆
 斎藤 清／教会、フランス (A)／1960／紙・木版／☆
 斎藤 清／ノートルダム、パリ (B)／1960／紙・木版／☆
 斎藤 清／セヌ、パリ／1963／紙・コラグラフ／☆
 斎藤 清／セントラル公園、ニューヨーク／1962／紙・コラグラフ／☆
 斎藤 清／グリニッチビレッジ (ニューヨーク)／1962／紙・コラグラフ／☆
 斎藤 清／メキシコ (B)／1963／紙・コラグラフ／☆
 斎藤 清／キラウエア、ハワイ (C)／1964／紙・コラグラフ／☆
 斎藤 清／バニヤンツリー、ハワイ (A)／1964／紙・コラグラフ／☆
 斎藤 清／猫 (2)／1963／紙・コラグラフ／☆
 斎藤 清／猫 (5)／1963／紙・コラグラフ／☆

【山中現の版画】

山中 現／木版画集『時の器』／2007／紙・木版／★
 (1) 器 (2) 水 (3) 人 (4) 木 (5) 山 (6) 土 (7) 雪 (8) 雲 (9) 月 (10) 星 (11) 時

【安部直人の版画】

安部直人／まなざし／1990／紙・ディープエッチング、メゾチント／☆
 安部直人／卵型二態Ⅲ／1990／紙・ディープエッチング、メゾチント／☆
 安部直人／黎明／1990／紙・ディープエッチング、メゾチント／☆
 安部直人／還元／1990／紙・ディープエッチング、メゾチント／☆
 安部直人／孤球〔TAMA〕／1994／紙・ディープエッチング、メゾチント／☆
 安部直人／崩壊の過程／1994／紙・ディープエッチング、メゾチント／☆
 安部直人／放散する球態／1994／紙・ディープエッチング、メゾチ

ト／☆

安部直人／Anonymous I／1995／紙・ディープエッチング、メゾチント／☆
 安部直人／転生／1995／紙・ディープエッチング、メゾチント／☆
 安部直人／内なる領土より〔隆起I〕／1998／紙・ディープエッチング、メゾチント／☆
 安部直人／内なる領土より〔隆起II〕／1998／紙・ディープエッチング、メゾチント／☆
 安部直人／水の鏡・銅の鏡Ⅲ／2005／紙・ディープエッチング、メゾチント／☆

屋外・ホール彫刻

林 範親／路地裏／1994／ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
 ＊高野正晃／ずっとここで生きてゆく／2013／FRP
 佐藤忠良／若い女・シャツ／1982／ブロンズ
 エミリオ・グレコ／スケートをする女／1951／ブロンズ
 マリノ・マリーニ／騎手／1956-1957／ブロンズ
 井上武吉／My Sky Hole 89-2／1989／ステンレス・鏡面磨き
 ＊フェルナン・レジェ／歩く花／1952-53 原型作成／ブロンズ・エナメル塗装

★＝展示期間 1月7日～2月12日

☆＝展示期間 2月14日～3月20日



(2) 移動美術館

当館所蔵作品の一部を、県内の文化施設で公開展示する事業で、開催館との協働でテーマ、作品選定から実務までを行う。
今年度は国見町の観月台文化センターを会場に開催した。

ア 「石原コレクション名品展 ～国見に花開く美の精華～」



A3リーフレット

会期：平成 28 年 6 月 11 日(土)～ 19 日(日)
会場：国見町観月台文化センター 大研修室
（伊達国見町大字藤田字観月台 15）
開館時間：9 時 30 分～ 17 時
休館日：無休
展示作品：40 点
観覧料：無料
観覧者数：800 名
担当：宮武 弘

主催：国見町、国見町教育委員会、福島県立美術館
後援：福島民報社、福島民友新聞社、河北新報社、NHK 福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送、ラジオ福島、エフエム福島、福島コミュニティ放送

概要：

2016 年 3 月、国見町と福島県立美術館に計 128 点の美術作品が寄贈された。これは横浜市の会社経営者、故・石原巖氏（1930-2015）が生前に蒐集した貴重な美術コレクションで、福島県、特に国見町に深いゆかりのあった石原氏のご遺志を受けて、このたびご寄贈いただくことになったものである。

これを記念して今年度は国見町の観月台文化センターを会場に石原コレクションを展示紹介した。ロダン《柱上のフナイユ夫人の胸像》、舟越保武《杏》をはじめとするブロンズ彫刻や、佐藤忠良、小磯良平の版画・素描など国内外の名品 40 点により、石原コレクションの魅力を紹介した。

関連事業：

- ・ギャラリートーク
 - ① 6 月 11 日(土) 9 時 15 分～
講師：宮武 弘（当館主任学芸員） 参加者：30 名
 - ② 6 月 19 日(日) 13 時 30 分～
講師：宮武 弘（当館主任学芸員） 参加者：20 名



展示風景



開会式（6/11）



ギャラリートーク（6/19）

◆出品リスト：

[No./作家名/作品名/制作年/材質・技法/寸法 (cm)]

□福島県立美術館所蔵作品

- 1 / ジャン・カルトン / 乳房を吸う幼子 / 不詳 / ブロンズ / 18.4 × 16.0 × 27.0
- 2 / ロベール・クーチュリエ / 踊るファウヌス / 不詳 / ブロンズ / 31.5 × 21.5 × 16.5
- 3 / オーギュスト・ロダン / 柱上のフナイユ夫人の胸像 / 1898-1900 (1996 铸造) / ブロンズ / 137.0 × 49.9 × 37.0
- 4 / オーギュスト・ロダン / 髪をすく女 / 1900 以前 (2002 铸造) / ブロンズ / 24.0 × 14.5 × 13.7
- 5 / オーギュスト・ロダン / 《影》の頭部 / 不詳 (1995 铸造) / ブロンズ / 67.8 × 36.0 × 39.2
- 6 / 笹戸千津子 / 彫刻家 / 1988 / ブロンズ / 37.0 × 25.0 × 24.0
- 7 / 笹戸千津子 / おんなの子 / 1994 / ブロンズ / 43.0 × 17.5 × 9.5
- 8 / 佐藤忠良 / ジャコピン / 1977 / ブロンズ / 34.0 × 11.0 × 22.0
- 9 / 舟越保武 / 杏 / 1982 / ブロンズ / 118 × 37.0 × 30.0
- 10 / 舟越保武 / R / 1986 / ブロンズ / 29.0 × 25.0 × 27.0
- 11 / 小磯良平 / バレリーナ / 1965 / 紙・エッチング / 27.5 × 15.5
- 12 / 小磯良平 / 白川女 (b) / 1968-69 / 紙・エッチング / 32.0 × 32.0
- 13 / 小磯良平 / 静物 / 1968-69 / 紙・メゾチント / 30.0 × 24.0
- 14 / 小磯良平 / レースの帽子の人形 / 1977 / 紙・リトグラフ / 52.0 × 36.0
- 15 / 小磯良平 / 貴婦人の人形 / 1977 / 紙・リトグラフ / 52.0 × 36.0
- 16 / 小磯良平 / 格子縞のドレスの人形 / 1977 / 紙・リトグラフ / 52.0 × 36.0
- 17 / 小磯良平 / オレンジ色のドレスの人形 / 1977 / 紙・リトグラフ / 52.0 × 36.0
- 18 / 小磯良平 / フェルトの帽子の人形 / 1977 / 紙・リトグラフ / 52.0 × 36.0
- 19 / 小磯良平 / 夏草 / 不詳 / 紙・エッチング / 27.5 × 31.5
- 20 / 小磯良平 / 婦人像 / 不詳 / 紙・エッチング / 19.5 × 15.3
- 21 / 佐藤忠良 / 花 / 1973 / 紙・水彩、パステル、鉛筆 / 22.0 × 31.0
- 22 / 佐藤忠良 / プラムと器 / 1975 / 紙・水彩 / 26.5 × 22.5
- 23 / 佐藤忠良 / 木瓜 / 1994 / 紙・水彩、パステル、鉛筆 / 27.0 × 24.0
- 24 / 佐藤忠良 / 腰かけた婦人像 / 1975 / 紙・コンテ、鉛筆 / 30.0 × 38.0
- 25 / 佐藤忠良 / ジャコピン / 1975 / 紙・パステル、鉛筆、コンテ / 25.0 × 36.0
- 26 / 佐藤忠良 / 未菜 / 1978 / 紙・リトグラフ / 30.5 × 20.0
- 27 / 佐藤忠良 / スカーフ / 1989 / 紙・リトグラフ / 58.0 × 43.0
- 28 / 佐藤忠良 / チコ / 1989 / 紙・リトグラフ / 38.0 × 53.0
- 29 / 佐藤忠良 / 女性像 / 1990 / 紙・リトグラフ / 55.0 × 43.0
- 30 / 佐藤忠良 / 樹 / 1990 / 紙・リトグラフ / 43.0 × 34.0

□国見町所蔵作品

- 31 / ポール・アイズピリ / 花 / 不詳 / 紙・リトグラフ / 59.0 × 43.0
- 32 / エリー・ラスコー / ニース風景 / 1964 / カンヴァス・油彩 / 40.0 × 32.0
- 33 / 小林和作 / 春山 / 不詳 / カンヴァス・油彩 / 23.5 × 32.5

- 34 / 田村孝之助 / 日盛り (南仏) / 不詳 / カンヴァス・油彩 / 23.5 × 33.0
- 35 / 橋本博英 / 池畔新緑 / 不詳 / カンヴァス・油彩 / 32.4 × 44.5
- 36 / 堀内規次 / オリーブの丘 / 不詳 / カンヴァス・油彩 / 32.0 × 52.0
- 37 / 堀内規次 / 大櫓 / 不詳 / カンヴァス・油彩 / 44.5 × 36.5
- 38 / 堀内規次 / 梅林 / 不詳 / 紙・リトグラフ / 38.0 × 48.5
- 39 / 中村清治 / 帽子の婦人 / 不詳 / 紙・リトグラフ / 33.0 × 24.0
- 40 / 中村清治 / 静物 / 不詳 / 紙・リトグラフ / 31.5 × 36.5

2 企画展

(1) フェルメールとレンブラント

17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち



A4 チラシ

会期：平成 28 年 4 月 6 日(水)～ 5 月 8 日(日)

分野：絵画

展示数：57 点

観覧料：一般 1,500(1,300) 円、大学生 1,100(900) 円、高校生 800(600) 円、中学生以下無料 * () 内は前売および 20 名以上の団体料金

観覧者数：104,150 名

担当：荒木康子、坂本篤史

主催：東日本大震災復興事業「フェルメールとレンブラント：17 世紀オランダ黄金時代の巨匠たち」展実行委員会（福島県、福島県教育委員会、福島立美術館、テレビユー福島、福島民報社、ラジオ福島）

特別協賛：東邦銀行

協賛：東北電力、福島トヨタ、ベスト学院グループ、ヤクルト、JA グループ福島

関連事業：

・講演会①「光と影のオランダ絵画」

日時：4 月 10 日(日)

講師：宮下規久朗氏（神戸大学教授）

会場：コラッセふくしま 4 階多目的ホール
（福島市三河南町 1-20）

参加者：213 名

・講演会②「プルーストが描いたフェルメール」

日時：4 月 23 日(土)

講師：田村奈保子氏（福島大学教授）

会場：コラッセふくしま 4 階多目的ホール
参加者：197 名

・講演会③「澄み渡る窓辺—フェルメールの女のいる空間」

日時：4 月 30 日(土)

講師：小林頼子氏（目白大学教授）

会場：A・O・Z（アオウゼ）多目的ホール
（福島市曾根田町 1-18 MAX ふくしま 4 階）

参加者：178 名

・映画上映会「真珠の耳飾りの少女」

日時：4 月 9 日(土)

会場：フォーラム福島（福島市曾根田町 7-8）

参加者：78 名

概要：

17 世紀オランダ絵画をメトロポリタン美術館（ニューヨーク）、アムステルダム国立美術館などのコレクションから振り返る展覧会。「光の画家」として知られるデルフト出身のヨハネス・フェルメールの《水差しを持つ女》や独特な発想、技法と構図で人気を博したレンブラント・ファン・レインの《ペローナ》をはじめ、オランダ黄金時代を彩ったさまざまな画家たちによる 57 作品を取り上げた。

東日本大震災から 5 年の節目に開催する本展は、県外からも多くの観覧者を集め、風評の払拭に寄与するとともに、福島の子供たちをはじめ多くの県民に本物の芸術に触れ、芸術を通じた心の癒やしや輝きをもたらす機会を提供することになった。

なお本展は 2015 年に京都市立美術館で、翌年森アーツ・ギャラリーで開催された展覧会を東日本大震災復興支援として巡回展示したものである。実行委員会方式により開催。



開会式（4/6）



展示風景



会期中の混雑状況 (5/8)



宮下規久朗氏講演会 (4/10)



田村奈保子氏講演会 (4/23)



小林頼子氏講演会 (4/30)



◆出品リスト：

[No./作家名/作品名/制作年/材質、技法、形状/寸法 (縦×横 cm) /所蔵]

第I章 ハールレム、ユトレヒト、アムステルダムーオランダ黄金時代の幕開け

- 1 /ヘンドリック・ホルツィウス/苦悩するキリスト/ 1607 /油彩、カンヴァス/ 120.1× 86.3 /ユトレヒト中央美術館
- 2 /アブラハム・ブルーマールト/ラトナトリュキア人の農民/ 1646 /油彩、カンヴァス/ 69.8× 100.4 /ユトレヒト中央美術館
- 3 /ヤン・ファン・ベイレルト/マタイの召命/ 1625-30頃/油彩、カンヴァス/ 140.5× 200.5 /ユトレヒト、カタレイネ修道院美術館(ユトレヒト復古カトリック教区より貸与)
- 4 /ピーテル・ラストマン/モルデカイの凱旋/ 1617 /油彩、板/ 52.0× 71.5 /アムステルダム、レンブラントハイス美術館 (オランダ文化遺産研究所より長期貸与)

第II章 オランダ黄金時代

II -1 風景画家たち

- 5 /エサイアス・ファン・デ・フェルデ/砂丘風景/ 1629 /油彩、板 / 17.7× 22.7 /アムステルダム国立美術館
- 6 /ヤン・ファン・ホイエン/夏/ 1623 /油彩、板 (円形) /径 11.2 /個人蔵
- 7 /ヤン・ファン・ホイエン/冬/ 1623 /油彩、板 (円形) /径 11.0 /個人蔵
- 8 /サロモン・ファン・ライスダール/水飲み場/ 1660 /油彩、板 / 61.0× 85.0 /アムステルダム国立美術館
- 9 /ピーテル・デ・プロート/旅行者のいる村の景色/ 1625-30頃/油彩、板/ 23.3× 47.3 /個人蔵
- 10 /アルト・ファン・デル・ネール/月明かりに照らされる村/ 1645-50頃/油彩、板/ 41.3× 35.3 /個人蔵
- 11 /アルベルト・カイプ/牛と羊飼いの少年のいる風景/ 1650-60頃/油彩、カンヴァス/ 101.5× 136.0 /アムステルダム国立美術館
- 12 /ヤーコブ・エッセレンス/フェヒト川沿いに集う人々/ 1660-65頃/油彩、カンヴァス/ 100.3× 81.3 /個人蔵
- 13 /ヤーコブ・ファン・ライスダール/家と鳩小屋のある砂丘風景/ 1648 /油彩、板/ 53.0× 67.0 /アルベルト・コレクション
- 14 /メイデルト・ホッペマ/水車小屋/ 1666頃/油彩、板/ 62.0× 85.5 /アムステルダム国立美術館 (アムステルダム市より貸与)

II -2 イタリアの風景画家たち

- 15 /ピーテル・ファン・ラール/イノシシ狩り/ 1640-42頃/油彩、カンヴァス/ 55.3× 70.5 /個人蔵
- 16 /ヤン・パプティスト・ウェーニクス/地中海の港/ 1650頃/油彩、カンヴァス/ 91.5× 117.5 /個人蔵
- 17 /フィリップス・ワウエルマン/川辺の野営/ 1650-55頃/油彩、カンヴァス/ 57.8× 73.0 /個人蔵
- 18 /フィリップス・ワウエルマン/川辺にいる馬乗りたち/ 1650-55頃/油彩、板/ 35.8× 41.2 /個人蔵

II -3 建築画家たち

- 19 /ピーテル・サーンレダム/聖ラウレンス教会礼拝堂/ 1635 /油彩、板/ 45.0× 36.0 /ユトレヒト、カタレイネ修道院美術館 (ユトレヒト復古カトリック教区より貸与)

- 20 / ピーテル・サーンレダム / マリア教会の翼廊 / 1637 / 油彩、板 / 58.8 × 44.6 / アムステルダム国立美術館
- 21 / エマニュエル・デ・ウィッテ / ゴシック様式のプロテスタント教会 / 1680-85 頃 / 油彩、カンヴァス / 122.0 × 104.0 / アムステルダム国立美術館 (アムステルダム市より貸与)
- 22 / ヤン・ファン・デル・ヘイデン / 跳ね橋 / 1660-72 / 油彩、板 / 36.0 × 44.5 / アムステルダム国立美術館

II -4 海洋画家たち

- 23 / コルネリス・クラスゾーン・ファン・ウィーリング / 港町の近くにて / 1615-20 / 油彩、板 / 42.5 × 80.7 / ロッテルダム海洋博物館
- 24 / シモン・デ・フリーヘル / 海上のニシン船 / 1649-50 頃 / 油彩、板 / 52.5 × 65.0 / ロッテルダム海洋博物館
- 25 / ウィレム・ファン・デ・フェルデ (2世) / ロイヤル・プリンス号の拿捕 / 1670 頃 / 油彩、カンヴァス / 58.5 × 81.0 / アムステルダム国立美術館
- 26 / リーフエ・フェアシュフイエール / 河口の風景 / 1660-70 頃 / 油彩、カンヴァス / 87.3 × 101.8 / 個人蔵

II -5 静物画家たち

- 27 / フローリス・ファン・スホーテン / 果物のある静物 / 1628 / 油彩、板 / 52.7 × 84.7 / 個人蔵
- 28 / ウィレム・カルフ / 貝類と杯のある静物 / 1675 / 油彩、カンヴァス / 53.5 × 44.5 / オーフェルエイセル (オランダ)、財団美術館
- 29 / ピーテル・クラスゾーン / 銀器やグラス、皮の剥かれたレモンのある静物 / 1660 / 油彩、板 / 64.2 × 48.2 / 個人蔵
- 30 / アブラハム・ファン・ペイエレン / 果物とエビ、ワイングラスのある静物 / 1650-60 頃 / 油彩、板 / 35.9 × 33.6 / 個人蔵
- 31 / ウィレム・ファン・アールスト / 狩りの静物 / 1670-80 頃 / 油彩、カンヴァス / 97.7 × 77.1 / 個人蔵

II -6 肖像画家たち

- 32 / フランス・ハルス / ひだ襟をつけた男の肖像 / 1625 / 油彩、カンヴァス / 76.2 × 63.5 / ニューヨーク、メトロポリタン美術館
- 33 / フランス・ハルス / 男性の肖像 (聖職者) / 1657-60 頃 / 油彩、板 / 37.1 × 29.8 / アムステルダム国立美術館
- 34 / ヘラルト・ファン・ホントホルスト / 画家の肖像 / 1655 / 油彩、カンヴァス / 116.0 × 93.5 / アムステルダム国立美術館
- 35 / ヘラルト・ファン・ホントホルスト / 女性の肖像 / 1655 / 油彩、カンヴァス / 116.0 × 93.5 / アムステルダム国立美術館
- 36 / イサーク・リュティックハイス / 男性の肖像 (ピーテル・デ・ランゲ) / 1655 / 油彩、カンヴァス / 128.5 × 102.5 / ロッテルダム美術館 (エラスムス財団より貸与)
- 37 / イサーク・リュティックハイス / 女性の肖像 (エリザベート・ファン・ドッペン) / 1655 / 油彩、カンヴァス / 128.0 × 102.0 / ロッテルダム美術館 (エラスムス財団より貸与)
- 38 / フェルディナント・ボル / ルーロフ・ミュレナールの肖像 / 1650 / 油彩、カンヴァス / 118.0 × 96.5 / アムステルダム国立美術館
- 39 / フェルディナント・ボル / マリア・レイの肖像 / 1650 / 油彩、カンヴァス / 118.0 × 96.5 / アムステルダム国立美術館

II -7 風俗画家たち

- 40 / エサイアス・ファン・デ・フェルデ / 庭園の宴会 / 1615 / 油彩、板 / 34.7 × 60.7 / アムステルダム国立美術館
- 41 / ルドルフ・デ・ヨング / ヴァージナルを弾く女性 / 1651 / 油彩、カンヴァス / 136.0 × 105.0 / ロッテルダム美術館
- 42 / ヘラルト・テル・ボルフ (2世) / 好奇心 / 1660-62 頃 / 油彩、カンヴァス / 76.2 × 62.2 / ニューヨーク、メトロポリタン美術館
- 43 / ヤン・ステーン / 恋の病 / 1660 頃 / 油彩、カンヴァス / 86.4 × 99.1 / ニューヨーク、メトロポリタン美術館
- 44 / ヤン・ステーン / 女将と戯れる老人とバックギャモンに興じるふたりの男のいる酒場の室内、通称「二種類の遊び」 / 1660-79 / 油彩、カンヴァス / 63.0 × 69.5 / アムステルダム国立美術館
- 45 / ハブリエル・メッー / 食卓の男女 / 1655-58 頃 / 油彩、板張りしたカンヴァス / 3.5 × 29.0 / アムステルダム国立美術館
- 46 / ハブリエル・メッー / ニシン売り / 1656-58 頃 / 油彩、板 / 37.0 × 33.0 / アムステルダム国立美術館
- 48 / ヨハネス・フェルメール / 水差しを持つ女 / 1662 頃 / 油彩、カンヴァス / 45.7 × 40.6 / ニューヨーク、メトロポリタン美術館
- 49 / ホットフリート・スハルケン / さまざまな嗜好 / 1685-90 頃 / 油彩、板 / 42.5 × 31.0 / アムステルダム国立美術館

第三章 レンブラントとレンブラント派

- 50 / レンブラント・ファン・レイン / ベローナ / 1633 / 油彩、カンヴァス / 127.0 × 97.5 / ニューヨーク、メトロポリタン美術館
- 52 / ヤン・リーフェンス / 読書する老女 / 1626-33 頃 / 油彩、板 / 78.0 × 68.0 / アムステルダム国立美術館
- 53 / ヘラルト・ダウ / 窓際でランプを持つ少女 (好奇心の寓意) / 1660 頃 / 油彩、板 / 22.0 × 17.0 / アムステルダム国立美術館
- 54 / カレル・ファブリティウス / アブラハム・デ・ポッテルの肖像 / 1649 / 油彩、カンヴァス / 68.5 × 57.0 / アムステルダム国立美術館
- 56 / サミュエル・ファン・ホーホストラーテン / 貧血症の女 / 1670 頃 / 油彩、カンヴァス / 69.5 × 55.0 / アムステルダム国立美術館 (アムステルダム市より貸与)
- 57 / コルネリス・ビスホッフ / リンゴの皮を剥く娘 / 1667 / 油彩、板 / 70.0 × 57.0 / アムステルダム国立美術館
- 58 / ニコラース・マース / 糸を紡ぐ老女 / 1655 頃 / 油彩、カンヴァス / 63.0 × 55.0 / アムステルダム国立美術館
- 59 / アーレント・デ・ヘルデル / ダビデ王 / 1683 頃 / 油彩、カンヴァス / 109.5 × 114.5 / アムステルダム国立美術館

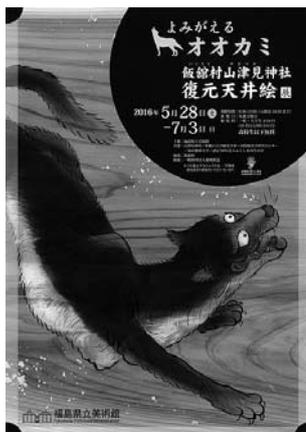
第四章 オランダ黄金時代の終焉

- 60 / アルノルト・ハウブラーケン / イビゲネアの犠牲 / 1690-1700 頃 / 油彩、カンヴァス / 79.5 × 63.4 / アムステルダム国立美術館

* No. 47、51、55 は不出品

(2) よみがえるオオカミ

飯館村山津見神社・復元天井絵



A4 チラシ

会期：平成 28 年 5 月 28 日(土)～7 月 3 日(日)

分野：絵画

展示数：266 点

観覧料：一般・大学生 270(210) 円、高校生以下無料 * () 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数：5,549 名

担当：増渕鏡子、國島 敏

主催：福島県立美術館

共催：山津見神社、和歌山大学観光学部・国際観光学研究センター、東京藝術大学、認定 NPO 法人ふくしま再生の会

後援：飯館村

助成：一般財団法人地域創造

関連事業：

- ・フォーラム「山津見神社のオオカミ天井絵をめぐって」

日時：5 月 28 日(土)

報告：「復元プロジェクトの経緯」

加藤久美氏（和歌山大学観光学部教授）、

サイモン・ワーン氏（和歌山大学観光学部特任助教）

「文化財保存の観点から」

荒井 経氏（日本画家、東京藝術大学准教授）

「南東北のオオカミ信仰」

石黒紳一郎氏（村田町歴史みらい館副参事）

「山津見神社と飯館の文化」

佐藤俊雄氏（元飯館村教育委員会文化財担当）

司会：増渕鏡子（当館主任学芸員）

会場：当館講堂 参加者：200 名

- ・ワークショップ①「オオカミを杉板に描こう！」

日時：5 月 29 日(日)

講師：荒井 経氏（日本画家、東京藝術大学准教授）

参加者：22 名

- ・ワークショップ②「大堀相馬焼をつくる」

日時：6 月 18 日(土)、7 月 2 日(土)

講師：半谷菊枝氏（相馬焼窯元：半谷窯）

参加者：9 名

- ・ギャラリートーク

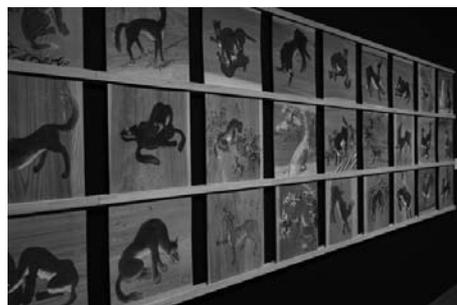
日時：6 月 11 日(土)、25 日(土)

解説：増渕鏡子（当館主任学芸員）

概要：

全村避難が続く飯館村佐須の山津見神社の拝殿が 2013 年 4 月に火災で焼失した。拝殿に描かれていた 240 枚のオオカミを描いた天井絵も焼失したが、このほど和歌山大学、東京藝術大学、NPO 法人福島再生の会、福島県立美術館を中心にして復元プロジェクトが立ち上がった。

本展では、完成した 242 枚の復元天井絵を披露、さらに飯館のオオカミ信仰や地域の文化を関連資料によって紹介した。研究者や地元関係者によるフォーラム、復元担当者によるワークショップなども行った。美術文化による被災地支援として全国的に話題となる事業であった。



展示風景



フォーラム (5/28)



ワークショップ① (5/29)



ワークショップ② (6/18)

◆出品リスト：

[番号/作品名/制作年・元号/材質・技法/所蔵]

- 1/絵馬(山津見神社槻木遙拝所資料)/1912・明治45/木・着色、1点/しばたの郷土館
- 2/紙札①(山津見神社槻木遙拝所資料)/明治~大正頃/紙・木版、2点/しばたの郷土館
- 3/紙札②(山津見神社槻木遙拝所資料)/明治~大正頃/紙・木版、2点/しばたの郷土館
- 4/紙札③(山津見神社槻木遙拝所資料)/明治~大正頃/紙・木版、2点/しばたの郷土館
- 5/大麻①(山津見神社槻木遙拝所資料)/明治~大正頃/木・木版、1点/しばたの郷土館
- 6/大麻②(山津見神社槻木遙拝所資料)/明治~大正頃/木・木版、1点/しばたの郷土館
- 7/版木(山津見神社槻木遙拝所資料)/明治 大正頃/木、1点/しばたの郷土館
- 8/死駒證文之事/1739・元文4/紙本墨書、1冊/個人蔵(福島県歴史資料館寄託)
- 9/東遊雑記写本/1788・寛政1/紙本墨書、1冊/個人蔵(福島県歴史資料館寄託)
- 10/有功有害鳥獸調/1883・明治16/紙本墨書、1冊/福島県(福島県歴史資料館寄託)
- 11/岩崎敏夫『相馬山中郷民俗誌稿』/1948-49・昭和23-24/紙本墨書、1冊/個人蔵
- 12/幸野煤嶺《亥中の月》/1889・明治22/紙・木版、1冊/個人蔵(福島県歴史資料館寄託)
- 13/社寺宝物調/1897・明治30/紙本墨書、1冊/福島県神社庁(福島県歴史資料館寄託)
- 14/神社財産登録申請綴/1909・明治42/紙本墨書、1冊/飯館村(福島県歴史資料館預かり)
- 15/『靈山記略』/1935・昭和10/本、1冊/個人蔵
- 16/『佐須 その歴史と伝承』上下/1977・昭和20/本、2冊/個人蔵
- 17/《狼図》/明治期/紙本墨画、一幅/個人蔵
- 18/伏見東洲《虎図》/1895・明治28頃/紙本墨画淡彩、襖四面/個人蔵
- 19/伏見東洲《草花図》/紙本着色、屏風六曲一隻/個人蔵(相馬市歴史資料収蔵館寄託)
- 20/佐藤玄々《画帖》/1945・昭和20頃/紙本墨画淡彩、一冊/個人蔵
- 21/佐藤玄々《神狗》/1947・昭和22/紙本着色、一幅/相馬市歴史資料収蔵館
- 22/佐藤玄々《神狗》/1945・昭和20/紙本着色、一幅/個人蔵
- 23/佐藤玄々書簡 立谷武助氏宛/1945・昭和20/一通/個人蔵
- 24/佐藤玄々《神狗》(複製)/木彫原型:1945・昭和20頃、鑄造:1974・昭和49/ブロンズ、1点/福島県立美術館(石膏原型:相馬市歴史資料収蔵館)
- 25/復元天井絵/2015-16・平成27-28/杉板・着色、142面/東京藝術大学

(3) エドワード・ゴリーの優雅な秘密



A4 チラシ

会期：平成 28 年 7 月 16 日(土)～8 月 28 日(日)

分野：絵画

展示数：374 点

観覧料：一般・大学生 800(600) 円、高校生 500(400) 円、小・中学生 300(200) 円 * () 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数：8,239 名

担当：白木ゆう美、荒木康子

主催：福島県立美術館

協力：福島県立図書館、Edward Gorey Charitable Trust、Brandywine River Museum、株式会社河出書房新社

助成：芸術文化振興基金

後援：日本国際児童図書評議会 (JBBY)

企画協力：株式会社イデッフ

関連事業：

- ・講演会「エドワード・ゴリーを見る／読む／訳す楽しみ」
日時：7 月 18 日(月/祝)
講師：柴田元幸氏 (アメリカ文学研究者、翻訳家)
会場：当館講堂 参加者：230 名
- ・ギャラリートーク
日時：8 月 6 日(土)
講師：濱中利信氏 (本展出品者) 参加者：65 名
- ・親子の美術教室「みんなで絵本をつくろう！」
日時：8 月 7 日(日)
講師：加藤志異氏 (絵本作家) 参加者：親子 10 組 23 名
- ・一日創作教室「絵封筒をつくろう！」
日時：8 月 28 日(日)
講師：白木ゆう美 (当館学芸員)、佐藤恵子 (当館スタッフ)、博物館実習生 参加者：81 名
- ・映画上映 福島フォーラム連携企画
「國民の創生」(東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品)
日時：7 月 23 日(土)
会場：フォーラム福島
協力：東京国立近代美術館フィルムセンター
- ・図書館展示
期間：7 月 8 日(金)～8 月 31 日(水)

会場：福島県立図書館公開図書室センターホール

概要：

エドワード・ゴリー (1925-2000) は、モノクロームの緻密な線描と不思議な世界観で、世界中に熱狂的なファンをもつアメリカの作家である。日本では異色の絵本作家として知られ、ミステリー小説のような物語と、押韻・造語・古語などを駆使したテキスト、そして陰影や背景までもがペンで細かく描かれたイラストで数多くの作品を発表した。

本展では、各国を巡回した原画展に、ゴリーの愛好家である濱中利信氏のコレクションを加え、貴重な原画・書籍・資料など約 350 点を日本で初めて展示。ゴリーの多彩な制作活動に迫る展覧会となった。



展示風景



読書・手紙コーナー



講演会 (7/18)



ギャラリートーク (8/6)

◆出品リスト：

[No./タイトル/作品内容/制作・出版年/技法・材質/サイズ(縦×横 cm) /所蔵]

第1章 主著：ゴリーによるゴリーの世界

- 1 / 『弦のないハーブ または、イアブラス氏小説を書く。』 / 書籍 / 1953 / 19.4 × 13.0 / 個人蔵
- 2 / 弦のないハーブ または、イアブラス氏小説を書く。 / 表紙・習作 / 1953 / ペン・インク、色紙 / 19.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 3 / 弦のないハーブ または、イアブラス氏小説を書く。 / 表紙・習作 / 1953 / ペン・インク、白紙・色紙 / 17.8 × 12.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 4 / 弦のないハーブ または、イアブラス氏小説を書く。 / 原画 / 1953 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 8.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 5 / 弦のないハーブ または、イアブラス氏小説を書く。 / 原画 / 1953 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 8.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 6 / 弦のないハーブ または、イアブラス氏小説を書く。 / 原画 / 1953 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 8.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 7 / 『傾く屋根裏』 / 書籍 / 1954 / 19.4 × 13.0 / 個人蔵
- 8 / 傾く屋根裏 / 表紙・原画 / 1954 / ペン・インク、紙 / 16.5 × 12.4 / Edward Gorey Charitable Trust
- 9 / 傾く屋根裏 / 原画 / 1954 / ペン・インク、紙 / 7.3 × 8.6 / Edward Gorey Charitable Trust
- 10 / 『うろんな客』 / 書籍 / 1957 / 15.2 × 22.0 / 個人蔵
- 11 / うろんな客 / 扉・原画 / 1957 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 16.5 / Edward Gorey Charitable Trust
- 12 / うろんな客 / 原画 / 1957 / ペン・インク、紙 / 6.7 × 7.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 13 / うろんな客 / 原画 / 1957 / ペン・インク、紙 / 6.7 × 8.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 14 / うろんな客 / 原画 / 1957 / ペン・インク、紙 / 6.7 × 8.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 15 / 『うろんな客』 各国版 (イタリア / スペイン (カタルーニャ語) / フランス / 韓国 / 台湾 / スペイン / ドイツ) / 書籍 / 1961-2011 / 個人蔵
- 16 / うろんな客のぬいぐるみ / ぬいぐるみ / 不詳 / 個人蔵
- 17 / 資料 : ペン先、インク / Edward Gorey Charitable Trust
- 18 / 『具体例のある教訓』 / 書籍 / 1958 / 15.2 × 22.0 / 個人蔵
- 19 / 具体例のある教訓 / 表紙 (未使用)・原画 / 1958 / ペン・インク、紙 / 15.2 × 20.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 20 / 具体例のある教訓 / 表紙・原画 / 1958 / ペン・インク、紙 / 15.2 × 20.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 21 / 具体例のある教訓 / 原画 / 1958 / ペン・インク、紙 / 7.6 × 19.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 22 / 具体例のある教訓 / 原画 / 1958 / ペン・インク、紙 / 7.6 × 19.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 23 / 具体例のある教訓 / 原画 / 1958 / ペン・インク、紙 / 7.6 × 19.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 24 / 『死の菱形：アルファベット』 / 書籍 / 1960 / 15.5 × 12.5 / 個人蔵
- 25 / 死の菱形：アルファベット / 表紙 (未使用)・原画 / 1960 / ペン・インク・水彩、紙 / 14.8 × 14.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 26 / 死の菱形：アルファベット / 表紙・原画 / 1960 / ペン・インク、

- 紙／11.4×8.9／Edward Gorey Charitable Trust
- 27／死の菱形：アルファベット／原画／1960／ペン・インク、紙／7.6×8.9／Edward Gorey Charitable Trust
- 28／『不幸な子供』／書籍／1961／19.2×17.9／個人蔵
- 29／不幸な子供／原画／1961／ペン・インク、紙／9.5×11.4／Edward Gorey Charitable Trust
- 30／不幸な子供／原画／1961／ペン・インク、紙／9.5×11.4／Edward Gorey Charitable Trust
- 31／不幸な子供／原画／1961／ペン・インク、紙／9.5×11.4／Edward Gorey Charitable Trust
- 32／不幸な子供／原画／1961／ペン・インク、紙／9.5×11.4／Edward Gorey Charitable Trust
- 33／『ウィローデイルのトロッコ；または ブラック・ドールの帰還』／書籍／1962／15.1×14.5／個人蔵
- 34／ウィローデイルのトロッコ；または ブラック・ドールの帰還／表紙・習作／1962／鉛筆、紙／27.9×21.6／Edward Gorey Charitable Trust
- 35／ウィローデイルのトロッコ；または ブラック・ドールの帰還／原画／1962／ペン・インク、紙／7.6×10.8／Edward Gorey Charitable Trust
- 36／ウィローデイルのトロッコ；または ブラック・ドールの帰還／原画／1962／ペン・インク、紙／7.6×10.8／Edward Gorey Charitable Trust
- 37／ウィローデイルのトロッコ；または ブラック・ドールの帰還／原画／1962／ペン・インク、紙／7.6×10.8／Edward Gorey Charitable Trust
- 38／ウィローデイルのトロッコ；または ブラック・ドールの帰還／原画／1962／ペン・インク、紙／7.6×10.8／Edward Gorey Charitable Trust
- 39／『ギャシュリークラムのちびっ子たち または 遠出のあとで』／書籍／1963／17.0×18.2／個人蔵
- 40／ギャシュリークラムのちびっ子たち または 遠出のあとで／表紙・習作／1963／ペン・インク、紙／27.9×21.6／Edward Gorey Charitable Trust
- 41／ギャシュリークラムのちびっ子たち または 遠出のあとで／原画／1963／ペン・インク、紙／7.3×10.2／Edward Gorey Charitable Trust
- 42／ギャシュリークラムのちびっ子たち または 遠出のあとで／原画／1963／ペン・インク、紙／7.3×10.2／Edward Gorey Charitable Trust
- 43／ギャシュリークラムのちびっ子たち または 遠出のあとで／原画／1963／ペン・インク、紙／7.3×10.2／Edward Gorey Charitable Trust
- 44／ギャシュリークラムのちびっ子たち または 遠出のあとで／原画／1963／ペン・インク、紙／7.3×10.2／Edward Gorey Charitable Trust
- 45／ギャシュリークラムのちびっ子たち または 遠出のあとで／原画／1963／ペン・インク、紙／7.3×10.2／Edward Gorey Charitable Trust
- 46／『ウエスト・ウイング』／書籍／1963／17.0×18.2／個人蔵
- 47／ウエスト・ウイング／扉・原画／1963／ペン・インク、紙／11.4×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 48／ウエスト・ウイング／原画／1963／ペン・インク、紙／11.4×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 49／ウエスト・ウイング／原画／1963／ペン・インク、紙／11.4×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 50／ウエスト・ウイング／原画／1963／ペン・インク、紙／11.4×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 51／ウエスト・ウイング／原画／1963／ペン・インク、紙／11.4×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 52／ウエスト・ウイング／原画／1963／ペン・インク、紙／11.4×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 53／ウエスト・ウイング／原画／1963／ペン・インク、紙／11.4×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 54／ウエスト・ウイング／原画／1963／ペン・インク、紙／11.4×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 55／ウエスト・ウイング／原画／1963／ペン・インク、紙／11.4×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 56／ピネガー・ワークス（ボックスセット）／表紙・原画／1963／ペン・インク、紙／24.1×21.6／Edward Gorey Charitable Trust
- 57／『ピネガー・ワークス』／書籍／個人蔵
- 58／『子供部屋の壁模様』／書籍／1964／6.4×17.6／個人蔵
- 59／子供部屋の壁模様／原稿／1964／タイプライター、紙／27.9×21.6／Edward Gorey Charitable Trust
- 60／子供部屋の壁模様／スケッチ／1964／ペン・インク、紙／27.9×21.6／Edward Gorey Charitable Trust
- 61／子供部屋の壁模様／スケッチ／1964／ペン・インク、紙／27.9×21.6／Edward Gorey Charitable Trust
- 62／子供部屋の壁模様／スケッチ／1964／ペン・インク、紙／27.9×21.6／Edward Gorey Charitable Trust
- 63／子供部屋の壁模様／原画／1964／ペン・インク、紙／7.0×33.7／Edward Gorey Charitable Trust
- 64／子供部屋の壁模様／原画／1964／ペン・インク、紙／7.0×33.7／Edward Gorey Charitable Trust
- 65／『思い出した訪問：人生から取られた物語』／書籍／1965／16.0×18.2／個人蔵
- 66／思い出した訪問：人生から取られた物語／原画／1965／ペン・インク、紙／9.1×12.5／Edward Gorey Charitable Trust
- 67／思い出した訪問：人生から取られた物語／原画／1965／ペン・インク、紙／9.1×12.5／Edward Gorey Charitable Trust
- 68／思い出した訪問：人生から取られた物語／原画／1965／ペン・インク、紙／9.1×12.5／Edward Gorey Charitable Trust
- 69／思い出した訪問：人生から取られた物語／原画／1965／ペン・インク、紙／9.1×12.5／Edward Gorey Charitable Trust
- 70／『金メッキのこうもり』／書籍／1966／15.9×18.5／個人蔵
- 71／金メッキのこうもり／原画／1966／ペン・インク、紙／10.2×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 72／金メッキのこうもり／原画／1966／ペン・インク、紙／10.2×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 73／金メッキのこうもり／原画／1966／ペン・インク、紙／10.2×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 74／金メッキのこうもり／原画／1966／ペン・インク、紙／10.2×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 75／金メッキのこうもり／原画／1966／ペン・インク、紙／10.2×14.0／Edward Gorey Charitable Trust
- 76／『青いアスピック』／書籍／1968／15.8×18.2／個人蔵

- 77 / 青いアスピック / 原画 / 1968 / ペン・インク・鉛筆、紙 / 14.6 × 13.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 78 / 青いアスピック / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 79 / 青いアスピック / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 80 / 青いアスピック / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 81 / 青いアスピック / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 82 / 『もう一つの彫像』 / 書籍 / 1968 / 17.0 × 18.2 / 個人蔵
- 83 / もう一つの彫像 / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 84 / もう一つの彫像 / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 85 / もう一つの彫像 / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 86 / もう一つの彫像 / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 87 / もう一つの彫像 / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 88 / もう一つの彫像 / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 89 / もう一つの彫像 / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 90 / 『優雅に叱責する自転車』 / 書籍 / 1969 / 15.9 × 23.5 / 個人蔵
- 91 / 優雅に叱責する自転車 / スケッチ / 1969 / ペン・インク、紙 / 27.9 × 21.6 / Edward Gorey Charitable Trust
- 92 / 優雅に叱責する自転車 / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 12.7 × 17.8 / Edward Gorey Charitable Trust
- 93 / 優雅に叱責する自転車 / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 5.7 × 11.8 / Edward Gorey Charitable Trust
- 94 / 『オズビック鳥』 / 書籍 / 1970 / 12.5 × 15.6 / 個人蔵
- 95 / オズビック鳥 / 原画 / 1970 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 96 / オズビック鳥 / 原画 / 1970 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 97 / オズビック鳥 / 原画 / 1970 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 98 / オズビック鳥 / 原画 / 1970 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 99 / オズビック鳥 / 原画 / 1970 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 100 / 『題のない本』 / 書籍 / 1971 / 12.6 × 15.2 / 個人蔵
- 101 / 題のない本 / 表紙・原画 / 1971 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 102 / 題のない本 / 原画 / 1971 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 103 / 題のない本 / 原画 / 1971 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 104 / 題のない本 / 原画 / 1971 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 105 / 優雅に叱責する自転車 / スケッチ / 1969 / ペン・インク、紙 /
- Edward Gorey Charitable Trust
- 106 / 『ずぶ濡れの木曜日』 / 書籍 / 1970 / 16.6 × 20.5 / 個人蔵
- 107 / ずぶ濡れの木曜日 / 原画 / 1970 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 13.6 / 個人蔵
- 108 / オズビック鳥 / スケッチ / 1970 / ペン・インク、紙 / 25.1 × 17.8 / Edward Gorey Charitable Trust
- 109 / オズビック鳥 / スケッチ / 1970 / ペン・インク、紙 / 27.9 × 21.6 / Edward Gorey Charitable Trust
- 110 / オズビック鳥 / 草稿 / 1970 / ペン・インク、紙 / 27.9 × 21.6 / Edward Gorey Charitable Trust
- 111 / 題のない本 / 草稿 / 1971 / ペン・インク、紙 / 27.6 × 21.6 / Edward Gorey Charitable Trust
- 112 / 『キャット ゴーリー』 / 書籍 / 1973 / 14.6 × 14.8 / 個人蔵
- 113 / キャット ゴーリー (No.19) / 原画 / 1972 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 10.7 × 12.6 / 個人蔵
- 114 / キャット ゴーリー (No.26) / 原画 / 1972 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 10.5 × 12.5 / 個人蔵
- 115 / キャット ゴーリー (No.34) / 原画 / 1972 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 10.7 × 12.5 / 個人蔵
- 116 / キャット ゴーリー (No.52) / 原画 / 1972 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 10.7 × 12.5 / 個人蔵
- 117 / 『キャット ゴーリー』 ネコとブタ / 不詳 / むいぐるみ (2点) / 個人蔵
- 118 / フィグバッシュ むいぐるみ / 不詳 / むいぐるみ (3点) / 個人蔵
- 119 / 大きな昆虫 (『頭のない胸像』 限定セットの むいぐるみ) / 不詳 / むいぐるみ / 個人蔵
- 120 / 荒れ狂う潮 : あるいは 黒い人形のごたごた / スケッチ / 1987 / ペン・インク、紙 / 12.7 × 7.6 / Edward Gorey Charitable Trust
- 121 / 『鉄分強壮薬 : あるいは 寂しい谷間の冬の午後』 / 書籍 / 1969 / 14.0 × 24.0 / 個人蔵
- 122 / 鉄分強壮薬 : あるいは 寂しい谷間の冬の午後 / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 10.8 × 21.6 / Edward Gorey Charitable Trust
- 123 / 鉄分強壮薬 : あるいは 寂しい谷間の冬の午後 / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 10.8 × 21.6 / Edward Gorey Charitable Trust
- 124 / 鉄分強壮薬 : あるいは 寂しい谷間の冬の午後 / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 10.8 × 21.6 / Edward Gorey Charitable Trust
- 125 / 『中国風オベリスク : 四つ目のアルファベット』 / 書籍 / 1970 / 12.6 × 15.2 / 個人蔵
- 126 / 中国風オベリスク : 四つ目のアルファベット / 1970 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 127 / 『錯乱のいとこたち : あるいは 何でもいい』 / 書籍 / 1971 / 12.7 × 15.3 / 個人蔵
- 128 / 錯乱のいとこたち : あるいは 何でもいい / 原画 / 1971 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 129 / 錯乱のいとこたち : あるいは 何でもいい / 原画 / 1971 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 130 / 錯乱のいとこたち : あるいは 何でもいい / 原画 / 1971 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 131 / 錯乱のいとこたち : あるいは 何でもいい / 原画 / 1971 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 132 / 『失われたライオンたち : あるいは 間違った封筒を開けたこと』 / 書籍 / 1973 / 12.3 × 15.2 / 個人蔵
- 133 / 失われたライオンたち : あるいは 間違った封筒を開けたこと / 原

- 画 / 1973 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 134 / 失われたライオンたち：あるいは間違った封筒を開けたこと / 原画 / 1973 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 135 / 『華々しき鼻血』 / 書籍 / 1975 / 17.6 × 18.5 / 個人蔵
- 136 / 華々しき鼻血 / 原画 / 1975 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 137 / 華々しき鼻血 / 原画 / 1975 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 138 / 華々しき鼻血 / 原画 / 1975 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 139 / 華々しき鼻血 / 原画 / 1975 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 140 / 華々しき鼻血 / 原画 / 1975 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 141 / 『折れたスポーク』 / 書籍 / 1976 / 14.0 × 19.5 / 個人蔵
- 142 / 折れたスポーク / ジャケット・原画 / 1976 / ペン・インク・水彩、紙 / 17.2 × 43.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 143 / 折れたスポーク / 原画 / 1976 / ペン・インク・水彩、紙 / 16.2 × 11.4 / Edward Gorey Charitable Trust
- 144 / 『薄紫のレオタード；あるいは ニューヨーク・シティ・パレエに通いつめること』 / 書籍 / 1972 / 12.4 × 15.8 / 個人蔵
- 145 / 薄紫のレオタード；あるいは ニューヨーク・シティ・パレエに通いつめること / 原画 / 1973 / ペン・インク、紙 / 8.3 × 5.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 146 / 『有用な骨壺』 / 書籍 / 1980 / 12.6 × 15.2 / 個人蔵
- 147 / 有用な骨壺 / 原画 / 1980 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 148 / 『おぞましい二人』 / 書籍 / 1977 / 18.0 × 18.5 / 個人蔵
- 149 / おぞましい二人 / 原画 / 1977 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 150 / おぞましい二人 / 原画 / 1977 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 151 / おぞましい二人 / 原画 / 1977 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 152 / おぞましい二人 / 原画 / 1977 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 153 / おぞましい二人 / 原画 / 1977 / ペン・インク、紙 / 11.4 × 14.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 154 / 『荒れ狂う潮：あるいは 黒い人形のごたごた』 / 書籍 / 1987 / 17.1 × 22.4 / 個人蔵
- 155 / 荒れ狂う潮：あるいは 黒い人形のごたごた / 原画 / 1987 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 16.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 156 / 荒れ狂う潮：あるいは 黒い人形のごたごた / 原画 / 1987 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 16.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 157 / 荒れ狂う潮：あるいは 黒い人形のごたごた / スケッチ / 1987 / ペン・インク、紙 / 5.1 × 5.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 158 / 『音叉』 / 書籍 / 1990 / 12.7 × 15.0 / 個人蔵
- 159 / 音叉 / 原画 / 1990 / ペン・インク、紙 / 10.2 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 160 / 忠告詩 / 原画 / 2006 / ペン・インク、紙 / 9.2 × 8.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 161 / 忠告詩 / 原画 / 2006 / ペン・インク、紙 / 9.2 × 8.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 162 / 忠告詩 / 原画 / 2006 / ペン・インク、紙 / 9.2 × 8.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 163 / 忠告詩 / 原画 / 2006 / ペン・インク、紙 / 9.2 × 8.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 164 / 忠告詩 / 原画 / 2006 / ペン・インク、紙 / 9.2 × 8.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 165 / 『憑かれたポットカバー クリスマスのための気落ちした気色悪い気晴らし』 / 書籍 / 1998 / 19.4 × 19.8 / 個人蔵
- 166 / 憑かれたポットカバー クリスマスのための気落ちした気色悪い気晴らし / 原画 / 2006 / ペン・インク、紙 / 6.4 × 7.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 167 / 憑かれたポットカバー クリスマスのための気落ちした気色悪い気晴らし / 原画 / 2006 / ペン・インク、紙 / 6.4 × 7.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 168 / ドッグイヤー・ライド・ポストカード：刈込造形（トピアリー）的悲劇 / 原画 / 1989 / ペン・インク、紙 / 10.8 × 16.5 / Edward Gorey Charitable Trust
- 169 / ドッグイヤー・ライド・ポストカード：刈込造形（トピアリー）的悲劇 / 原画 / 1989 / ペン・インク、紙 / 10.8 × 16.5 / Edward Gorey Charitable Trust
- 170 / ドッグイヤー・ライド・ポストカード：刈込造形（トピアリー）的悲劇 / 原画 / 1989 / ペン・インク、紙 / 10.8 × 16.5 / Edward Gorey Charitable Trust
- 171 / ドッグイヤー・ライド・ポストカード：刈込造形（トピアリー）的悲劇 / 原画 / 1989 / ペン・インク、紙 / 10.8 × 16.5 / Edward Gorey Charitable Trust
- 172 / ドッグイヤー・ライド・ポストカード：刈込造形（トピアリー）的悲劇 / ポストカード / 1989 / 印刷物（12枚） / 各 12.2 × 16.5 / 個人蔵
- 173 / ドッグイヤー・ライド・ポストカード：忘却連作への施しもの / ポストカード / 1978 / 印刷物（16枚） / 各 11.7 × 17.3 / 個人蔵
- 174 / 『むしのほん』 / 書籍 / 1959 / 15.3 × 10.9 / 個人蔵
- 175 / 『奇妙なソファ』 / 書籍 / 1961 / 15.5 × 12.5 / 個人蔵
- 176 / 『野蛮な赤ん坊』 / 書籍 / 1962 / 14.0 × 11.4 / 個人蔵
- 177 / 『蟲の神』 / 書籍 / 1963 / 17.0 × 18.2 / 個人蔵
- 178 / 『ワグリー・アンプ』 / 書籍 / 1963 / 13.1 × 16.0 / 個人蔵
- 179 / 『降りてくる魔力』 / 書籍 / 1964 / 15.5 × 13.0 / 個人蔵
- 180 / 『邪悪な庭』 / 書籍 / 1966 / 12.6 × 15.2 / 個人蔵
- 181 / 『無生物の悲劇』 / 書籍 / 1966 / 11.5 × 11.5 / 個人蔵
- 182 / 『敬虔な幼子』 / 書籍 / 1966 / 14.0 × 8.5 / 個人蔵
- 183 / 『まったき動物園』 / 書籍 / 1967 / 17.0 × 18.0 / 個人蔵
- 184 / 『ドナルドは困っている』 / 書籍 / 1970 / 12.6 × 15.2 / 個人蔵
- 185 / 『どうして昼と夜があるの？』 / 書籍 / 1970 / 17.0 × 21.5 / 個人蔵
- 186 / 『11番目の話』 / 書籍 / 1971 / 12.7 × 15.4 / 個人蔵
- 187 / 『サラのためのおはなし 小さな女の子に起きたできごと』 / 書籍 / 1971 / 13.2 × 15.6 / 個人蔵
- 188 / 『オードリー・ゴアの遺産』 / 書籍 / 1972 / 15.8 × 23.8 / 個人蔵
- 189 / 『捨てられた靴下』 / 書籍 / 1973 / 12.3 × 15.2 / 個人蔵
- 190 / 『ブラック・ドール』 / 書籍 / 1973 / 18.6 × 13.0 / 個人蔵

- 191 / 『不敬な召喚』 / 書籍 / 1973 / 12.3 × 15.2 / 個人蔵
- 192 / 『リメリック (五行戯詩)』 / 書籍 / 1973 / 12.8 × 10.2 / 個人蔵
- 193 / 『蒼い時』 / 書籍 / 1975 / 14.2 × 16.7 / 個人蔵
- 194 / 『恐ろしい縁飾り』 / 書籍 / 1976 / 12.7 × 15.2 / 個人蔵
- 195 / 『緑のビーズ』 / 書籍 / 1978 / 12.7 × 15.2 / 個人蔵
- 196 / 『踊る猫と顧みられぬ女殺人者たち』 / 書籍 / 1980 / 17.5 × 12.7 / 個人蔵
- 197 / 『不吉な絵合わせ』 / 書籍 / 1981 / 17.0 × 12.0 / 個人蔵
- 198 / 『気まぐれなクマ E.D. ウォード』 / 書籍 / 1983 / 17.5 × 12.4 / 個人蔵
- 199 / 『睡蓮』 / 書籍 / 1982 / 16.0 × 18.6 / 個人蔵
- 200 / 『プルーンなひとびと』 / 書籍 / 1978 / 12.6 × 15.2 / 個人蔵
- 201 / 『馬疫にかかった対話』 / 書籍 / 1985 / 16.8 × 16.8 / 個人蔵
- 202 / 『プルーンなひとびとII』 / 書籍 / 1985 / 12.6 × 15.2 / 個人蔵
- 203 / 『改善の余地ある景色』 / 書籍 / 1985 / 12.6 × 15.2 / 個人蔵
- 204 / 『不安な長椅子』 / 書籍 / 1990 / 8.8 × 15.2 / 個人蔵
- 205 / 『下手な冗談』 / 書籍 / 1990 / 12.7 × 15.0 / 個人蔵
- 206 / 『気がかりな散歩』 / 書籍 / 1991 / 14.2 × 10.2 / 個人蔵
- 207 / 『悲痛な家庭生活』 / 書籍 / 1992 / 13.0 × 11.0 / 個人蔵
- 208 / 『大いなる情熱』 / 書籍 / 1992 / 13.0 × 11.0 / 個人蔵
- 209 / 『踊る岩 / 浮遊するゾウ』 / 書籍 / 1993 / 6.4 × 10.8 / 個人蔵
- 210 / 『無意味な本 : あるいは自然と芸術』 / 書籍 / 1993 / 5.6 × 7.0 / 個人蔵
- 211 / 『フィグバッシュのアクロバット』 / 書籍 / 1994 / 11.4 × 7.5 / 個人蔵
- 212 / 『取り戻されたロケット』 / 書籍 / 1994 / 12.0 × 12.0 / 個人蔵
- 213 / 『未知の野菜』 / 書籍 / 1995 / 12.7 × 15.2 / 個人蔵
- 214 / 『死の吸取紙 思慮深いアルファベット XVII』 / 書籍 / 1997 / 9.5 × 11.0 / 個人蔵
- 215 / 『正義のデザート 思慮深いアルファベット XI』 / 書籍 / 1997 / 12.7 × 12.3 / 個人蔵
- 216 / 『頭部のない胸像』 / 書籍 / 1999 / 19.4 × 19.8 / 個人蔵
- 217 / 『フレッチャーとゼノビア』 / 書籍 / 1967 / 15.8 × 15.8 / 個人蔵
- 218 / 『フレッチャーとゼノビア、サーカスを救う』 / 書籍 / 1971 / 20.5 × 18.4 / 個人蔵
- 219 / 『F.M.R.A.』 / 1980 / 23.0 × 16.0 / 個人蔵
- 220 / 『雑多なアルファベット』 / 書籍 / 1983 / 3.2 × 3.7 / 個人蔵
- 221 / 『しずくの垂れる蛇口』 / 書籍 / 1989 / 28.6 × 5.7 / 個人蔵
- 222 / 『Q.R.V.』 / 書籍 / 1989 / 3.8 × 4.0 / 個人蔵
- 223 / 『なくしたアルバムから』 / カード / 1972 / 18.0 × 11.8 / 個人蔵
- 224 / 『パレエの場面 : ドッグイヤー・ライド・ポストカード』 / ポストカード / 1976 / 10点 / 15.2 × 10.2 / 個人蔵
- 225 / 『解釈のシリーズ : ドッグイヤー・ライド・ポストカード』 / ポストカード / 1978 / 13点 / 15.2 × 10.2 / 個人蔵
- 226 / 『顧みられぬ女殺人者たち : ドッグイヤー・ライド・ポストカード』 / ポストカード / 1980 / 12点 / 16.5 × 12.3 / 個人蔵
- 227 / 『途方に暮れたドアノブ シャッフルされたお話』 / カード / 1989 / 10.2 × 6.3 / 個人蔵
- 228 / 『脅かされた物たち : ドッグイヤー・ライド・ポストカード』 / ポストカード / 1989 / 16点 / 12.2 × 16.5 / 個人蔵
- 229 / 『おつぎはなあに? : ドッグイヤー・ライド・ポストカード』 / ポストカード / 1990 / 12点 / 12.0 × 16.5 / 個人蔵
- 230 / 『裏切られた信頼 : ドッグイヤー・ライド・ポストカードの7つのシリーズ』 / 書籍 / 1990 / 19.0 × 19.0 / 個人蔵
- 231 / 『ファントッド・パック』 / 書籍 / 1995 / 12.7 × 7 / 個人蔵
- 232 / 『Q.R.V. ヒクプタ : ドッグイヤー・ライド・ポストカード』 / ポストカード / 1996 / 12.1 × 16.5 / 個人蔵
- 233 / 『Q.R.V. 透かしなし、目打ちなし : ドッグイヤー・ライド・ポストカード』 / ポストカード / 1996 / 12.1 × 16.5 / 個人蔵
- 234 / 『毒入り戸棚』 / 書籍 / 1965 / 14.2 × 14.6 / 個人蔵
- 235 / 『ゴリー・フェスティバル』 / 書籍 / 1968 / 18.2 × 12.8 / 個人蔵
- 236 / 『ビネガー・ワークス』 / 書籍 / 1972 / 18.4 × 3.5 / 個人蔵
- 237 / 『三部作』 / 書籍 / 1973 / 18.0 × 22.5 / 個人蔵
- 238 / 『うろんな客 11の奇妙な絵物語』 / 1973 / 27.5 × 22.5 / 個人蔵
- 239 / 『またアンフィゴリー』 / 書籍 / 1975 / 29.0 × 21.0 / 個人蔵
- 240 / 『オムニバス』 / 書籍 / 1975 / 17.8 × 18.2 / 個人蔵
- 241 / 『アンフィゴリー & またアンフィゴリー』 / 書籍 / 1977 / 28.8 × 21.0 / 個人蔵
- 242 / 『ファントッド作品集』 / 書籍 / 1978 / 18.0 × 18.2 / 個人蔵
- 243 / 『棺作品集』 / 書籍 / 1979 / 17.5 × 18.0 / 個人蔵
- 244 / 『ゴリー・ポスター集』 / 書籍 / 1979 / 40.4 × 29.3 / 個人蔵
- 245 / 『エドワード・ゴリーの奇妙奇天烈な作品集 : ポケット版ディオゲネス・アートブック 33冊セット』 / 書籍 / 1981 / 29.0 × 20.0 / 個人蔵
- 246 / 『またまたアンフィゴリー』 / 書籍 / 1983 / 29.2 × 21.2 / 個人蔵
- 247 / 『うろんな客』 / 書籍 / 1994 / 23.0 × 16.5 / 個人蔵
- 248 / 『アンフィゴリー・アゲイン』 / 書籍 / 2007 / 個人蔵
- 249 / 『どんどん減って』 / 書籍 / 1982 / 29.8 × 19.6 / 個人蔵
- 250 / 『トンネルの惨事』 / 書籍 / 1984 / 16.5 × 17.5 / 個人蔵

第2章 イギリスのナンセンス詩や文学とゴリーの挿絵

- 1 / 悪いことをして罰があたった子どもたちの話 / 表紙・原画 / 2002 / ペン・インク・水彩 / 紙 / 23.8 × 32.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 2 / 悪いことをして罰があたった子どもたちの話 / 原画 / 2002 / ペン・インク、紙 / 17.8 × 9.5 / Edward Gorey Charitable Trust
- 3 / 悪いことをして罰があたった子どもたちの話 / 原画 / 2002 / ペン・インク、紙 / 13.5 × 9.5 / Edward Gorey Charitable Trust
- 4 / 悪いことをして罰があたった子どもたちの話 / 原画 / 2002 / ペン・インク、紙 / 13.5 × 9.5 / Edward Gorey Charitable Trust
- 5 / 悪いことをして罰があたった子どもたちの話 / 原画 / 2002 / ペン・インク、紙 / 17.8 × 10.8 / Edward Gorey Charitable Trust
- 6 / ジャンプリーズ / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 9.5 × 17.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 7 / ジャンプリーズ / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 9.5 × 17.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 8 / ジャンプリーズ / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 9.5 × 17.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 9 / ジャンプリーズ / 原画 / 1968 / ペン・インク、紙 / 9.5 × 17.2 / Edward Gorey Charitable Trust

- 10 / 輝ける鼻のどんぐ / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 9.5 × 17.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 11 / 輝ける鼻のどんぐ / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 9.5 × 17.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 12 / 輝ける鼻のどんぐ / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 9.5 × 17.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 13 / 輝ける鼻のどんぐ / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 9.5 × 17.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 14 / 輝ける鼻のどんぐ / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 9.5 × 17.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 15 / 輝ける鼻のどんぐ / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 9.5 × 17.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 16 / 輝ける鼻のどんぐ / 原画 / 1969 / ペン・インク、紙 / 9.5 × 17.2 / Edward Gorey Charitable Trust
- 17 / キャッツ ポッサムおじさんの実用猫百科 / 表紙・原画 / 1982 / ペン・インク、紙 / 19.7 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 18 / キャッツ ポッサムおじさんの実用猫百科 / 原画 / 1982 / ペン・インク、紙 / 16.5 × 11.4 / Edward Gorey Charitable Trust
- 19 / キャッツ ポッサムおじさんの実用猫百科 / 原画 / 1982 / ペン・インク、紙 / 16.5 × 11.4 / Edward Gorey Charitable Trust
- 20 / 『マルティニ家の息子のレシピ』(Trahey, Jane&Pierce, Daren Pierce) / 書籍 / 1967 / 23.5 × 26.8 / 個人蔵
- 21 / 『悪いことをして罰があった子どもたちの話』(ヘレア・ベロック著) / 書籍 / 2002 / 24.4 × 19.2 / 個人蔵
- 22 / 『不規則なソネット』(Merrill Moore 著) / 書籍 / 1950 / 21.0 × 14.5 / 個人蔵
- 23 / 『荒涼館』(チャールズ・ディケンズ著) / 書籍 / 1953 / 21.5 × 15.0 / 個人蔵
- 24 / 『宇宙戦争』(H.G. ウェルズ著) / 書籍 / 1960 / 19.0 × 13.0 / 個人蔵
- 25 / 『ペニー・キャンディ』(エドワード・B・フェントン著) / 書籍 / 1970 / 21.6 × 19.0 / 個人蔵
- 26 / ペニー・キャンディ / 扉・原画 / 1970 / ペン・インク・鉛筆、紙 / 28.2 × 17.5 / 個人蔵
- 27 / 『ジャンプリーズ』(エドワード・リア著) / 書籍 / 1968 / 15.7 × 23.5 / 個人蔵
- 28 / 『キャッツ ポッサムおじさんの実用猫百科』(T・S・エリオット著) / 書籍 / 1982 / 21.0 × 14.5 / 個人蔵
- 29 / 『輝ける鼻のどんぐ』(エドワード・リア著) / 書籍 / 1969 / 15.7 × 23.5 / 個人蔵
- 30 / ニューヨーク・レビュー・クイズブック / 挿絵・原画 / 1986 / ペン・インク・鉛筆、紙 / 8.5 × 10.8 / 個人蔵
- 31 / 『ニューヨーク・レビュー・クイズブック』 / 書籍 / 1986 / 21.0 × 14.0 / 個人蔵
- 32 / 『オール・ストレンジ・アウェイ』(サミュエル・ベケット著) / 書籍 / 1976 / 27.7 × 19.3 / 個人蔵
- 33 / 『赤ずきんちゃん』(ベアトリス・シュンク・ド・レーニエ著) / 書籍 / 1972 / 21.2 × 17.0 / 個人蔵
- 第3章 ゴーリーの多様な創作と舞台美術
- 1 / 母親に宛てた絵封筒《空中ブランコに乗る鳥たち》 / 1948 / ペン・インク・水彩、紙 / 10.5 × 24.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 2 / 母親に宛てた絵封筒《ワインを注ぐ天使たち》 / 1948 / ペン・インク、紙 / 10.5 × 24.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 3 / 母親に宛てた絵封筒《幕と天使》 / 1948 / ペン・インク・水彩、紙 / 10.5 × 24.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 4 / 母親に宛てた絵封筒《空中ブランコに乗る男》 / 1948 / ペン・インク・水彩、紙 / 10.5 × 24.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 5 / 母親に宛てた絵封筒《カノン砲の中の男》 / 1948 / ペン・インク・水彩、紙 / 10.5 × 24.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 6 / 母親に宛てた絵封筒《雲の中のはしごを登っていく男》 / 1948 / ペン・インク・水彩、紙 / 10.5 × 24.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 7 / 母親に宛てた絵封筒《首を絞められようとする男》 / 1948 / ペン・インク・水彩、紙 / 10.5 × 24.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 8 / プレゼント交換するドラゴンと人 / 1950 / ペン・インク・水彩、紙 / 15.6 × 10.5 / Edward Gorey Charitable Trust
- 9 / ベルバデーレのデザート / 挿絵・原画 / 1986 (1973) / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 18.3 × 18.6 / 個人蔵
- 10 / 野原のUFO / 原画 (未使用) / 不詳 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 21.5 × 18.0 / 個人蔵
- 11 / 法王庁の抜け穴 / 表紙・原画 / 1953 / ペン・インク、紙 / 18.7 × 12.4 / Edward Gorey Charitable Trust
- 12 / レッドバーン; 最初の航海 / 表紙・原画 / 1957 / ペン・インク、紙 / 18.7 × 12.7 / Edward Gorey Charitable Trust
- 13 / 憑かれたアメリカ / 表紙 (未使用)・原画 / 1994 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 21.6 × 33.0 / 個人蔵
- 14 / 憑かれたアメリカ / 表紙 / 1994 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 21.6 × 33.0 / Edward Gorey Charitable Trust
- 15 / 『法王庁の抜け穴』(アンドレ・ジッド著) / 書籍 / 1953 / 18.2 × 11.0 / 個人蔵
- 16 / 『レッドバーン; 最初の航海』(ハーマン・メルヴィル著) / 書籍 / 1957 / 18.5 × 10.5 / 個人蔵
- 17 / 『憑かれたアメリカ』(マーヴィン・ケイ著) / 書籍 / 1994 / 21.7 × 15.0 / 個人蔵
- 18 / 『アンフィゴリー』 / 書籍 / 1972
- 19 / アンフィゴリー / 表紙・ラフスケッチ / 1972 / ペン・インク、紙 / 27.9 × 21.6 / Edward Gorey Charitable Trust
- 20 / アンフィゴリー・アゲイン《悔恨の雨靴》 / 口絵 / 2006 / ペン・インク・水彩、紙 / 24.8 × 18.4 / Edward Gorey Charitable Trust
- 21 / 一輪車に乗る蟲 / 1976 / 銅版画、紙 / 19.5 × 12.5 / 個人蔵
- 22 / 無題 / 不詳 / ペン・インク、紙 / 25.4 × 20.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 23 / アイススケートをするワニ / 不詳 / ペン・インク、紙 / 15.2 × 25.4 / Edward Gorey Charitable Trust
- 24 / 空飛ぶ猫のいる自画像 / 不詳 / オフセット印刷 / 11.8 × 9.5 / Edward Gorey Charitable Trust
- 25 / 空飛ぶ犬のいる自画像 / 1978 / ペン・インク、紙 / 14.0 × 8.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 26 / 百貨店アルトマン / 雑誌広告・原画 / 1974 / ペン・インク・水彩、紙 / 14.4 × 10.7 / 個人蔵
- 27 / ミカド / フライヤー / 1983 / 印刷物 / 21.5 × 15.3 / 個人蔵
- 28 / ミカド / セットデザイン / 1983 / 水彩、紙 / 19.1 × 24.8 / Edward Gorey Charitable Trust
- 29 / ミカド / セットデザイン / 1983 / 水彩、紙 / 21.0 × 30.5 / Edward Gorey Charitable Trust

- 30 / ミカド / 衣装デザイン / 1983 / ペン・インク・水彩、紙 / 14.0 × 11.4 / Edward Gorey Charitable Trust
- 31 / ミカド / 衣装デザイン / 1983 / ペン・インク・水彩、紙 / 12.4 × 8.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 32 / ミカド / 衣装デザイン / 1983 / ペン・インク・水彩、紙 / 12.1 × 8.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 33 / ミカド / 衣装デザイン / 1983 / ペン・インク・水彩、紙 / 14.0 × 8.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 34 / ミカド / 衣装デザイン / 1983 / ペン・インク・水彩、紙 / 12.1 × 11.4 / Edward Gorey Charitable Trust
- 35 / ミカド / 衣装デザイン / 1983 / ペン・インク・水彩、紙 / 11.4 × 12.1 / Edward Gorey Charitable Trust
- 36 / ミカド / 衣装デザイン / 1983 / ペン・インク・水彩、紙 / 11.4 × 8.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 37 / ミカド / 衣装デザイン / 1983 / ペン・インク・水彩、紙 / 11.4 × 7.3 / Edward Gorey Charitable Trust
- 38 / バレエ「ジゼル」第2幕 / セットデザイン / 1994 / インク、紙 / 12.7 × 25.4 / Edward Gorey Charitable Trust
- 39 / スケッチブック / 不詳 / ペン・鉛筆、紙 / Edward Gorey Charitable Trust
- 40 / スケッチブック / 不詳 / ペン・鉛筆、紙 / Edward Gorey Charitable Trust
- 41 / 『鐘、本、呪縛者』(ブラッド・ストリックランド著) / 書籍 / 1997 / 21.6 × 14.5 / 個人蔵
- 42 / 鐘、本、呪縛者 / 表紙・原画 / 1997 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 27.0 × 35.7 / 個人蔵
- 43 / 鐘、本、呪縛者 / 扉・原画 / 1997 / ペン・インク、紙 / 22.4 × 18.5 / 個人蔵
- 44 / 『ニタニタ幽霊の憤怒』(ブラッド・ストリックランド著) / 書籍 / 1999 / 21.6 × 14.5 / 個人蔵
- 45 / ニタニタ幽霊の憤怒 / 表紙・原画 / 1999 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 24.0 × 33.7 / 個人蔵
- 46 / ニタニタ幽霊の憤怒 / 扉・原画 / 1999 / ペン・インク・鉛筆、紙 / 21.6 × 16.6 / 個人蔵
- 47 / 『ダイドーと父ちゃん』(ジョン・エイケン著) / 書籍 / 1986 / 21.6 × 14.5 / 個人蔵
- 48 / ダイドーと父ちゃん / 表紙・原画 / 1986 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 27.5 × 17.5 / 個人蔵
- 49 / 『かっこうの木』(ジョン・エイケン著) / 書籍 / 1988 / 19.2 × 12.9 / 個人蔵
- 50 / かっこうの木 / 表紙・原画 / 1988 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 18.5 × 17.5 / 個人蔵
- 51 / 『血なまぐさい仕事』(H・ポール・ジェファーズ著) / 書籍 / 1992 / 21.6 × 14.5 / 個人蔵
- 52 / 血なまぐさい仕事 / 表紙・原画 / 1992 / ペン・インク・水彩・鉛筆・ガッシュ、紙 / 26.5 × 21.5 / 個人蔵
- 53 / 手を挙げるフィグバッシュ / 不詳 / 銅版、紙 / 14.4 × 17 / 個人蔵
- 54 / 両手を後ろに回すフィグバッシュ / 不詳 / 銅版、紙 / 14.4 × 17 / 個人蔵
- 55 / 「エトセトラ」に乗る翼のあるフィグバッシュ / 不詳 / 銅版、紙 / 14.4 × 17 / 個人蔵
- 56 / 窓のクッションになる房のついた生きもの / 不詳 / 銅版、紙 / 16.5 × 14.5 / 個人蔵
- 57 / ホテル / 不詳 / オフセット印刷 / 個人蔵
- 58 / 劇場 / 不詳 / リトグラフ、紙 / 個人蔵
- 59 / 塔の場面 / 不詳 / リトグラフ、紙 / 個人蔵
- 60 / 塔の上の猫 / 不詳 / リトグラフ、紙 / 個人蔵
- 61 / 倒れた壺 / 不詳 / リトグラフ、紙 / 個人蔵
- 62 / バッカスの饗宴 / 不詳 / リトグラフ、紙 / 個人蔵
- 63 / 逢い引き / 不詳 / リトグラフ、紙 / 個人蔵
- 64 / ティールームのトリプティック / 不詳 / リトグラフ、紙 / 個人蔵
- 65 / 夏の楽しみ / 不詳 / リトグラフ、紙 / 個人蔵
- 66 / ボストン・ブックフェア古本市 / ポスター / 1995 / 印刷物 / 54.0 × 35.5 / 個人蔵
- 67 / ボストン・ブックフェア / ポスター / 1994 / 印刷物 / 54.0 × 35.5 / 個人蔵
- 68 / ボストン・ブックフェア / 原画 (未使用) / 1994 / ペン・インク、紙 / 7.5 × 8.5 / 個人蔵
- 69 / ボストン・ブックフェア / ポスター・原画 / 1994 / ペン・インク・水彩・鉛筆、紙 / 9.6 × 12.0 / 個人蔵
- 70 / 児童書のショーケース / ポスター / 1973 / 印刷物 / 60.0 × 40.0 / 個人蔵
- 71 / ミステリーを読んで、解こう (アメリカ図書館協会読書プログラム) / ポスター / 不詳 / 印刷物 / 個人蔵
- 72 / 第10回サマー・フェスティバル / ポスター / 1985 / 印刷物 / 個人蔵
- 73 / ケープ・プレーハウス60周年 / ポスター / 不詳 / 印刷物 / 個人蔵
- 74 / ミュージカル「ゴリーの詳細」 / ポスター / 不詳 / 印刷物 / 54.0 × 35.5 / 個人蔵
- 75 / ゴリー・ストーリーズ / ポスター / 不詳 / 印刷物 / 個人蔵
- 76 / ミュージカル「アンフィゴリー」(再公演) / ポスター / 1994 / 印刷物 / 54.0 × 35.5 / 個人蔵
- 77 / 黒い天使(「ミステリー!」シリーズポスター) / ポスター / 不詳 / 印刷物 / 個人蔵
- 78 / ミステリー! / ポスター / 1980頃 / 印刷物 / 116.8 × 76.2 / 個人蔵
- 79 / 舞台劇「ドラキュラ」 / ポスター / 不詳 / 印刷物 / 個人蔵
- 80 / ニューヨーク・シティ・バレエ / ポスター / 1960頃 / 印刷物 / 61.3 × 32.7 / 個人蔵
- 81 / 象の作品 / 不詳 / 銅版 / 紙 (7点のうち5点) / 個人蔵
- 82 / 版画集『エレファントマス』 / 不詳 / 銅版 / 紙 (9点のうち6点) / 個人蔵
- 83 / 創造性(『アンフィゴリー・アゲイン』収録) / 2006 / 印刷物 / 21.6 × 15.9 / Edward Gorey Charitable Trust
- 84 / Tシャツ / 不詳 / 14点 / 個人蔵
- 85 / ニューヨーク・シティ・バレエや「ドラキュラ」に関連して作られたネクタイ / 不詳 / 3点 / 個人蔵
- 86 / ピンバッチ / 不詳 / 16点 / 個人蔵
- 87 / トート・バッグ / 不詳 / 5点 / 個人蔵
- 88 / こうもり / 不詳 / 銅版、紙 / 15.5 × 15.5 / 個人蔵
- 89 / 雨の中のこうもり / 不詳 / 銅版、紙 / 15.4 × 15.3 / 個人蔵
- 90 / 舞台劇「ドラキュラ」こうもりのぬいぐるみ / 不詳 / ぬいぐるみ / 個人蔵
- 91 / 『ドラキュラ：おもちゃの劇場』 / 1979 / 書籍 / 個人蔵

(4) 被災地からの発信 ふくしま 3.11 以降を描く



A4 チラシ

会期：平成 28 年 9 月 10 日(土)～ 10 月 10 日(月)祝

分野：絵画

展示数：75 点

観覧料：無料

観覧者数：2,631 名

担当：伊藤 匡、宮武 弘

主催：被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会

*平成 28 年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

関連事業：

- ・シンポジウム「被災地の表現、その可能性を探る」

日時：9 月 10 日(土)

講師：小勝禮子氏（美術史・美術批評、前栃木県立美術館学芸課長）、原田 光氏（美術評論家、前岩手県立美術館長）、三上満良氏（宮城県美術館副館長）

司会：伊藤 匡（当館学芸課長） 参加者：30 名

- ・出品作家によるギャラリートーク①

日時：9 月 17 日(土)

解説：片平 仁、宮本興一郎、門馬美喜、油井ひろ子
参加者：30 名

- ・出品作家によるギャラリートーク②

日時：10 月 1 日(土)

解説：齋藤杏奈、坂内直美、松本良子
参加者：20 名

- ・移動展示「ふくしま 3.11 以降を描く」

期間：10 月 5 日(木)～ 16 日(日)

会場：大崎市民ギャラリー緒絶の館

概要：

東日本大震災とそれに続く原発事故から 5 年を経て、福島県の美術家たちが少しずつ震災を表現している。本展では、震災とその後の福島の状態をテーマに制作している作家 7 人の作品 75 点を展示し、作家たちが現状をどのように捉え、自己の表現に結びつけようとしているかに焦点を当てた。

出品作家は以下のとおり：片平 仁（1959 年福島市生まれ）、齋藤杏奈（1989 年福島市生まれ）、坂内直美（1990 年南相馬市

生まれ）、松本良子（1952 年矢吹町生まれ）、宮本興一郎（1939 年東京都生まれ／郡山市在住）、門馬美喜（1981 年相馬市生まれ）、油井ひろ子（1948 年郡山市生まれ）



展示風景



シンポジウム (9/10)



門馬美喜ギャラリートーク (9/17)



油井ひろ子ギャラリートーク (9/17)



片平仁ギャラリートーク (9/17)



宮本興一郎ギャラリートーク (9/17)



松本良子ギャラリートーク (10/1)



齋藤杏奈ギャラリートーク (10/1)



坂内直美ギャラリートーク (10/1)

◆出品リスト：

[No./作家名/タイトル/制作年/材質・技法/サイズ (cm)]

- 1/油井ひろ子/切り棄てられた風景/福島市堀河町/2015/パネル・アクリル、スクラッチ/103.0×72.8
- 2/油井ひろ子/切り棄てられた風景/福島市東浜町/2015/パネル・アクリル、スクラッチ/72.8×103.0
- 3/油井ひろ子/切り棄てられた風景/福島市森合/2015/パネル・アクリル、スクラッチ/72.8×103.0
- 4/油井ひろ子/切り棄てられた風景/福島市清明町/2015/パネル・アクリル、スクラッチ/72.8×103.0
- 5/油井ひろ子/切り棄てられた風景/二本松市向原/2015/パネル・アクリル、スクラッチ/72.8×103.0
- 6/油井ひろ子/切り棄てられた風景/福島市大笹生/2016/パネル・アクリル、スクラッチ/72.8×103.0
- 7/油井ひろ子/切り棄てられた風景/福島市岡部/2016/パネル・アクリル、スクラッチ/72.8×103.0
- 8/松本良子/風が吹いた日 3.15 / 2013 /カンヴァス・アクリル、カシュー/162.1×130.3
- 9/松本良子/あるらしい/2014 /カンヴァス・アクリル、カシュー/162.1×130.3
- 10/松本良子/living thing / 2014 /カンヴァス・アクリル、カシュー/130.3×162.1
- 11/松本良子/being here / 2015 /カンヴァス・アクリル、カシュー/162.1×130.3
- 12/松本良子/風よ雨よ大地よ/2016 /カンヴァス・アクリル、カシュー/116.7×233.4
- 13/片平仁/東日本大震災の印象/2012 (2016 再制作) /CG、フィルムにプリント、アルミ複合パネル/200.0×300.0
- 14/片平仁/土の墓場/2015 /CG、ターポリンにプリント/105.0×182.0
- 15/片平仁/群れる/2015 /CG、ターポリンにプリント/105.0×182.0
- 16/片平仁/戦争機械/2015 /CG、フィルムにプリント、アルミ複合パネル/120.0×180.0
- 17/片平仁/誰もねてはならぬ/2015 /CG、ターポリンにプリント/105.0×182.0
- 18/片平仁/原発頭 Ver.1.5 / 2016 /CG、ターポリンにプリント/300.0×200.0
- 19/門馬美喜/Route/65ヶ月 仙台・相馬・東京/2015-16 /カンヴァス・油彩 (34点組)
 - 19-1 /仙台駅/2016 /24.2×33.3
 - 19-2 /草の生えた線路/2015 /24.2×33.3
 - 19-3 /JR常磐線車窓/2016 /24.2×33.3
 - 19-4 /バスに乗り換える/2016 /24.2×33.3
 - 19-5 /電車が通れない線路側だけに待合室がある駅のホーム/130.3×162.0
 - 19-6 /仮設のJR山下駅と役場/2016 /130.3×162.0
 - 19-7 /新しい道の下をくぐる/2015 /24.2×33.3
 - 19-8 /建物の基礎を作っているのが見える/2015 /24.2×33.3
 - 19-9 /仮設のJR駅/2015 /24.2×33.3
 - 19-10 /作っている途中の道路部分/2016 /24.2×33.3
 - 19-11 /JR常磐線。防風林がないので遠くからでも海岸が見える/2016 /130.3×194.0

- 19-12 / 新地駅。津波浸水区域 / 2015 / 24.2 × 33.3
- 19-13 / 遠くに東北電力火力発電所が見える道を通る / 2016 / 24.2 × 33.3
- 19-14 / J R 駒ヶ嶺駅。この線路から先は津波で復旧していないため、電車は通れない / 2016 / 72.7 × 91.0
- 19-15 / 野馬追 01 / 2016 / 24.2 × 33.3
- 19-16 / 野馬追 02 / 2016 / 24.2 × 33.3
- 19-17 / 宇田川橋 / 2016 / 130.3 × 162.0
- 19-18 / 神社と馬 / 2016 / 130.3 × 162.0
- 19-19 / 相馬城堀の鷺 / 2015 / 24.2 × 33.3
- 19-20 / 相馬市内の線路 / 2016 / 24.2 × 33.3
- 19-21 / 鹿島高速バス停 / 2015 / 24.2 × 33.3
- 19-22 / 鹿島消防署前 / 2015 / 24.2 × 33.3
- 19-23 / 遠くに東北電力火力発電所が見える橋を渡る / 2015 / 24.2 × 33.3
- 19-24 / 南相馬市でゲートボールをしている老人たち / 2015 / 24.2 × 33.3
- 19-25 / 作られたばかりの高速道路 / 2016 / 80.3 × 100.0
- 19-26 / 避難区域内の高速出口 / 2015 / 24.2 × 33.3
- 19-27 / 避難区域風景 01 / 2016 / 80.3 × 100.0
- 19-28 / 避難区域風景 02 / 2016 / 130.3 × 194.0
- 19-29 / 袋とグリーンシート / 2016 / 130.3 × 162.0
- 19-30 / 高速道路の横にグリーンカバーとフレコンバッグが整然と並んでいる / 2016 / 130.3 × 162.0
- 19-31 / いわき付近 / 2015 / 24.2 × 33.3
- 19-32 / 幼稚園ぐらいの子供たちが川の周りを散歩している / 2015 / 24.2 × 33.3
- 19-33 / 高速道路から見える塔と川 / 2015 / 24.2 × 33.3
- 19-34 / 東京駅 / 2016 / 24.2 × 33.3
- 20 / 坂内直美 / 故郷 - II / 2012 / カンヴァス・油彩 / 130.5 × 194.0
- 21 / 坂内直美 / 故郷 - VII / 2013 / カンヴァス、塩ビ板・油彩、水彩、ワイヤー / サイズ可変
- 22 / 坂内直美 / 故郷 - 16 / 2014 / カンヴァス・油彩 / 130.5 × 162.0
- 23 / 坂内直美 / 故郷 - 19 / 2015 / カンヴァス・油彩 / 145.0 × 227.5
- 24 / 宮本興一郎 / Remember 3・11 / 2012 / カンヴァス、紙・油彩、木 / 130.3 × 97.0
- 25 / 宮本興一郎 / Remember 3・11 / 2013 / カンヴァス、紙・油彩、木 / 193.9 × 259.1
- 26 / 宮本興一郎 / Remember 3・11 / 2014 / カンヴァス、紙・油彩、木 / 186.0 × 238.0
- 27 / 宮本興一郎 / Remember 3・11 / 2014 / カンヴァス、紙・油彩、木 / 90.9 × 116.7
- 28 / 宮本興一郎 / Remember 3・11 / 2015 / カンヴァス、紙・油彩、木 / 182.0 × 233.0
- 29 / 齋藤杏奈 / no country 夏 / 2013 / カンヴァス・油彩 / 130.0 × 356.0
- 30 / 齋藤杏奈 / no country 冬 / 2013-14 / カンヴァス・油彩 / 177.0 × 250.0
- 31 / 齋藤杏奈 / 碑 1 / 2014 / 木、カンヴァス生地・油彩 / 85.0 × 91.5 × 30.0
- 32 / 齋藤杏奈 / 碑 2 / 2014 / 木、カンヴァス生地・油彩 / 85.0 × 91.5 × 30.0
- 33 / 齋藤杏奈 / moon river 1 / 2016 / カンヴァス・油彩 / 91.0 × 60.6
- 34 / 齋藤杏奈 / nostalgia 夜 / 2016 / カンヴァス・油彩 / 116.7 × 182.0
- 35 / 齋藤杏奈 / nostalgia 夜明け / 2016 / カンヴァス・油彩 / 116.7 × 182.0
- 移動展示（大崎市民ギャラリー緒絶の館）
- 1 / 油井ひろ子 / 切り棄てられた風景 No.8 そして梢は風にさよならと言った（福島市堀河町緑地公園） / 2016 / パネル・アクリル、スクラッチ / 102.0 × 146.0
- 2 / 松本良子 / 時の狭間に / 2016 / カンヴァス・アクリル、カシュー / 162.1 × 130.3
- 3 / 片平仁 / 原発頭 Ver.2 / 2013 / CG、フィルムにプリント / 194.0 × 130.0
- 4 / 門馬美喜 / 相馬の線路。この先はまだ繋がっていない / 2016 / カンヴァス・油彩 / 130.3 × 162.0
- 5 / 坂内直美 / 故郷 - XI / 2014 / カンヴァス・油彩 / 130.5 × 162.0
- 6 / 宮本興一郎 / Remember 3・11 / 2013 / カンヴァス、紙・油彩、木 / 90.9 × 116.7
- 7 / 齋藤杏奈 / moon river 2 / 2016 / カンヴァス・油彩 / 91.0 × 91.0
- *作品はすべて作家蔵

(5) 原安三郎コレクション 広重ビビッド



A4 チラシ

会期：平成 28 年 10 月 29 日(土)～ 12 月 11 日(日)
分野：近世浮世絵版画
展示数：250 点
観覧料：一般・大学生 1,000(800) 円、高校生 600(500) 円、小・
中学生 400(300) 円 * () 内は 20 名以上の団体料金
観覧者数：17,001 名
担当：堀 宜雄、紺野朋子

主催：福島県立美術館
共催：テレビユー福島、福島民報社
協賛：日本化薬株式会社
後援：(公財) アダチ伝統木版画技術保存財団
協力：伊達市
企画制作：TBS テレビ

関連事業：

- ・講演会「名所江戸百景の今と昔」
日時：11 月 6 日(日)
講師：市川信也氏（那珂川町馬頭広重美術館長）
会場：当館講堂 参加者：100 名
- ・ギャラリートーク
① 11 月 11 日(金)
解説：堀 宜雄（当館専門学芸員） 参加者：50 名
② 12 月 3 日(土)
解説：紺野朋子（当館副主任学芸員） 参加者：50 名

概要：

日本化薬株式会社創業者であった原安三郎（1884-1982）氏の本邦初公開となる連作を含む、美しい浮世絵風景版画展。歌川広重（1797-1858）の晩年の傑作、《六十余州名所図会》《江戸名所百景》の初摺り揃いは、大きな反響をよび、また葛飾北斎《富嶽三十六景》、同じく広重不朽の名作《東海道五拾三次之内》、さらに奇才歌川国芳の作品は、教科書でも見た名品として好評を博した。

今回は、貴重な作品公開の条件として、全作品の半期展示替え、照度 50 ルクス以下ということがあり、観覧者への理解協力につとめたが、なお、より周知できるよう努力すべきことが課題となっ

た。それ以外はおおむね好意的で、アンケートでも 93.5%が「大変よい／よい」とした満足度の高い展覧会であった。



展示風景



講演会（11/6）



ギャラリートーク（12/3）

◆出品リスト：前期（10/29～11/20）後期（11/22～12/11）

第1章 初公開 歌川広重〈六十余州名所図会〉

歌川広重《六十余州名所図会》1853（嘉永6）年7月～1856（安政3）年5月 大判錦絵（寸最大36.2×25.7cm）

板元：越村屋平助（版画はI-1～69、I-70は梅素亭玄魚による目録）

- 前/I-1 /山城 あらし山 渡月橋 /嘉永6年7月 /1853
 後/I-2 /大和 立田山 龍田川 /嘉永6年7月 /1853
 前/I-3 /河内 牧方 男山 /嘉永6年7月 /1853
 後/I-4 /和泉 高師のはま /嘉永6年7月 /1853
 前/I-5 /撰津 住よし 出見のはま /嘉永6年7月 /1853
 後/I-6 /伊賀 上野 /嘉永6年7月 /1853
 前/I-7 /伊勢 朝熊山 峠の茶屋 /嘉永6年7月 /1853
 後/I-8 /志摩 日和山 鳥羽湊 /嘉永6年7月 /1853
 前/I-9 /尾張 津嶋 天王祭り /嘉永6年7月 /1853
 後/I-10 /三河 鳳来寺 山巖 /嘉永6年8月 /1853
 前/I-11 /遠江 濱名之湖 堀江館山寺 引佐之細江 /嘉永6年8月 /1853
 後/I-12 /駿河 三保のまつ原 /嘉永6年7月 /1853
 前/I-13 /甲斐 さるはし /嘉永6年8月 /1853
 後/I-14 /伊豆 修禅寺 湯治場 /嘉永6年8月 /1853
 前/I-15 /相模 江之嶋 岩屋ノ口 /嘉永6年8月 /1853
 後/I-16 /武蔵 隅田川 雪の朝 /嘉永6年8月 /1853
 前/I-17 /江戸 浅草市（初摺） /嘉永6年10月 /1853
 後/I-17' /江戸 浅草市（後摺） /嘉永6年10月 /1853
 前/I-18 /安房 小湊 内浦 /嘉永6年8月 /1853
 後/I-19 /上総 矢さしか浦 通名九十九里 /嘉永6年8月 /1853
 前/I-20 /下総 銚子の浜 外浦 /嘉永6年8月 /1853
 後/I-21 /常陸 鹿嶋 太神宮 /嘉永6年8月 /1853
 前/I-22 /近江 琵琶湖 石山寺 /嘉永6年7月 /1853
 後/I-23 /美濃 養老ノ瀧 /嘉永6年8月 /1853
 前/I-24 /飛騨 籠わたし /嘉永6年8月 /1853
 後/I-25 /信濃 更科田毎月 鏡台山 /嘉永6年8月 /1853
 前/I-26 /上野 榛名山 雪中 /嘉永6年8月 /1853
 後/I-27 /下野 日光山 裏見ノ瀧 /嘉永6年8月 /1853
 前/I-28 /陸奥 松島風景 富山眺望之略図 /嘉永6年8月 /1853
 後/I-29 /出羽 最上川 月山遠望 /嘉永6年8月 /1853
 前/I-30 /若狭 漁船 鱈網 /嘉永6年9月 /1853
 後/I-31 /敦賀 気比ノ松原 /嘉永6年9月 /1853
 前/I-32 /加賀 金沢八勝之内 蓮湖之漁火 /安政2年9月 /1855
 後/I-33 /能登 瀧之浦 /嘉永6年9月 /1853
 前/I-34 /越中 富山 船橋 /嘉永6年9月 /1853
 後/I-35 /越後 親しらず /嘉永6年9月 /1853
 前/I-36 /佐渡 金やま /嘉永6年9月 /1853
 後/I-37 /丹波 鐘坂 /嘉永6年12月 /1853
 前/I-38 /丹後 天の橋立 /嘉永6年12月 /1853
 後/I-39 /但馬 岩井谷 窟観音 /嘉永6年12月 /1853
 前/I-40 /因幡 加路小山 /嘉永6年12月 /1853
 後/I-41 /伯耆 大野 大山遠望 /嘉永6年12月 /1853
 前/I-42 /出雲 大社 ほとほとの図 /嘉永6年12月 /1853
 後/I-43 /石見 高津山 汐浜 /嘉永6年12月 /1853
 前/I-44 /隠岐 焚火の社 /嘉永6年12月 /1853
 後/I-45 /播磨 舞子の浜 /嘉永6年12月 /1853
 前後/I-46 /美作 山伏谷 /嘉永6年12月 /1853

- 後/I-47 /備前 田の口海浜 瑤賀山鳥居 /嘉永6年12月 /1853
 前/I-48 /備中 豪溪 /嘉永6年12月 /1853
 後/I-49 /備後 阿武門 観音堂 /嘉永6年12月 /1853
 前/I-50 /安芸 巖島 祭礼之図 /嘉永6年12月 /1853
 後/I-51 /周防 岩国 錦帯橋 /嘉永6年12月 /1853
 前/I-52 /長門 下の関 /安政3年3月 /1856
 後/I-53 /紀伊 和歌之浦 /安政2年9月 /1855
 前/I-54 /淡路 五色浜 /安政2年9月 /1855
 後/I-55 /阿波 鳴門の風波 /安政2年9月 /1855
 前/I-56 /讃岐 象頭山遠望 /安政2年9月 /1855
 後/I-57 /伊予 西條 /安政2年9月 /1855
 前/I-58 /土佐 海上 松魚釣 /安政2年9月 /1855
 後/I-59 /筑前 宮崎 海中の道 /安政2年9月 /1855
 前/I-60 /筑後 築瀬 /安政2年9月 /1855
 後/I-61 /豊前 羅漢寺 下道 /安政元年11月 /1854
 前/I-62 /豊後 蓑崎 /安政3年4月 /1856
 後/I-63 /肥前 長崎 稻佐山 /安政3年5月 /1856
 前/I-64 /肥後 五かの庄 /安政3年3月 /1856
 後/I-65 /日向 油津ノ湊 飢肥大嶋 /安政3年3月 /1856
 前/I-66 /大隅 さくらしま /安政3年3月 /1856
 後/I-67 /薩摩 坊ノ浦 双剣石 /安政3年3月 /1856
 前/I-68 /壱岐 志作 /安政3年3月 /1856
 後/I-69 /対馬 海岸 夕晴 /安政3年3月 /1856
 前/I-70 /梅素亭玄魚編「大日本六十餘州名勝図会」（目録） /安政3年9月 /1856

第2章 最晩年の傑作 歌川広重〈名所江戸百景〉

歌川広重《名所江戸百景》1856（安政3）年2月～1858（安政5）年10月 大判錦絵（紙寸最大37.3×25.6cm）

板元：魚屋栄吉（版画はII-1～119、II-120は梅素亭玄魚による目録、II-27は初代没後、二代広重〔1826-1869〕の作）

- 前/II-1 /名所江戸百景 日本橋雪晴 /安政3年5月 /1856
 後/II-2 /名所江戸百景 するかてふ /安政3年9月 /1856
 前/II-3 /名所江戸百景 大てんま町木綿店 /安政5年4月 /1858
 後/II-4 /名所江戸百景 鑑の渡し小網町 /安政4年10月 /1857
 前/II-5 /名所江戸百景 日本橋江戸ばし /安政4年12月 /1857
 後/II-6 /名所江戸百景 日本橋通一丁目略図 /安政5年8月 /1858
 前/II-7 /名所江戸百景 八つ見のはし /安政3年8月 /1856
 後/II-8 /名所江戸百景 神田紺屋町 /安政4年11月 /1857
 前/II-9 /名所江戸百景 馬喰町初音の馬場 /安政4年9月 /1857
 前/II-10 /名所江戸百景 大伝馬町こふく店 /安政5年7月 /1858
 後/II-11 /名所江戸百景 市中繁栄七夕祭 /安政4年7月 /1857
 後/II-12 /名所江戸百景 京橋竹がし /安政4年12月 /1857
 後/II-13 /名所江戸百景 びくにはし雪中 /安政5年10月 /1858
 前後/II-14 /名所江戸百景 大はしあたけの夕立 /安政4年9月 /1857
 後/II-15 /名所江戸百景 みつまたわかれの淵 /安政4年2月 /1857
 前/II-16 /名所江戸百景 深川万年橋 /安政4年11月 /1857
 前/II-17 /名所江戸百景 永代橋佃しま /安政4年2月 /1857
 後/II-18 /名所江戸百景 佃しま住吉の祭 /安政4年7月 /1857
 前/II-19 /名所江戸百景 鉄炮洲稲荷橋湊神社 /安政4年2月 /1857
 後/II-20 /江戸百景餘興 鉄炮洲築地門跡 /安政5年7月 /1858
 前/II-21 /名所江戸百景 山下町日比谷外さくら田 /安政4年12月

- /1857
 後/II -22 /名所江戸百景 霞かせき/安政4年正月/1857
 前/II -23 /名所江戸百景 外桜田弁慶堀糺町/安政3年5月/1856
 後/II -24 /名所江戸百景 糺町一丁目山王祭ねり込/安政3年7月/1856
 前/II -25 /名所江戸百景 市ヶ谷八幡/安政5年10月/1858
 後/II -26 /名所江戸百景 紀の国坂赤坂溜池遠景/安政4年9月/1857
 前/II -27 /名所江戸百景 赤坂桐畑雨中夕けい/安政6年4月/1858
 (二代目歌川広重)
 後/II -28 /名所江戸百景 赤坂桐畑/安政3年4月/1856
 前/II -29 /名所江戸百景 虎の門外あふひ坂/安政4年11月/1857
 後/II -30 /名所江戸百景 愛宕下敷小路/安政4年12月/1857
 後/II -31 /名所江戸百景 芝愛宕山/安政4年8月/1857
 前/II -32 /名所江戸百景 水道橋駿河台/安政4年閏5月/1857
 前/II -33 /名所江戸百景 昌平橋聖堂神田川/安政4年9月/1857
 後/II -34 /名所江戸百景 筋違内八つ小路/安政4年11月/1857
 前/II -35 /名所江戸百景 神田明神曙之景/安政4年9月/1857
 後/II -36 /名所江戸百景 湯しま天神坂上眺望/安政3年4月/1856
 前/II -37 /名所江戸百景 下谷広小路/安政3年9月/1856
 後/II -38 /名所江戸百景 上野山した/安政5年10月/1858
 前/II -39 /名所江戸百景 上野清水堂不忍ノ池/安政3年4月/1856
 後/II -40 /名所江戸百景 上野山内月のまつ/安政4年8月/1857
 前/II -41 /名所江戸百景 千駄木団子坂花屋敷/安政3年5月/1856
 後/II -42 /名所江戸百景 日暮里諏訪の台/安政3年5月/1856
 前/II -43 /名所江戸百景 日暮里寺院の林泉/安政4年2月/1857
 後/II -44 /名所江戸百景 蓑輪金杉三河しま/安政4年閏5月/1857
 前/II -45 /名所江戸百景 両国橋大川ばた/安政3年8月/1856
 後/II -46 /名所江戸百景 浅草川大川端宮戸川/安政4年7月/1857
 前/II -47 /名所江戸百景 両ごく回向院元柳橋/安政4年閏5月/1857
 後/II -48 /名所江戸百景 両国花火/安政5年8月/1858
 前/II -49 /名所江戸百景 浅草川首尾の松脚厩河岸/安政3年8月/1856
 後/II -50 /名所江戸百景 御厩河岸/安政4年12月/1857
 前/II -51 /名所江戸百景 駒形堂吾嬬橋/安政4年正月/1857
 後/II -52 /名所江戸百景 浅草金龍山/安政3年7月/1856
 前/II -53 /名所江戸百景 吾妻橋金龍山遠望/安政4年8月/1857
 後/II -54 /名所江戸百景 真乳山山谷堀夜景/安政4年8月/1857
 前/II -55 /名所江戸百景 猿わか町よるの景/安政3年9月/1856
 後/II -56 /名所江戸百景 よし原日本堤/安政4年4月/1857
 前/II -57 /名所江戸百景 廊中東雲/安政4年4月/1857
 後/II -58 /名所江戸百景 浅草田甫西の町詣/安政4年11月/1857
 前/II -59 /名所江戸百景 墨田河橋場の渡かわら竈/安政4年4月/1857
 後/II -60 /名所江戸百景 請地秋葉の境内/安政4年8月/1857
 前/II -61 /名所江戸百景 小梅堤/安政4年2月/1857
 後/II -62 /名所江戸百景 柳しま/安政4年4月/1857
 前/II -63 /名所江戸百景 亀戸天神境内/安政3年7月/1856
 前後/II -64 /名所江戸百景 亀戸梅屋舗/安政4年11月/1857
 後/II -65 /名所江戸百景 吾嬬の森連理の梓/安政3年7月/1856
 後/II -66 /名所江戸百景 逆井のわたし/安政4年2月/1857
 前/II -67 /名所江戸百景 千住の大はし/安政3年2月/1856
 後/II -68 /名所江戸百景 綾瀬川鐘か淵/安政4年7月/1857
 前/II -69 /名所江戸百景 真崎辺より水神の森内川関屋の里を見る図/安政4年8月/1857
 後/II -70 /名所江戸百景 隅田川水神の森真崎/安政3年8月/1856
 前/II -71 /名所江戸百景 木母寺内川御前裁畑/安政4年12月/1857
 後/II -72 /名所江戸百景 堀切の花菖蒲/安政4年閏5月/1857
 前/II -73 /名所江戸百景 四つ木通用水引ふね/安政4年2月/1857
 後/II -74 /名所江戸百景 にい宿のわたし/安政4年2月/1857
 前/II -75 /名所江戸百景 深川八まん山ひらき/安政4年8月/1857
 後/II -76 /名所江戸百景 深川三十三間堂/安政4年8月/1857
 前/II -77 /名所江戸百景 深川木場/安政3年8月/1856
 前後/II -78 /名所江戸百景 深川洲崎十万坪/安政4年閏5月/1857
 前/II -79 /名所江戸百景 砂むら元八まん/安政3年4月/1856
 後/II -80 /名所江戸百景 小奈木川五本まつ/安政3年7月/1856
 前/II -81 /名所江戸百景 中川口/安政4年2月/1857
 後/II -82 /名所江戸百景 五百羅漢さざむ堂/安政4年8月/1857
 前/II -83 /名所江戸百景 芝うらの風景/安政3年2月/1856
 後/II -84 /江戸百景餘興 芝神明増上寺/安政5年7月/1858
 前/II -85 /名所江戸百景 増上寺塔赤羽根/安政4年正月/1857
 後/II -86 /名所江戸百景 金杉橋芝浦/安政4年7月/1857
 前/II -87 /名所江戸百景 高輪うしまち/安政4年4月/1857
 後/II -88 /名所江戸百景 月の岬/安政4年8月/1857
 前/II -89 /名所江戸百景 品川御殿やま/安政3年4月/1856
 前/II -90 /名所江戸百景 品川すさき/安政3年4月/1856
 後/II -91 /名所江戸百景 広尾ふる川/安政3年7月/1856
 前/II -92 /名所江戸百景 目黒元不二/安政4年4月/1857
 後/II -93 /名所江戸百景 目黒新富士/安政4年4月/1857
 前/II -94 /名所江戸百景 目黒爺々が茶屋/安政4年4月/1857
 後/II -95 /名所江戸百景 目黒千代か池/安政3年7月/1856
 前/II -96 /名所江戸百景 目黒太鼓橋夕日の岡/安政4年4月/1857
 後/II -97 /名所江戸百景 せき口上水端はせを庵椿やま/安政4年4月/1857
 前/II -98 /名所江戸百景 高田姿見のはし俵の橋砂利場/安政4年正月/1857
 後/II -99 /名所江戸百景 高田の馬場/安政4年2月/1857
 前/II -100 /名所江戸百景 玉川堤の花/安政3年2月/1856
 後/II -101 /名所江戸百景 四ッ谷内藤新宿/安政4年11月/1857
 前/II -102 /名所江戸百景 角筈熊野十二社俗称十二そう/安政3年7月/1856
 後/II -103 /名所江戸百景 井の頭の池弁天の社/安政3年4月/1856
 前/II -104 /名所江戸百景 飛鳥山北の眺望/安政3年5月/1856
 後/II -105 /名所江戸百景 王子音無川堰埭世俗大瀧ト唱/安政4年2月/1857
 前/II -106 /名所江戸百景 王子稲荷の社/安政4年9月/1857
 後/II -107 /名所江戸百景 王子不動之瀧/安政4年9月/1857
 前/II -108 /名所江戸百景 王子瀧の川/安政3年4月/1856
 後/II -109 /名所江戸百景 王子装束系の木大晦日の狐火/安政4年9月/1857
 前/II -110 /名所江戸百景 川口のわたし善光寺/安政4年2月/1857
 後/II -111 /名所江戸百景 鴻の台とね川風景/安政3年5月/1856
 前/II -112 /名所江戸百景 真間の紅葉手古那の社継はし/安政4年正月/1857
 後/II -113 /名所江戸百景 堀江ねござね/安政3年2月/1856

前/II-114/名所江戸百景 利根川ばらばらまつ/安政3年8月/1856
 後/II-115/名所江戸百景 南品川鮫洲海岸/安政4年2月/1857
 前/II-116/名所江戸百景 八景坂鎧掛松/安政3年5月/1856
 後/II-117/名所江戸百景 千束の池袈裟懸松/安政3年2月/1856
 前/II-118/名所江戸百景 蒲田の梅園/安政4年2月/1857
 後/II-119/名所江戸百景 はねたのわたし弁天の社/安政5年8月/1857
 前/II-120/目録「一立斎広重一世一代 江戸百景」梅素亭玄魚編/安政5年9月以降

第3章 幻のシリーズ 葛飾北斎〈千絵の海〉

葛飾北斎《千絵の海》天保3年頃/1832 板元：森屋治兵衛 中判錦絵（紙寸19.0×26.2）

前/III-1/葛飾北斎/千絵の海 宮戸川長繩/天保3年頃/c.1832
 後/III-2/葛飾北斎/千絵の海 下総登戸/天保3年頃/c.1832
 前/III-3/葛飾北斎/千絵の海 総州銚子/天保3年頃/c.1832
 後/III-4/葛飾北斎/千絵の海 相州浦賀/天保3年頃/c.1832
 前/III-5/葛飾北斎/千絵の海 総州利根川/天保3年頃/c.1832
 前/III-6/葛飾北斎/千絵の海 絹川はちふせ/天保3年頃/c.1832
 後/III-7/葛飾北斎/千絵の海 五島鯨突/天保3年頃/c.1832
 後/III-8/葛飾北斎/千絵の海 甲州火振/天保3年頃/c.1832
 前/III-9/葛飾北斎/千絵の海 蚊針流/天保3年頃/c.1832
 後/III-10/葛飾北斎/千絵の海 待子網/天保3年頃/c.1832

第4章 名所絵の名品—葛飾北斎、歌川国芳とともに

前/IV-1/葛飾北斎/富嶽三十六景 神奈川沖浪裏/文政末-天保初期/1829-32/大判錦絵（紙寸24.4×37.2）
 後/IV-2/葛飾北斎/富嶽三十六景 凱風快晴/文政末-天保初期/1829-32/大判錦絵（紙寸24.5×37.3）
 前/IV-3/葛飾北斎/富嶽三十六景 山下白雨/文政末-天保初期/1829-32/大判錦絵（紙寸25.0×37.6）
 後/IV-4/葛飾北斎/富嶽三十六景 駿州江尻/文政末-天保初期/1829-32/大判錦絵（紙寸25.7×37.3）
 前/IV-5/葛飾北斎/富嶽三十六景 遠江山中/文政末-天保初期/1829-32/大判錦絵（紙寸24.5×37.3）
 後/IV-6/葛飾北斎/富嶽三十六景 東海道吉田/文政末-天保初期/1829-32/大判錦絵（紙寸25.7×37.5）
 前/IV-7/葛飾北斎/諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし/天保2年頃/c.1831/大判錦絵（紙寸25.1×37.5）
 後/IV-8/葛飾北斎/諸国名橋奇覧 かめみど天神たいこばし/天保2年頃/c.1831/大判錦絵（紙寸25.8×38.0）
 前/IV-9/葛飾北斎/諸国名橋奇覧 足利行道山くものかけはし/天保2年頃/c.1831/大判錦絵（紙寸25.8×38.0）
 後/IV-10/葛飾北斎/諸国名橋奇覧 かうつけ佐野ふなはしの古づ/天保2年頃/c.1831/大判錦絵（紙寸24.6×37.1）
 前/IV-11/葛飾北斎/諸国瀧廻り 和洲吉野義経馬洗滝/天保4年頃/c.1833/大判錦絵（紙寸37.2×25.5）
 後/IV-12/葛飾北斎/諸国瀧廻り 木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧/天保4年頃/c.1833/大判錦絵（紙寸37.6×25.8）
 後/IV-13/歌川国芳/忠臣蔵十一段目夜討之図/天保3年頃/c.1832/大判錦絵（紙寸26.2×37.4）
 前/IV-14/歌川国芳/東都 首尾の松之図/天保2-3年頃/c.1831-32/大判錦絵（紙寸25.0×37.2）

前/IV-15/歌川国芳/近江の国の勇婦お兼/天保2-3年頃/c.1831-32/大判錦絵（紙寸24.8×37.2）
 後/IV-16/歌川国芳/東都名所 新吉原/天保3-4年頃/c.1832-33/大判錦絵（紙寸26.0×37.6）
 前/IV-17/歌川国芳/東都名所 するがだひ/天保3-4年頃/c.1832-33/大判錦絵（紙寸23.8×35.5）
 後/IV-18/歌川国芳/東都名所 佃嶋/天保3-4年頃/c.1832-33/大判錦絵（紙寸24.5×35.2）
 前/IV-19/歌川広重/東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景/天保4年頃/c.1833/大判錦絵（紙寸24.3×37.2）
 後/IV-20/歌川広重/東海道五拾三次之内 箱根 湖水図/天保4年頃/c.1833/大判錦絵（紙寸24.4×37.2）
 前/IV-21/歌川広重/東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪/天保4年頃/c.1833/大判錦絵（紙寸24.5×37.0）
 後/IV-22/歌川広重/東海道五拾三次之内 庄野 白雨/天保4年頃/c.1833/大判錦絵（紙寸24.3×38.5）
 後/IV-23/歌川広重/木曾路之山川/安政4年8月/1857/大判三枚続錦絵（紙寸37.6×76.1）
 前/IV-24/歌川広重/武陽金沢八勝夜景/安政4年7月/1857/大判三枚続錦絵（紙寸38.0×76.9）
 後/IV-25/歌川広重/阿波鳴門之風景/安政4年4月/1857/大判三枚続錦絵（紙寸38.2×76.3）
 前/IV-26/歌川広重/雪月花 吉野の桜、雪月花 東都吉原八朔之雪、雪月花 更科之月/嘉永2-3年頃/1849-50/軸三幅対 絹本着彩（91.2×28.4、91.2×28.4、91.2×28.5）
 前/IV-27/歌川広重/十二月月風俗/安政期/1854-60/短冊（最大36.3×6.0cm）絹本着彩 正月（万歳）・二月（初午）・三月（花見）・四月（田植え）・五月（茶摘み）・六月（富士講）
 後/IV-27/歌川広重/十二月月風俗/安政期/1854-60/短冊（最大36.3×6.0cm）絹本着彩 七月（盆踊り）・八月（八朔）・九月（重陽）・十月（紅葉）・十一月（顔見世）・十二月（煤払い）
 後/IV-28/歌川広重/月下の住吉/安政期/1854-60/軸一幅 絹本着彩（81.0×28.2）
 前後/IV-29/淵上旭江『山水奇観』/前編四冊：寛政12年/1800、後編四冊：享和2年/1802（各38.0×26.0）/個人蔵
 前後/IV-30/歌川広重・二代目歌川広重『絵本江戸土産』初編～七編：初代広重/八編：二代広重/嘉永3-文久元年/1850-61 和本八冊（18.2×12.3）/サントリー美術館蔵

展示総件数230件 IV-29、IV-30を除き、すべて原安三郎コレクション。

(6) Gallery F コレクション再発見



A4 チラシ

会期：[第1期] 平成29年1月21日(土)～2月12日(日)

- (1)新収蔵 鎌田正蔵展
- (2) The missing-link ミッシングリンク
関根正二の新発見と未発見

[第2期] 平成29年2月18日(土)～3月12日(日)

- (3)秀島由己男展
- (4)133年前の福島 高橋由一 三県道路完成記念帖を読む
- (5)実践 福島県立美術館アートカード

分野：絵画・版画・彫刻・資料

展示数：[第1期] (1)107点 (2)61点

[第2期] (3)63点 (4)5点 (5)25点

観覧料：無料

観覧者数：[第1期] 1,230名 [第2期] 758名

担当：(1)増淵鏡子、坂本篤史 (2)(4)伊藤 匡 (3)荒木康子
(5)白木ゆう美、國島 敏

主催：被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会
*平成28年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

関連事業：

- ・ギャラリートーク
 - ① 1月28日(土)
解説：伊藤 匡 (当館学芸課長) 参加者：17名
 - ② 2月4日(土)
解説：坂本篤史 (当館副主任学芸員) 参加者：21名
 - ③ 2月11日(土)
解説：伊藤 匡 (当館学芸課長) 参加者：19名
 - ④ 2月18日(土)
解説：伊藤 匡 (当館学芸課長) 参加者：9名
 - ⑤ 2月25日(土)
解説：伊藤 匡 (当館学芸課長) 参加者：12名
 - ⑥ 3月4日(土)
解説：荒木康子 (当館専門学芸員) 参加者：18名
 - ⑦ 3月11日(土)
解説：荒木康子 (当館専門学芸員)、伊藤 匡 (当館学芸課長)
参加者：21名
- ・スペシャルギャラリートーク

日時：1月21日(土)

解説：杉浦 聡氏 (郡山市立美術館学芸員) 参加者：43名

概要：

「Gallery F」とは、当館のコレクションの中から、今まで紹介できなかった作品や新収蔵・寄託作品を取り上げ、あるいはテーマを絞って掘り下げる小さな展覧会を意味する。

今年度は5つの「Gallery F」を2期に分けて開催した。

第1期では、戦後郡山を中心に活動した洋画家・鎌田正蔵と大正期に活動した、白河市出身の関根正二を取り上げた。

第2期では熊本県出身の版画家、秀島由己男と、高橋由一が栃木、福島、山形の道路を記録した《三県道路完成記念帖》を取り上げている。第2期ではさらに、今年度に制作した鑑賞用補助教材「福島県立美術館アートカード」を使って、福島市立第四中学校の生徒たちが展示を考えた「福島四中からの発信・しあわせアートプロジェクト」を開催した。

◆出品リスト：

(1)「新収蔵 鎌田正蔵展」

[No/作品名/制作年/材質、技法、形状/寸法(縦×横 cm)]

- 1/婦人座像/1934(昭和9)/カンヴァス・油彩/91.5×72.8
- 2/庭園/1938(昭和13)/カンヴァス・油彩/97.2×130.4
- 3/自画像/1946(昭和21)3月/カンヴァス・油彩/40.8×31.5
- 4/M子の像/1947(昭和22)/カンヴァス・油彩/79.8×65.8
- 5/少女/1949(昭和24)/カンヴァス・油彩/33.4×24.1
- 6/母子像/1949(昭和24)/カンヴァス・油彩/112.0×80.7
- 7/座像/1950(昭和25)/カンヴァス・油彩/80.5×60.8
- 8/鏡と女/1951(昭和26)/カンヴァス・油彩/80.5×53.2
- 9/[裸体男性群像](慟哭)/1951(昭和26)/カンヴァス・油彩/111.0×145.0
- 10/春/1952(昭和27)/カンヴァス・油彩/65.5×90.8
- 11/作品/1952(昭和27)/カンヴァス・油彩/89.5×130.5
- 12/[作品]/1958(昭和33)/カンヴァス・油彩/106.5×145.2
- 13/作品 黒/1958(昭和33)/カンヴァス・油彩/102.9×166.8
- 14/作品 シロ/1961(昭和36)/カンヴァス・油彩、パテ/141.0×104.5
- 15/作品(緑色)/1962(昭和37)/カンヴァス・油彩、パテ/103.3×136.3
- 16/作品(褐色)/1963(昭和38)/カンヴァス・油彩、パテ/105.8×78.8
- 17/アリスハーズに捧げる作品1 標的/1969(昭和44)/カンヴァス・アクリル/137.1×106.0
- 18/アリスハーズに捧げる作品2 プラカード/1969(昭和44)/カンヴァス・アクリル/136.6×106.0
- 19/アリスハーズに捧げる作品3 アリスハーズ氏の殉教/1969(昭和44)/カンヴァス・アクリル/136.6×105.8
- 20/アリスハーズに捧げる作品4 埋葬/1969(昭和44)/カンヴァス・アクリル/136.1×106.0
- 21/アリスハーズに捧げる作品5 献花/1969(昭和44)/カンヴァス・アクリル/136.5×106.2
- 22/マイパターン1970/1970(昭和45)/カンヴァス・アクリル/189.2×135.4

- 23/貴装 (A) / 1976 (昭和51) /カンヴァス・アクリル/ 162.1
× 130.6
- 24/貴装 (B) / 1976 (昭和51) /カンヴァス・アクリル/ 162.3
× 130.0
- 25/大家族 (A) / 1979 (昭和54) /カンヴァス・アクリル/ 162.4
× 130.6
- 26/大家族 (B) / 1979 (昭和54) /カンヴァス・アクリル/ 162.4
× 130.7
- 27/大家族 (C) / 1979 (昭和54) /カンヴァス・アクリル/ 162.2
× 130.5
- 28/小家族 (A) / 1981 (昭和56) /カンヴァス・アクリル/ 193.8
× 130.5
- 29/小家族 (B) / 1981 (昭和56) /カンヴァス・アクリル/ 194.0
× 130.2
- 30/赤い目/ 1983 (昭和58) /カンヴァス・アクリル/ 162.0 × 111.9
- 31/ゼッケンR / 1983 (昭和58) /カンヴァス・アクリル/ 162.0
× 111.9
- 32/ランナーと女/ 1983 (昭和58) /カンヴァス・アクリル/
194.3 × 130.2
- 33/レスラーと女/ 1983 (昭和58) /カンヴァス・アクリル/
194.2 × 130.3
- 34/黒い森の中で/ 1986 (昭和61) 6-8月/カンヴァス・アクリル
/ 162.3 × 112.2
- 35/作品929 / 1992 (平成4) 8月/カンヴァス・アクリル/ 162.1
× 112.2
- 36/エスキース1 / 1958 (昭和33) /紙・水彩など/ 26.8 × 40.8
- 37/エスキース2 / 1958 (昭和33) /紙・水彩など/ 40.7 × 26.7
- 38/エスキース3 / 1958 (昭和33) /紙・水彩など/ 40.9 × 26.9
- 39/エスキース4 / 1958 (昭和33) /紙・水彩など/ 40.7 × 26.8
- 40/エスキース5 / 1958 (昭和33) 頃/紙・水彩など/ 40.8 × 26.5
- 41/エスキース6 / 1958 (昭和33) /紙・水彩など/ 40.7 × 26.7
- 42/エスキース7 / 1958 (昭和33) 頃/紙・水彩など/ 39.7 × 27.3
- 43/夕暮れに歩く人/ 1958 (昭和33) /紙・水彩など/ 23.8 × 20.4
- 44/エスキース8 / 1957-58 (昭和32-33) /紙・水彩など/ 26.7
× 40.7
- 45/太陽と人/ 1958 (昭和33) /紙・水彩など/ 40.8 × 26.9
- 46/祝日/ 1969 (昭和44) /紙・水彩・空刷り/ 54.8 × 39.5
- 47/エスキース9 / 1969 (昭和44) /紙・フェルトペンなど/ 54.9
× 39.5
- 48/エスキース10 / 1969 (昭和44) /紙・フェルトペンなど/
54.5 × 39.3
- 49/エスキース11 / 1969 (昭和44) /紙・フェルトペンなど/
54.5 × 39.3
- 50/エスキース12 / 1969 (昭和44) /紙・フェルトペンなど/
55.3 × 39.7
- 51/エスキース13 / 1970 (昭和45) /紙・アクリル/ 50.4 × 38.0
- 52/エスキース14 / 1972 (昭和47) /紙・アクリル、コラーージュ
/ 54.9 × 39.8
- 53/エスキース15 / 1973 (昭和48) /紙・アクリル、コラーージュ
/ 54.9 × 39.2
- 54/貴装 / 1976 (昭和51) 1月/紙・アクリル/ 51.5 × 39.7
- 55/エスキース16 / 1976 (昭和51) /紙・アクリル/ 46.5 × 38.0
- 56/エスキース17 / 1977-78 (昭和52-53) /紙・アクリル/ 48.1
× 37.6
- 57/エスキース18 / 1979 (昭和54) 2月/紙・アクリル/ 46.6 ×
37.8
- 58/六つのひらいたかたち / 1979 (昭和54) /紙・アクリル/ 56.8
× 38.2
- 59/エスキース19 / 1980 (昭和55) 7月/紙・アクリル/ 45.0 ×
35.5
- 60/エスキース20 / 1980 (昭和55) /紙・アクリル/ 45.4 × 36.7
- 61/エスキース21 / 1981 (昭和56) 6月/紙・アクリル/ 56.6 ×
37.6
- 62/エスキース22 / 1982 (昭和57) 2月/紙・アクリルなど/
54.3 × 37.9
- 63/エスキース23 / 1983 (昭和58) 2月/紙・アクリル/ 56.7 ×
37.9
- 64/エスキース24 / 1983 (昭和58) 2月/紙・アクリル/ 56.3 ×
37.8
- 65/エスキース25 / 1983 (昭和58) 8月/紙・アクリル/ 54.0 ×
38.0
- 66/赤い服 / 1984 (昭和59) 12月/紙・アクリル/ 51.4 × 36.7
- 67/まつり黒 / 1984 (昭和59) 4月/紙・アクリル/ 57.1 × 38.0
- 68/エスキース26 / 1985 (昭和60) 2月22日/紙・アクリル/
52.2 × 37.4
- 69/エスキース27 / 1986 (昭和61) 1月/紙・アクリル/ 54.6 ×
39.5
- 70/エスキース28 / 1986 (昭和61) 3月/紙・アクリル/ 54.8 ×
39.5
- 71/エスキース29 / 1986 (昭和61) 3月/紙・アクリル/ 54.7 ×
39.1
- 72/エスキース30 / 1986 (昭和61) 2月/紙・アクリル/ 54.6 ×
39.4
- 73/エスキース31 / 1986 (昭和61) /紙・アクリル/ 54.6 × 39.3
- 74/エスキース32 / 1987 (昭和62) 11月/紙・アクリルなど/
58.6 × 40.1
- 75/エスキース33 / 1987 (昭和62) 7月/紙・アクリルなど/
58.5 × 40.3
- 76/エスキース34 / 1989 (平成元) 2月/紙・アクリルなど/ 58.6
× 40.2
- 77/エスキース35 / 1991 (平成3) 5月/紙・アクリルなど/ 54.3
× 38.2
- 78/エスキース36 / 1991 (平成3) 6月/紙・アクリルなど/ 58.8
× 40.5
- 79/エスキース37 / 1991 (平成3) 6月/紙・アクリルなど/ 59.0
× 40.3
- 80/エスキース38 / 1992 (平成4) 4月/紙・アクリルなど/ 56.6
× 38.0
- 81/エスキース39 / 1992 (平成4) 5月/紙・アクリル/ 54.7 × 39.6
- 82/エスキース40 / 1993 (平成5) 7月29日/紙・アクリルなど/
58.5 × 40.2
- 83/エスキース41 / 1993 (平成5) 9月/カンヴァス・アクリルな
ど/ 35.5 × 26.8
- 84/エスキース42 / 1993 (平成5) 9月/カンヴァス・アクリルな
ど/ 35.4 × 26.9
- 85/エスキース43 / 1993 (平成5) 9月23日/カンヴァス・アクリル

- ルなど/ 35.3 × 26.5
- 86/エスキース 44 / 1993 (平成5) 9月/カンヴァス・アクリルなど / 35.5 × 26.7
- 87/エスキース 45 / 1994 (平成6) 8月29日/紙・アクリルなど / 54.3 × 38.4
- 88/エスキース 46 / 1995 (平成7) 8月3日/紙・アクリルなど / 54.0 × 38.0
- 89/エスキース 47 / 1995 (平成7) 5月2日/紙・アクリルなど / 54.1 × 38.4
- 90/エスキース 48 / 1995 (平成7) 9月20日/紙・アクリルなど / 53.9 × 38.1
- 91/エスキース 49 / 1995 (平成7) 7月12日/紙・アクリルなど / 54.0 × 38.0
- 92/エスキース 50 / 1995 (平成7) 5月30日/紙・アクリルなど / 54.2 × 38.5
- 93/エスキース 51 / 1996 (平成8) 11月29日/紙・アクリルなど / 54.0 × 38.0
- 94/黒い樹 / 1998 (平成10) 12月6日/紙・アクリルなど / 32.6 × 25.5
- 95/スケッチ (潜水艦のある) / 1945 (昭和20) 12月5日/紙・鉛筆 / 24.1 × 31.3
- 96/花嫁をむかえて / 1948 (昭和23) /紙・鉛筆、インク / 23.9 × 26.3
- 97/踊る女たち / 1948 (昭和23) /紙・鉛筆、インク / 24.1 × 32.0
- 98/素描 1 / 不詳 / 紙・コンテ / 32.5 × 47.5
- 99/素描 2 / 不詳 / 紙・コンテ / 33.0 × 47.2
- 100/素描 3 / 1949 (昭和24) 頃 / 紙・コンテ / 63.6 × 48.2
- 101/素描 4 / 1949 (昭和24) / 紙・コンテ / 63.6 × 48.2
- 102/素描 5 / 不詳 / 紙・コンテ / 64.5 × 47.5
- 103/素描 6 / 1951 (昭和26) / 紙・コンテ / 64.4 × 47.2
- 104/泉千代像 / 1953 (昭和28) / 紙・コンテ / 64.5 × 47.5
- 105/素描 7 / 1955 (昭和30) / 紙・インク / 36.1 × 27.2
- 106/素描 8 / 1955 (昭和30) / 紙・インク / 36.1 × 27.2
- 107/素描 9 / 1955 (昭和30) / 紙・インク / 36.1 × 26.6
- *すべて鎌田正蔵作、福島県立美術館蔵



「新収蔵 鎌田正蔵展」展示風景

- (2)「The missing-link ミッシングリンク 関根正二の新発見と未発見」
[No./作品名/材質・技法/サイズ (cm)]
- * 1 / [茅葺き屋根の農家のある風景] (仮題) / 綿布・油彩 / 33.1 × 50.0
- * 2 / 菊川橋辺り / 1915年2月22日 / 板・油彩 / 27.3 × 33.4
- * 3 / 死を思う日 / 1915年 / カンヴァス・油彩 / 75.7 × 56.8
- 4 / 大樹 (子供と木登り) / 1915年 / 紙・木炭 / 54.6 × 44.6
- 4-2 / 裏面: 裸婦 / 1915年 / 紙・木炭 / 57.3 × 44.1
- * 5 / 砂村石渡牧場 / 1915年頃 / 板・油彩 / 27.3 × 33.4
- * 6 / 風景 / 1915年頃 / カンヴァス・油彩 / 60.8 × 45.5
- 7 / 牛舎 / 1915年頃 / カンヴァス・油彩 / 36.5 × 48.6
- 8 / 菊川橋 / 1916年9月14日 / 紙・インク / 37.0 × 57.0
- 9 / 銚子海岸 / 1916年 / 紙・インク / 25.2 × 36.0
- * 10 / 風景素描 / 1916年 / 紙・鉛筆 / 29.5 × 21.1
- 11 / 男 / 1916年 / 紙・インク / 16.0 × 14.7
- 12 / 自画像 / 1916年頃 / 紙・インク / 27.8 × 19.1
- 13 / 風景 / 1916年頃 / 板・油彩 / 33.3 × 23.1
- * 14 / 井上郁像 / 1917年6月 / カンヴァス・油彩 / 65.0 × 53.0
- 15 / 裏の娘 / 1917年 / 紙・水彩、パステル、鉛筆 / 29.4 × 21.7
- 16 / 男の顔 / 1917年 / 紙・インク / 11.2 × 10.7
- * 17 / 風景図案 / 1917年頃 / 紙・水彩 / 27.5 × 17.5
- * 18 / 風景図案 / 1917年頃 / 紙・水彩 / 27.5 × 17.5
- 19 / 真田吉之助夫妻像 / 1918年 / カンヴァス・油彩 / 53.0 × 80.3
- 20 / 姉弟 / 1918年 / カンヴァス・油彩 / 80.5 × 60.5
- 21 / 自画像 / 1918年 / カンヴァス・油彩 / 55.0 × 46.0
- 22 / 信仰 / 1918年 / 紙・インク、パステル / 15.9 × 11.9
- 22-2 / 裏面 [男の顔] / 制作年不詳 / 紙・インク / 11.9 × 15.9
- 23 / チューリップ / 1918年 / 紙・インク / 29.3 × 25.5
- 23-2 / 裏面 [男の顔] / 制作年不詳 / 紙・インク / 29.3 × 25.5
- 24 / 少女 / 1918年 / 紙・インク / 25.0 × 22.0
- 24-2 / 裏面 [男の顔] / 制作年不詳 / 紙・インク / 25.0 × 22.0
- 25 / 一本杉の風景 / 1918年頃 / カンヴァス・油彩 / 33.0 × 45.2
- 26 / 神の祈り / 1918年頃 / カンヴァス・油彩 / 68.2 × 40.8
- 27 / 若い男 / 1919年 / 紙・インク / 15.5 × 17.3
- 28 / 祈り / 1919年 / 紙・鉛筆 / 18.0 × 12.7
- *は寄託作品 他はすべて福島県立美術館所蔵

【資料・関根正二自筆書簡】

- 1 / 封書 / <日付> 不明 / <宛名> 黒影様 / <形状> 封筒なし 野線紙 1枚 青色インク
- 2 / 封書 / <消印> 大正6年11月24日 深川 / <表> 山形県西村山郡みぞのべ村 村岡弘市様 / <裏> 十一月二十二日 東京市深川区東町四六 関根正二 / <形状> 白封筒 200字詰原稿用紙4枚 黒色インク
- 3 / 封書 / <消印> 大正6年12月1日 深川 / <表> 山形県西村山郡みぞのべ村 村岡弘市様 親展 / <裏> 十一月三十日 東京深川区東町四六 関根正二 / <形状> 白封筒 200字詰原稿用紙6枚 黒色インク
- 4 / 封書 / <消印> 大正7年1月25日 / <表> 山形県西村山郡溝延村字船戸 村岡黒影様 / <裏> 一月二十四日 西白河郡大沼村字擲目 関根正二 / <形状> 灰色封筒 200字詰原稿用紙4枚 青色インク
- 5 / 封書 / <消印> 大正7年3月7日 本所 / <表> 山形県西村山郡溝延村字溝延 村岡黒影様 親展 / <裏> 三月二日 東京深川区東町四六

- 関根正二／〈形状〉灰色封筒 罫線紙裏表2枚 青色インク
- 6／封書／〈消印〉大正7年5月20日／〈表〉日本橋区小網町一丁目柿沼糸店内 村岡黑影様／〈裏〉二十日 深川東町四六 関根正二／〈形状〉緑色封筒 罫線紙1枚 青色インク
- 7／封書／〈消印〉大正7年5月28日 日本橋／〈表〉日本橋区小網町一丁目柿沼糸店内 村岡黑影様／〈裏〉二十八日 関根／〈形状〉白封筒 和紙1枚 墨
- 8／封書／〈消印〉大正7年10月24日 巢鴨／〈表〉市外巢鴨町一一三七 村岡黑影様／〈裏〉深川東町四六 関根正二／〈形状〉灰色封筒 400字詰原稿用紙1枚 黒色インク
- 9／葉書／〈消印〉大正5年11月9日深川／〈宛先〉山形県山形市香澄町 物河様方 村岡黑影様／〈差出人〉深川区東町四六 関根正二／〈形状〉絵葉書（東郷青児『パラソルさせる女』） 黒色インク
- 10／葉書／〈消印〉大正6年2月1日白河／〈宛先〉山形市香澄町庚申堂 村岡黑影様／〈差出人〉二月九日 白河 セキネ／〈形状〉官製葉書 墨
- 11／葉書／〈消印〉大正6年5月21日深川／〈宛先〉山形県山形市香澄町字庚申堂 村岡黑影様／〈差出人〉十一日朝 関根正二／〈形状〉官製葉書 黒色インク
- 12／葉書／〈消印〉大正6年8月10日長野／〈宛先〉山形県山形市香澄町庚申堂 村岡黑影様／〈差出人〉十日 長野市千歳町三九五十嵐方 関根正二／〈形状〉観光絵葉書（川中島） 黒色インク
- 13／葉書／〈消印〉大正6年9月7日深川／〈宛先〉山形県村山郡みぞのべ村 村岡弘市様／〈差出人〉七日 深川東町四六 関根正二／〈形状〉官製葉書 黒色インク
- 14／葉書／〈消印〉大正6年12月5日深川／〈宛先〉山形県西村山郡みぞのべ村 村岡弘市様／〈差出人〉五日 深川東町四六 関根正二／〈形状〉官製葉書 黒色インク
- 15／葉書／〈消印〉大正7年1月6日白河／〈宛先〉山形県西村山郡溝延村字舟渡 村岡豊之助様／〈差出人〉福島県西白河郡大沼村字搦目 関根正二／〈形状〉官製葉書 鉛筆
- 16／葉書／〈消印〉大正7年2月13日白河／〈宛先〉山形県西村山郡溝延村字溝延 村岡黑影様／〈差出人〉十三日 西白河郡白河町桜町邊見醸造店内 関根正二／〈形状〉官製葉書 青色インク
- 17／葉書／〈消印〉大正〇年〇〇月18日白河／〈宛先〉山形県西村山郡溝延村字溝延 村岡黑影様／〈差出人〉十八日 搦目より 関根正二／〈形状〉官製葉書 鉛筆
- 18／葉書／〈消印〉大正7年2月21日日本所／〈宛先〉山形県西村山郡溝延村字溝延 村岡黑影様／〈差出人〉二十一日朝 深川区東町四六 関根正二／〈形状〉官製葉書 青色インク
- 19／葉書／〈消印〉大正7年2月27日／〈宛先〉山形市香澄町庚申堂 物河様鈴子様／〈差出人〉二十四日 深川区東町四六 関根正二／〈形状〉官製葉書 青色インク
- 20／葉書／〈消印〉大正7年6月12日／〈宛先〉東京日本橋区小網町一丁目柿沼糸店内 村岡黑影様／〈差出人〉十一日 銚子杉田町前田方 関根正二／〈形状〉官製葉書 墨
- 21／葉書／〈消印〉大正7年6月16日日本所／〈宛先〉日本橋小網町一丁目柿沼糸店内 村岡黑影様／〈差出人〉十六日 深川区東町四六 関根正二／〈形状〉官製葉書 青色インク
- 22／葉書／〈消印〉大正7年6月28日深川／〈宛先〉日本橋区小網町一丁目柿沼糸店様御内 村岡黑影様／〈差出人〉深川東町四六 関根正二／〈形状〉官製葉書 青色インク
- 23／葉書／〈消印〉判読不能／〈宛先〉市外巢鴨町一、一三七 村岡黑影様／〈差出人〉7日 深川東町四六 関根正二／〈形状〉官製葉書 赤色インク
- 24／葉書／〈消印〉大正7年6月17日／〈宛先〉市外巢鴨町一一三七 村岡黑影様／〈差出人〉東町四六 正二／〈形状〉官製葉書 黒色インク
- 25／葉書／〈消印〉大正7年7月3日深川／〈宛先〉府下巢鴨千百参十七 村岡黑影様／〈差出人〉二日夜 深川東町四六 関根正二／〈形状〉官製葉書 青色インク
- 26／葉書／〈消印〉大正7年8月10日栃木那須／〈宛先〉東京府下巢鴨一二五 村岡黑影様／〈差出人〉那須温泉 関根正二／〈形状〉官製葉書 青色インク
- 27／葉書／〈消印〉大正7年12月31日深川／〈宛先〉市外巢鴨一一三七 村岡黑影様／〈差出人〉三十一日 深川東町 関根正二／〈形状〉官製葉書 黒色インク
- 28／葉書／〈消印〉大正〇年8月〇日〇〇／〈宛先〉府下巢鴨千百三十七 村岡黑影様／〈差出人〉二日 深川東町四六 関根正二／〈形状〉官製葉書 青色インク
- 29／葉書／〈消印〉大正8年1月1日〇〇〇／〈宛先〉市外巢鴨一一三七 村岡黑影様／〈差出人〉深川区東町四六 関根正二／〈形状〉年賀状 墨 多色木版
- 30／葉書／〈消印〉大正8年1月25日〇〇〇／〈宛先〉市外巢鴨一、一三七 村岡黑影様／〈差出人〉一月二五日 深川東町四六 関根正二／〈形状〉官製葉書 墨
- 31／葉書／〈消印〉大正8年〇〔2〕月6日深川／〈宛先〉市外巢鴨町一、一三七 村岡黑影様／〈差出人〉六日 深川区東町四六 関根正二／〈形状〉官製葉書 墨
- 32／葉書／〈消印〉消印なし〔大正8年6月〕／〈宛先〉市外巢鴨一、一三七 村岡黑影様／〈差出人〉深川東町四六 関根正二／〈形状〉絵葉書（伊東深水『微睡』） 黒色インク
- * 33／絵葉書／関根正二『慰められつゝ悩む』／1919年／14.1×9.0
*は寄託資料



「関根正二の新発見と未発見」展示風景

(3)「秀島由己男展」

[No./作品名/制作年/材質・技法/画面寸法 (cm) / ed.]

- 1 / 霊歌〈貝〉A / 1969 (昭和44) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント、エッチング / 24.8 × 34.6 / 11/32
- 2 / 霊歌〈籠〉B / 1969 (昭和44) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント、エッチング / 14.9 × 14.9 / 2/21
- 3 / 霊歌〈男〉 / 1970 (昭和45) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 17.3 × 10.0 / 3/15
- 4 / 霊歌〈少女〉 / 1971 (昭和46) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 23.5 × 17.2 / 46/50
- 5 / 霊歌〈ベトナム〉 / 1971 (昭和46) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 22.1 × 15.8 / 11/50
- 6 / 霊歌〈憩い〉 / 1972 (昭和47) / 紙・メゾチント / 35.8 × 27.7 / 41/50
- 7 / 版画集『わらべ唄』一、風景 / 1972 (昭和47) / 紙、雁皮紙貼・エッチング / 36.6 × 30.4 / 21/60
- 8 / 版画集『わらべ唄』二、静物 / 1972 (昭和47) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 35.6 × 30.4 / 21/60
- 9 / 版画集『わらべ唄』三、コマと太郎 / 1972 (昭和47) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 35.8 × 30.4 / 21/60
- 10 / 版画集『わらべ唄』四、かたつむりと花子 / 1972 (昭和47) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 36.6 × 30.4 / 21/60
- 11 / 版画集『わらべ唄』五、太郎 / 1972 (昭和47) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 36.6 × 30.4 / 21/60
- 12 / 版画集『わらべ唄』六、樹 / 1972 (昭和47) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 36.2 × 31.0 / 21/60
- 13 / 霊歌〈泣いている太郎〉 / 1974 (昭和49) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 16.7 × 13.8 / 33/50
- 14 / 静物〈桃と虫〉 / 1976 (昭和51) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 36.0 × 30.3 / 30/50
- 15 / わらべ唄〈蜂と太郎〉 / 1976 (昭和51) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 35.5 × 20.1 / 14/32
- 16 / わらべ唄〈四つの組曲〉 / 1976 (昭和51) / 紙・メゾチント / 14.2 × 14.2 / 5/32
- 17 / 静物〈桃〉 / 1977 (昭和52) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 36.0 × 35.9 / 2/32
- 18 / 花子のコレクション / 1979 (昭和54) / 紙・メゾチント / 40.8 × 31.7 / 49/100
- 19 / 風の舟A / 1981 (昭和56) / 紙・メゾチント / 53.4 × 35.9 / 19/60
- 20 / ピーナッツ / 1981 (昭和56) / 紙・メゾチント / 6.0 × 17.8 / 37/110
- 21 / フーセン / 1981 (昭和56) / 紙・メゾチント / 17.7 × 17.7 / 35/100
- 22 / 風の舟 / 1982 (昭和57) / 紙・メゾチント / 17.8 × 17.8 / 57/60
- 23 / 蝶 / 1982 (昭和57) / 紙・エッチング / 17.8 × 17.8 / 55/60
- 24 / 球体 / 1985 (昭和60) / 紙・メゾチント / 36.0 × 30.5 / 26/32
- 25 / 策の中のサンマ / 1985 (昭和60) / 紙・メゾチント / 17.1 × 17.0 / 40/80
- 26 / 残像 / 1985 (昭和60) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 17.0 × 16.7 / 25/41
- 27 / 時差 / 1985 (昭和60) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 18.1 × 15.9 / 36/41
- 28 / 詩画集『静物考』1 paper balloon / 1985 (昭和60) / 紙・メゾチント / 16.9 × 15.8 / 37/100
- 29 / 詩画集『静物考』2 melon / 1985 (昭和60) / 紙・メゾチント / 17.2 × 17.5 / 37/100
- 30 / 詩画集『静物考』3 cabbage / 1985 (昭和60) / 紙・メゾチント / 17.7 × 16.9 / 37/100
- 31 / 詩画集『静物考』4 shell / 1985 (昭和60) / 紙・メゾチント / 17.7 × 17.3 / 37/100
- 32 / 詩画集『静物考』5 winter cherry / 1985 (昭和60) / 紙・メゾチント / 17.8 × 17.3 / 37/100
- 33 / 詩画集『静物考』6 myself / 1985 (昭和60) / 紙・メゾチント / 17.4 × 16.7 / 37/100
- 34 / 桌上的ピーナッツ / 1985 (昭和60) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 17.0 × 14.6 / 9/41
- 35 / 月夜の静物 / 1985 (昭和60) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント / 24.7 × 17.2 / 31/41
- 36 / 霊歌VI / 1986 (昭和61) / 紙・リトグラフ / 48.6 × 43.4 / 48/65
- 37 / 美しき野生 / 1987 (昭和62) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 16.2 × 11.2 / 18/100
- 38 / 海の記憶 / 1988 (昭和63) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 25.9 × 20.8 / 40/60
- 39 / 版画集『舊約聖書「詩篇」より』A 我はいと高き神によばはんわがために百事をなしをへたまふ神によばはん / 1989 (平成元) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 26.5 × 15.2 / 46/60
- 40 / 版画集『舊約聖書「詩篇」より』B 然れどなんぢは野犬のすみかにてわれらをきずつけ 死蔭をもてわれをおほひ給へり / 1989 (平成元) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 20.0 × 18.2 / 46/60
- 41 / 版画集『舊約聖書「詩篇」より』C 我よなよな床をたゞよはせ涙をもてわが衾をひたせり / 1989 (平成元) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 15.0 × 15.8 / 46/60
- 42 / 版画集『舊約聖書「詩篇」より』D なんぢら何ぞわが靈魂にむかひて 鳥のごとくなんぢの山にのがれよといふや / 1989 (平成元) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 21.9 × 18.4 / 46/60
- 43 / 版画集『舊約聖書「詩篇」より』E なんぢの憐憫をわれに臨ませたまへさらばわれ生ん / 1989 (平成元) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 18.8 × 16.5 / 46/60
- 44 / 版画集『舊約聖書「詩篇」より』F わが仇はひねもす我をそしる猖狂ひて 我をせむるもの我をさして誓ふ / 1989 (平成元) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 16.4 × 23.7 / 46/60
- 45 / 同胞〈わがなやみの日にわれ主たづねまつれり 夜わが手をのべてゆるむことなかりき〉 / 1989 (平成元) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 16.4 × 13.8 / 17/50
- 46 / 母と子〈その子輩はみなしごととなり その妻はやもめとなり〉 / 1989 (平成元) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 23.1 × 7.3 / 3/50
- 47 / 霊歌〈かれらたがひにわが衣をわかち 我がしたぎを簞にす〉 / 1989 (平成元) / 紙、雁皮紙貼・エッチング / 22.3 × 15.0 / 4/60
- 48 / 霊歌〈われは糧をくらうごとくに灰をくらい わが飲みものには涙をまじえたり〉 / 1989 (平成元) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 18.8 × 6.5 / 4/21
- 49 / 霊歌A / 1989 (平成元) / 紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント / 29.2 × 36.4 / 9/60

- 50 / 鳥〈影の飛来〉 / 1991 (平成3) / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング / 11.7 × 21.2 / 2/50
- 51 / 鳥〈聖堂の鳥影〉A / 1991 (平成3) / 紙、雁皮紙貼・エッチング / 33.0 × 10.4 / 8/41
- 52 / 樹海〈鳥〉A / 1992 (平成4) / 紙、雁皮紙貼・エッチング / 29.2 × 19.7 / 9/50
- 53 / 彼岸花 / 1994 (平成6) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント、手彩色 / 14.4 × 12.3 / viii/xxx
- 54 / ほおずき / 1994 (平成6) / 紙、赤雁皮紙貼・メゾチント、手彩色 / 9.8 × 9.8 / 16/110
- 55 / メロン / 1994 (平成6) / 紙、雁皮紙貼・メゾチント、手彩色 / 14.9 × 15.4 / 18/32
- 56 / 詩画集『われらにさきかけてきたりしもの』扉 / 1997 (平成9) / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング / 16.2 × 11.1 / 32/60
- 57 / 詩画集『われらにさきかけてきたりしもの』I / 1997 (平成9) / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング / 25.1 × 15.7 / 32/60
- 58 / 詩画集『われらにさきかけてきたりしもの』II / 1997 (平成9) / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング / 17.6 × 23.1 / 32/60
- 59 / 詩画集『われらにさきかけてきたりしもの』III / 1997 (平成9) / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング / 25.7 × 17.0 / 32/60
- 60 / 詩画集『われらにさきかけてきたりしもの』IV / 1997 (平成9) / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング / 17.2 × 26.1 / 32/60
- 61 / 詩画集『われらにさきかけてきたりしもの』V / 1997 (平成9) / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング、アクアチント / 16.1 × 23.8 / 32/60
- 62 / 詩画集『われらにさきかけてきたりしもの』VI / 1997 (平成9) / 紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング、アクアチント / 17.0 × 25.9 / 32/60

【追加出品】

T氏像 (鶴岡政男の像) / 1966 (昭和41) / ケント紙・ペン、インク / 25.3 × 13.0 / 南天子画廊蔵

【参考出品：浜田知明作品】

- 初年兵哀歌 (歩哨) / 1951 (昭和26) / 紙、エッチング、アクアチント / 30.4 × 21.5 / 32/60
- 風景 / 1953 (昭和28) / 紙、エッチング / 36.3 × 29.8 / E.A.
- 初年兵哀歌 (歩哨) / 1954 (昭和28) / 紙・エッチング、メゾチント / 23.2 × 15.7 / 37/100
- 副校長D氏像 / 1956 (昭和31) / 紙、エッチング / 20.7 × 13.8 / E.A.
- 詩人 / 1963 (昭和38) / 紙、エッチング、アクアチント / 26.7 × 21.5 / 21/25



「秀島由己男展」展示風景

(4) 「133年前の福島 高橋由一 三県道路完成記念帖を読む」

[No./作者名/作品名/制作年/材質・技法]

- 1 / 高橋由一 / 《三県道路完成記念帖》全三冊 / 1885 (明治18) 年 / 絹・石版、着色
画帖寸法 各 26.8 × 30.8cm / 画面寸法 各 17.6 × 23.8cm
栃木県：序、20 図 / 福島県：53 図 / 山形県：55 図、跋
- 2 / 高橋由一 / 鐸木西美像 / 1881 (明治14) 年 / カンヴァス (麻布)・油彩
- 3 / 高橋由一 / 栗子山昔時景 / 1881 (明治14) 年頃 / カンヴァス (麻布)・油彩



「133年前の福島」ギャラリートーク (2/18)

(5) 「実践 福島県立美術館アートカード」

【第1部 アートカードの制作と実践】

パネル展示

- 制作までの過程 (検討会の実施内容について、写真)
- 検討会メンバーの実践紹介
 - ・福島市立森合小学校
 - ・国見町立国見小学校
 - ・福島市立信夫中学校
 - ・福島県教育センター
 - ・桜の聖母学院小学校
 - ・会津美里町立高田中学校
 - ・福島市立福島第四中学校
- アートカードセット
- アートカード内容紹介
- アートカードセット体験コーナー

【第2部 ～福島四中からの発信～しあわせアートプロジェクト】

[通し番号/カードno./作家名/生没年/タイトル/制作年/寸法/材質・技法]

テーマ「思いやり」

- 1 / 44 / 古賀春江 / 1885-1933 / 赤い風景 / 1926 / 38.8 × 56.5 / 紙・水彩
- 2 / 19 / 関根正二 / 1899-1919 / 姉弟 / 1918 / 80.5 × 60.5 / カンヴァス・油彩
- 3 / 20 / 渡部菊二 / 1907-1947 / 勤労の娘たち / 1940 / 115.8 × 90.6 / 紙・水彩

- 4 / 55 / 小林 浩 / 1967- / 星辰軌道 / 2010 / 259.0 × 194.0 / カンヴァス・アクリル
- 5 / 68 / 野田哲也 / 1940- / 日記 1976年8月19日 / 1976 / 70.9 × 47.1 / 紙・木版、シルクスクリーン
(アンドリュウ・ワイエス / 1917-2009 / 松ぼっくり男爵 / 1976 / 80.0 × 84.5 / 板・テンペラ) * 2階常設展示室に展示
テーマ「信じる気持ち」
- 6 / 17 / 北川民次 / 1894-1989 / 二十年目の悲しみの夜 / 1965 / 162.2 × 130.4 / カンヴァス・油彩
- 7 / 28 / 猪巻清明 / 1894-1974 / はさみ将棋 / 1934 / 143.0 × 172.0 / 紙本着色
- 8 / 32 / 福王寺法林 / 1920-2012 / バドガオンの月 / 1982 / 181.8 × 363.6 / 紙本着色
- 9 / 65 / 清宮質文 / 1917-1991 / 窓のカンテラ / 1972 / 24.5 × 15.3 / 紙・木版
- 10 / 69 / 山中 現 / 1954- / 第三夜 / 1984 / 58.4 × 42.6 / 和紙・木版
テーマ「感謝」
- 11 / 58 / 安田鞞彦 / 1884-1978 / 茶室 / 1962 / 130.6 × 75.2 / 紙本着色
- 12 / 60 / 小茂田青樹 / 1891-1933 / 薫房 / 1927 / (各) 135.7 × 135.0 / 紙本着色、屏風二曲一双
- 13 / 31 / 福田豊四郎 / 1904-1970 / ふるさとへ帰る / 1964 / 181.5 × 247.0 / 紙本着色、屏風四曲一隻
- 14 / 74 / 佐藤玄々 (朝山) / 1888-1963 / 巢鶏 / 1920頃 / 16.9 × 18.0 × 25.2 / 木彫彩色 / * 寄託作品
テーマ「挑戦」
- 15 / 42 / ベン・シャーン / 1898-1969 / 一行の詩のためには・・・
リルケ『マルテの手記』より《一篇の詩の最初の言葉》 / 1968 / 57.3 × 45.3 / 紙・リトグラフ (24点組のうち)
- 16 / 26 / 橋本章 / 1919-2003 / 武装する都市 / 1979 / 193.8 × 259.2 / カンヴァス・油彩
- 17 / 52 / 百瀬 寿 / 1944- / NE. Blue, Blue, Blue and Blue / 1993 / 241.7 × 241.7 / 綿布、ネパール紙・岩絵具
- 18 / 53 / 玉川信一 / 1954- / 樹のある風景 / 1985 / 194.0 × 259.0 / カンヴァス・油彩
- 19 / 64 / オノサト・トシノブ / 1912-1986 / シルク No.10 / 1967 / 49.8 × 50.0 / 紙・シルクスクリーン
- 20 / 67 / 李 禹煥 / 1936- / 遺跡地にて2 / 1984 / 67.1 × 82.0 / 紙・リトグラフ (5点組のうち)
テーマ「個性の尊重」
- 21 / 63 / 斎藤 清 / 1907-1997 / 競艶 / 1973 / 45.3 × 74.5 / 紙・木版
- 22 / 23 / 桂 ゆき / 1913-1991 / 親亀の背中に子亀をのせて / 1970 / 130.3 × 89.2 / 板・油彩、コラージュ
- 23 / 49 / 田淵安一 / 1921-2009 / 花林朱径 / 1985 / 左 194.8 × 130.0、右 194.8 × 129.7 / カンヴァス・油彩 (2点組)
- 24 / 12 / マックス・エルンスト / 1891-1976 / 『博物誌』より《光の輪》 / 1926 / 26.2 × 43.3 / 紙・コロタイプ (34点組のうち)
- 25 / 54 / 大岩オスカル / 1965- / トンネルの向こうの光 / 1997 / 227.0 × 333.0 / カンヴァス・油彩 / * 寄託作品



福島四中での実践 (12/2)



「福島県立美術館アートカード」展示風景

美術館観覧者数一覧表

平成28年度観覧者数一覧

平成29年3月31日現在(単位:人)

展覧会名	開催期間	有 料										無 料		観覧者総計
		個		人		団 体		7歳以下児 その他有料		年間 観 覧 券		有 料 合 計	無 料・ 招 待 等	
		一般・大 学生	高 校 生	小 中 学 生	小 計	一般・大 学生	高 校 生	小 中 学 生	小 計	一 般・大 学 生	高 校 生			
第1期～第4期	278日間	3,829			3,829	559					930	5,318	2,286	7,604
移動美術館 ※合計に含めず 「石原コレクション名品展」6/11～19	9日間													800
企画観覧券で常設展を観覧	通年													38,283
免除者(100/100)学校教育活動	通年													24
免除者(100/100)学校引継者	通年													385
免除者(50/100)県又は市町村主催	通年	5			5					0			2	7
常設無料入館 (こどもの日)	5月5日													1,435
" (国民の日)	8月21日													397
" (敬老の日)	9月20日													95
" (文化の日)	11月3日													327
小中高校生無料入館	通年													4,260
"	"													1,878
"	"													3,033
"	"													0
小 計		3,834	0	0	3,834	559	0	0	0	559	930	5,323	52,405	57,728
1 フェルメールとレンブラント展	4/6～5/5 32日間	40,391	490		40,881	1,167	23			1,190	873	83,599	20,351	104,150
2 よみがえるオオカミ展	5/28～7/3 32日間	3,977			3,977	274				274	221	4,472	1,077	5,549
3 エドワード・ゴッリーの優雅な秘密展	7/16～8/28 37日間	5,816	202	706	6,724	1	36			37	293	7,055	1,184	8,239
4 被災地からの発信展	9/10～10/10 26日間				0					0		0	2,631	2,631
5 広重ピント展	10/29～12/11 37日間	11,478	72	380	11,930	1,293	38	42		1,373	867	14,171	2,830	17,001
6 シリーズGallery F コレクション再発見	1/21～3/12 40日間				0					0		0	2,792	2,792
小 計		61,662	764	1,086	63,512	2,735	97	42		2,874	2,254	109,297	31,065	140,362
学校連携共同WS作品展・年賀状展入館者数													989	989
教育普及事業、講演会、コンサート、シンポジウム、 館長講話、博物館実習参加者、内覧会など													1,199	1,199
小 計													2,188	2,188
合 計		65,496	764	1,086	67,346	3,294	97	42		3,433	3,184	114,620	85,658	200,278

第4節 調査研究事業

1 調査研究

調査研究は美術館活動の基礎をなし、また広く県民に対して美術の情報センター機能を果たすためにデータ集積が欠かせない。県内外の美術家や作品の調査、教育普及、保存、展示等の調査を継続的に実施している。

平成28年度は、県内の美術品調査と、第二次世界大戦後に活躍した作家（鎌田正蔵、荻生天泉）の調査を重点的に行った。

第5節 普及事業

美術をより深く知る喜びを得る機会を提供する事業として、さまざまな講座を開催している。また、つくる楽しみを経験する契機として、各種の実技講座や、美術館への年賀状展、学校と連携しての出張実技講座を行っている。

1 館内解説

当館では以下のような館内解説を行っている。

(1) 団体解説

当館では、解説を予め申し込んだ学校や公民館などの団体に対し、美術館の概要、鑑賞のマナー、代表的な収蔵作品の解説、常設展示や企画展示の概要等のガイダンスを行っている。

平成28年度の団体総数は264団体10,860人、そのうち解説を行ったのは124団体6,039人である（平成29年2月18日現在）。

(2) 質問電話

展示室の各所に「質問電話」を設置し、展示品や美術全般についての観覧者からの質問に学芸員が直接応答するユニークなホットライン・サービスを行っている。

(3) 解説シート

常設展示室に展示中の作家・作品の解説シートを設置している。

2 鑑賞講座

館長講座「みちのくの美—その源流をたどる旅」

講師：早川博明（当館館長）

会場：当館講義室

第1回「青森県」平成28年5月21日(土) 参加者：9名

第2回「秋田県」平成28年7月16日(土) 参加者：28名

第3回「岩手県」平成28年9月17日(土) 参加者：28名

第4回「山形県」平成28年11月19日(土) 参加者：22名

第5回「宮城県」平成29年1月21日(土) 参加者：14名

第6回「福島県」平成29年3月18日(土) 参加者：19名

3 実技教室

実技教室は、広く県民各層の美術に関する関心をふまえ、美術の創作と鑑賞の一助とする目的で、一般対象の「実技講座」「技法講座」「一日創作教室」、小学生の親子対象の「親と子の美術教室」、小学生対象の「わんぱくミュージアム」など各種プログラムを実施している。

(1) 実技講座

① 大堀相馬焼をつくる

日時：平成28年6月18日(土)、7月2日(土)

講師：半谷菊枝氏（相馬焼窯元：半谷窯） 参加者：9名



②粘土で表現する「首像制作」

日時：平成28年10月9日(土)、16日(土)、23日(日)
各10時～16時

講師：高野正晃氏（彫刻家、武蔵野美術大学非常勤講師）
参加者：9名



③カシュエを使って抽象表現に挑戦

日時：平成28年12月17日(土)、平成29年1月14日(土)、21日(土)、28日(土)

講師：松本良子氏（「被災地からの発信」展出品作家、モダンアート協会会員） 参加者：18名



④みんなで、大きな1りんの花を作ろう！

日時：平成29年2月18日(土)

講師：コーチはじめ氏（イラストレーター） 参加者：19名



(2) 技法講座

①オオカミを杉板に描こう！

日時：平成28年5月29日(日)

講師：荒井 経氏（日本画家、東京大学准教授）

参加者：22名



②パズル式木版画を体験しよう

日時：平成28年11月27日(日)、12月4日(日)

講師：丸山浩司氏（版画家、多摩美術大学教授）

参加者：15名



③コラージュでつくるブックカバー

日時：平成29年3月12日(日)

講師：佐藤洋美氏（デザイナー、コラージュ作家）

参加者：14名



(3) 一日創作教室

①絵封筒をつくろう！

日時：平成28年8月28日(日)

講師：白木ゆう美（当館学芸員）、佐藤恵子（当館スタッフ）、
博物館実習生6名 参加者：81名



(4) 親子の美術教室

① コマ撮りアニメをつくってみよう！

日時：平成 28 年 5 月 21 日(土)

講師：松村泰三氏（東北芸術工科大学准教授）

参加者：小学生の親子 3 組 7 名



② みんなで絵本をつくろう！

日時：平成 28 年 8 月 7 日(日)

講師：加藤志異氏（絵本作家）

参加者：小学生の親子 10 組 23 名



③ クリスマスを彩るどうぶつライトをつくろう！

日時：平成 28 年 12 月 11 日(日)

講師：冬野朋子氏（PAPERMOON 主宰）

参加者：小学生の親子 8 組 17 名



(5) わんぱくミュージアム

① ものの表面採集をして、描いてみよう

日時：平成 28 年 7 月 31 日(日)

講師：海老塚耕一氏（美術家、多摩美術大学教授）

参加者：16 名



② キラキラつやつや七宝焼きバッジに挑戦！

日時：平成 28 年 11 月 13 日(土)

講師：白木ゆう美（当館学芸員） 参加者：23 名



4 美術館への年賀状展

県内の小・中学生から寄せられた手作り年賀状を展示した。

日時：平成 29 年 1 月 12 日(木)～ 31 日(火)

応募総数：258 通 観覧者数：532 名



5 博物館実習

学芸員取得のため実習を希望する大学生を受け入れ、カリキュラムを組んで指導している。

日時：平成 28 年 8 月 23 日(火)～ 28 日(日)

受講者：6 名

6 美術館・学校教育連携事業

学校週5日制が開始されることを契機に、平成13年12月～平成15年2月にかけて県内の小、中、高校の教師と学校・美術館をとりまく現状や問題点を情報交換し、継続的な連携活動ができる密接な関係を築くため「美術館・学校教育連携協議会」を開催した。協議での学校からの要望をもとに以下の事業を行った。

(1) 先生のための美術館入門

小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞指導について講座を開講する福島県教育センターと連携しながら、学校における美術館の活用方法を考える。今年度は、前期（県教育センター）後期（当館）の2回に分けて開催した。

日時：平成28年8月24日(木)、11月10日(木)

参加者：小学校教諭6名、中学校教諭5名 計11名

(2) 学校連携共同ワークショップ

平成15年度より開催する連携事業で、子どもたちが作家と触れ合う生の機会として、作家・学校・美術館の共同による創作活動を中心とした「出張ワークショップ」を開催している。この事業により相互の協力関係を密にし、新鮮な体験を通して子どもたちの美術や美術館への関心を高めるとともに、通常は美術館を利用しにくい地域のニーズに対応を図っている。

今年度は幼稚園・小・中・高校合わせて14校で開催した。ワークショップ作品は平成28年12月20日(火)～25日(日)、および平成29年1月7日(土)～15日(日)の期間、当館企画展示室Bにて活動中のスナップ写真とあわせて展示した。

ア 「うち」をつくる

講師：アサノコウタ氏（建築家）

開催校および参加人数：

学校法人堀内学園富岡幼稚園 参加者：22名

二本松市立塩沢幼稚園 参加者：14名

福島県立福島東高等学校 参加者：8名

イ 大地のえのぐで絵をえがこう！

講師：佐藤 香氏（土絵作家）

開催校および参加人数：

川俣町立川俣南幼稚園 参加者：13名

福島市立森合幼稚園 参加者：53名

白河市立関辺幼稚園 参加者：21名

学校法人松韻学園蓬莱もみじ幼稚園 参加者：15名

福島市立福島養護学校高等部 参加者：21名

学校法人鏡石学園岡ノ内幼稚園 参加者：60名

三春町立三春中学校 参加者：120名

ウ ことばと絵の音

講師：フライデースクリーン（アートユニット）

開催校および参加人数：

福島市立金谷川幼稚園 参加者：12名

二本松市立渋川小学校 参加者：22名

会津若松市立第一中学校 参加者：19名

会津若松市立第二中学校 参加者：8名

7 友の会、協力会との連携

(1) 友の会通常総会

日時：平成28年6月4日(土)

会場：美術館講義室 参加者：20名

(2) 友の会美術鑑賞講座

「イタリア・ルネサンス美術散策」

日時：平成28年11月13日(日)、12月18日(日)、
平成29年2月12日(日)

会場：美術館講義室

講師：坂本篤史（当館副主任学芸員） 参加者：90名

(3) 友の会実技講座

「はじめてでも簡単～つくって楽しい、飾ってうれしい、回転式木版画制作～」

日時：平成28年11月19日(土)

会場：当館実習室

講師：國島 敏（当館主任学芸員） 参加者：5名

(4) 友の会研修旅行（風の沢ミュージアム、大崎市民ギャラリー 緒絶の館、宮城県美術館）

日時：平成27年8月29日(土)

参加者：酒井哲朗（当館名誉館長）、伊藤 匡（当館学芸課長）
ほか計43名

(5) 友の会アートチャリティ・バザー

日時：平成28年12月4日(土)

会場：当館エントランスホール



アートチャリティ・バザー（12/4）

(6) 協力会「触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ」の開催

県立美術館収蔵品の中から彫刻作品を中心に、視覚障がいの方と晴眼者の方と一緒に作品鑑賞を行った。作品を触ったり、みんなで話しをしながら作品を楽しんだ。

日時：平成28年11月3日(木)(祝)

会場：当館講義室、常設展示室

講師：真下弥生氏（ルーテル学院大学非常勤講師）、
半田こづえ氏（筑波大学人間系障害科学域助教）
参加者：22名



美術鑑賞ワークショップ (11/3)

(7) ミュージアム・コンサート

美術館、協力会、友の会の三者による共同開催。

「仙台フィルメンバーによる クワテール・ディゼール演奏会
～おしゃべりな弦楽四重奏～」

日時：平成 29 年 3 月 12 日(土)

会場：美術館エントランスホール（参加無料）

演奏：神谷未穂氏（ヴァイオリン）、小池まどか氏（ヴァイオリン）、清水暁子氏（ヴィオラ）、八島珠子氏（チェロ）



ミュージアム・コンサート (3/12)

8 その他の事業

(1) 「いま、被災地から―岩手・宮城・福島の美術と震災復興―」展の開催

東日本大震災から 5 年が経過したことを機に、被災地における美術館や博物館の被災状況と、文化財レスキューをはじめとする救援活動、そして現状の課題などについて報告。あわせて、岩手・宮城・福島県の代表的な美術作品を展示してその特質と魅力を紹介した。

会期：平成 28 年 5 月 17 日(火)～ 6 月 26 日(日)

会場：東京藝術大学大学美術館（台東区上野公園 12-8）

主催：東京藝術大学、全国美術館会議、岩手県立美術館、宮城県美術館、福島県立美術館

共催：NHK、朝日新聞社、東京新聞、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

後援：文化庁

協力：印象社、ヤマトロジスティクス



展示風景

(2) 県立図書館との連携事業「アートなおはなしかい」

小学生とその保護者を対象にした、図書館での絵本の読み聞かせと工作ワークショップ。

日時：平成 28 年 12 月 3 日(土)

参加者：8 組 17 名

(3) 館外での活動

①委員の委嘱等

- ・いわき市立美術館収集評価委員（荒木康子専門学芸員）
- ・福島市写真美術館運営委員（堀宜雄専門学芸員）
- ・裏磐梯猪苗代フォトコンテスト審査員（堀宜雄専門学芸員）
- ・宇都宮美術館収集評価委員（増淵鏡子主任学芸員）
- ・相馬市史調査編さん委員（増淵鏡子主任学芸員）
- ・須賀川市歴史文化基本構想策定委員（増淵鏡子主任学芸員）
- ・一般財団法人可月亭庭園美術館評議員（増淵鏡子主任学芸員）

- ・福島大学「芸術による地域創造研究所プロジェクト」客員研究員（増渕鏡子主任学芸員、國島敏主任学芸員）
 - ・西会津国際芸術村公募展審査員（坂本篤史副主任学芸員）
- ②寄稿、発表、受賞等
- ・『奥州二本松』歴史春秋社 2016年12月（共著 堀宜雄専門学芸員）
 - ・三重県立美術館講演会「ベン・シャーン 一篇の詩の最初の言葉が生まれるまで」 2016年9月18日（荒木康子専門学芸員）
 - ・岡山県立美術館講演会「国吉康雄と福島県立美術館コレクション」 2016年10月16日（荒木康子専門学芸員）
 - ・目白大学社会学部メディア表現学科公開講演会「福島県立美術館のこれまで、そして今考えること」講師 2016年11月23日（荒木康子専門学芸員）
 - ・森のはこ舟アートプロジェクト「絵画やスケッチを通してみる磐梯山」講師 2016年10月1日、2日（増渕鏡子主任学芸員）
 - ・東京文化財研究所オープンレクチャー「よみがえるオオカミ―飯館村山津見神社・天井絵の復元をめぐる―」講師 2016年11月4日（増渕鏡子主任学芸員）
 - ・第28回倫雅美術奨励賞（増渕鏡子主任学芸員：「小川千襲展―縦横無尽に生きる―」展覧会企画およびカタログ執筆）

◆関係法規

A 福島県立美術館条例

(設置)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第18条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条第1項の規定に基づき、県民の美術に対する知識及び教養の向上を図るため、福島県立美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 美術館は、福島市森合字西養山1番地に置く。

(業務)

第3条 美術館において行う業務は、次のとおりとする。

- 一 美術館及び美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 前3号に掲げるもののほか、その設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

(観覧料)

第4条 美術館の展示品（以下「展示品」という。）を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 知事は、公益上の必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料不返還の原則)

第6条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、規則で定める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(遵守事項)

第7条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損しないこと。
- 二 物品を販売し、又は頒布しないこと（教育委員会の許可を受けた場合を除く。）。
- 三 展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと（教育委員会の許可を受けた場合を除く。）。
- 四 所定の場所以外において、喫煙および飲食を行わないこと。
- 五 他の利用者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 六 前各号に掲げるもののほか、管理上教育委員会が指示する事項。（平11条例92・一部改正）

(入館の規制等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、入館を拒否し、又は退館若しくは退去を命ずることができる。

- 一 前条の規定に違反した者。
- 二 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、または汚損するおそれのある者。
- 三 館内の秩序を乱し、又はそのおそれのある者。（平11条例92・追加）

(職員)

第9条 美術館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

（平11条例92・旧第8条繰上）

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理その他この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

（平11条例92・旧第9条繰上）

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

別表（第4条関係）

（平9条例53・平15条例52・平25条例118・一部改正）

区 分	普通観覧料の額 (一人当たり)		特別観覧料の額	年間観覧料の額 (同一人が有効期間内に 利用する場合)
	個人	団体		
一般（大学生を含む。）	270円	210円	その都度知事が定める額	3,600円の範囲内で知事が定める額
高校生及びこれに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	2,160円の範囲内で知事が定める額
中学生、小学生及びこれらに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	1,440円の範囲内で知事が定める額

備考

1 「普通観覧料」とあるのは常設展の展示品のみを観覧する場合の観覧料をいい、「特別観覧料」とあるのは特別の企画による展示品を観覧する場合（常設展の展示品を併せて観覧する場合を含む。）の観覧料をいい、「年間観覧料」とあるのは年間利用に係る普通観覧料及び特別観覧料をいう。

2 「団体」とあるのは、20人以上の団体をいう。

附 則（平成9年条例第53号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成11年条例第92号）

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成15年条例第52号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成25年条例第118号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

B 福島県立美術館運営協議会条例

(設置)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定に基づき、福島県立美術館（以下「美術館」という。）の適正な運営を図るため、福島県立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(組織)

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、10人以内とする。

(委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員会の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

（平24条例42・一部改正）

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附則（平成24年条例第42号）

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

2 この条例の施行の際現に改正前の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命されている福島県立美術館運営協議会の委員は、その残任期間中は、改正後の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命された福島県立美術館運営協議会の委員とみなす。

C 福島県立美術館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則

福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号）第5条、第6条ただし書及び別表の規定による知事の権限は、福島県教育委員会に委任する。

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

D 福島県立美術館条例施行規則

（休館日）

第1条 福島県立美術館（以下「美術館」という。）の定期的休館日は、次のとおりとする。

- 一 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（次号において「休日」という。）に当たるときを除く。
- 二 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。
- 三 1月1日から同月4日まで。
- 四 12月28日から同月31日まで。

2 美術館の長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

（昭63教委規則8・一部改正）

（開館時間）

第2条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、館長は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

（観覧手続）

第3条 館長は、福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号。以下「条例」という。）第4条の規定により観覧料を納入した者（年間観覧料を納入した者（以下「年間観覧者」という。）を除く。）に対し、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

（平15教委規則2・一部改正）

（年間観覧者に係る入館手続）

第3条の2 館長は、年間観覧者に対し年間観覧券（第1号様式の2）を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券の交付の日から起算して1年とする。

2 年間観覧者は、入館する際に有効な年間観覧券を提示するものとする。

3 年間観覧券の利用は、同一人に限るものとする。

（平15教委規則2・追加、平19教委規則14・一部改正）

（観覧料の免除及びその手続）

第4条 館長は、条例第5条の規定により、次の表の上欄に掲げる場合における普通観覧料について、同表の下欄に掲げる額を免除するものとする。

普通観覧料を免除する場合	免除する額
一 大学生、（これに準ずる者として福島県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が別に定める者を含む。）及びその引率者並びに高校生、中学生及び小学生（これらに準ずる者として教育長が別に定める者を含む。）の引率者が、学校教育に基づく活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
二 県又は市町村が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の百分の五十に相当する額（引率者については全額）
三 国民の祝日に関する法律第二条に定めるこどもの日、敬老の日及び文化の日に観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
四 知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証の交付を受けている者が観覧するとき	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
五 その他免除することが公益上適当と認めるとき。	教育長が別に定める金額

2 観覧料の免除を受けようとする者（前項の表の第3号又は第4号のいずれかに該当する場合に観覧料の免除を受けようとする者を除く。）は、前項の表の第1号又は第2号に該当する場合にあっては観覧しようとする日の3日前まで、第5号に該当する場合にあっては10日前までに観覧料免除申請書（第2号様式）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により観覧料の免除を承認したときは、観覧料免除承認書（第3号様式）を交付するものとする。

（昭60教委規則3・平4教委規則15・平7教委規則14・平8教委規則15・平8教委規則19・平12教委規則15・平14教委規則13・平15教委規則2・一部改正）

（観覧料の返還）

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、それぞれ当該各号に定めるところにより、観覧料の全部又は一部を返還するものとする。

- 一 観覧しようとする者の責めによらない理由により観覧することができなくなったとき（観覧しようとする者が年間観覧者であるときを除く。） 全額
- 二 その他やむを得ない理由があると認めるとき。 教育長が別に定める額

2 観覧料の返還を受けようとする者は、観覧料返還申請書（第4号様式）に観覧券を添えて、館長に提出しなければならない。

（平15教委規則2・一部改正）

（美術品等の特別利用）

第6条 美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品等を学術上の研究その他の目的のため特に利用しようとする者は、館長の承認を受けなければならない。

（平12教委規則15・旧第7条繰上）

（教育長への委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理その他この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

（平12教委規則15・旧第8条繰上）

附則 この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

第1号様式（第3条関係）

観覧券 (観覧者の区分) (金額) 福島県立美術館	観覧券 (観覧者の区分) (金額) 福島県立美術館
--	--

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第1号様式の2（第3条の2関係）
（平15教委規則2・追加）

（表）

年間観覧券
福島県立美術館

（裏）

（交付番号）	（観覧者の区分）
（有効期間）	
御利用に際して	
1 福島県立美術館が主催する展覧会のみ有効です。	
2 下記に署名された御本人以外の方は使用できません。	
3 御購入後の紛失等による再発行はいたしません。	
（氏名）	
（学校名）（学年）	
福島県立美術館	

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第2号様式（第4条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第2号様式(第4条関係)

年 月 日

福島県立美術館長

印

住所又は所在地
氏名又は名称及び
代表者の氏名
申請者
観覧料免除申請書

次の理由により観覧料を免除してください。

観覧目的				
観覧日時	年	月	日	時 分から 分まで
観覧者の種別及び人数	一 般 人	その他()		人
	大 学 生	()		
	高 校 生			
	中 学 生	引 率 者		
	小 学 生	合 計		
免除申請の理由				
引率者の職、氏名	職		氏名	
連絡先及び電話番号	電話 ()			
観覧料	免除率	免除金額	免除の税務	
円	円	円	円	
年 月 日				
上記のとおり承認してほしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	

(注) 印の欄は、記入しないこと。

第3号様式（第4条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第3号様式(第4条関係)

第 号
年 月 日

福島県立美術館長

観覧料免除承認書

観覧料の免除について、次のとおり承認します。

観覧目的				
観覧日時	年	月	日	時 分から 分まで
観覧者の種別及び人数	一 般 人	その他()		人
	大 学 生	()		
	高 校 生			
	中 学 生	引 率 者		
	小 学 生	合 計		
免除申請の理由				
注 意 事 項				
観覧料	免除率	免除金額		
円				

第4号様式（第5条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第4号様式(第5条関係)

年 月 日

福島県立美術館長

印

住所又は所在地
氏名又は名称及び
代表者の氏名
申請者
観覧料返還申請書

次の理由により観覧料を返還してください。

展覧会の名称				
観覧料の納入月日	年	月	日	
既納観覧料の区分及び金額	区 分	人 数	金 額	税 額
			円	
合 計				
返還を申請する理由				
連絡先及び電話番号	電話()			
観覧料返還率	返還金額	返還の税務		
円	円	円		
上記のとおり返還してほしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	
受付月日	・	・	決裁月日	・

(注) 印の欄は、記入しないこと。

附 則（昭和60年教委規則第3号）

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年教委規則第8号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成3年教委規則第13号）

1 この規則は、交付の日から施行する。

2 この規則の施行の際現に作成されている改正前の規則に定める様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成4年教委規則第15号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年教委規則第14号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第15号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第19号）

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則（平成12年教委規則第15号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第13号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年教委規則第2号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成19年教委規則第14号）

この規則は、平成19年10月1日から施行する。

E 福島県立美術館組織規則

（この規則の目的）

第1条 この規則は、福島県立美術館（以下「美術館」という。）の組織に関して必要な事項を定めることを目的とする。

（課）

第2条 美術館に次の課を置く。

総務課

学芸課

（事務分掌）

第3条 総務課においては、次の事務を行う。

- 一 館内事務の総合調整及び企画調査に関すること。
- 二 公印の管理に関すること。
- 三 人事に関すること。
- 四 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。
- 五 予算の編成、経理及び執行に関すること。
- 六 物品の調達及び処分に関すること。
- 七 財産の管理に関すること。
- 八 観覧料の徴収に関すること。
- 九 福島県立美術館運営協議会に関すること。
- 十 前各号に掲げるもののほか、他課の所掌に属しない事務に関すること。

2 学芸課においては、次の事務を行う。

- 一 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- 二 美術に関する調査及び研究に関すること。
- 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- 四 美術に関する解説書、年報、調査研究報告書等の作成に関すること。
- 五 美術に関する相談、情報提供その他美術教育の普及に関すること。
- 六 国立美術館、公立美術館その他の教育機関及び美術関係団体との連絡提携に関すること。
- 七 前各号に掲げるもののほか、美術に関する専門的事項に関すること。

ること。

（館長）

第4条 美術館に館長を置く。

2 館長は、上司の命を受け、美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

（副館長）

第5条 美術館に副館長を置く。

2 副館長は、館長を補佐し、美術館の事務を整理する。

（課長）

第6条 美術館の課に課長を置く。

2 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理し、所属職員を指揮監督する。

3 前項に規定するもののほか、課長は、課の事務を点検する。

（平25教委規則11・一部改正）

（学芸員等）

第7条 美術館に主任専門学芸員、専門学芸員、主任学芸員、副主任学芸員及び学芸員を置く。

2 主任専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の高度な学芸事務を処理する。

3 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の学芸事務を処理する。

4 主任学芸員は、上司の命を受け、担任の学芸事務を処理する。

5 副主任学芸員は、上司の命を受け、高度な学芸事務をつかさどる。

6 学芸員は、上司の命を受け、学芸事務をつかさどる。

（主任主査その他の職）

第8条 美術館に、第4条から前条までに規定する職のほか、必要に応じ、次の表の上欄に掲げる職を置き、その職の職務は、それぞれ同表の当該下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
主任主査	上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理し、並びに担当する事務を取りまとめ、及び整理する。
主査	上司の命を受け、担任の事務を処理する。
副主査	上司の命を受け、高度な事務をつかさどる。
主事	上司の命を受け、事務をつかさどる。
専門員	上司の命を受け、担任の専門的業務に従事する。

（平14教委規則18・平25教委規則8・一部改正）

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第18号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成25年教委規則第8号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年教委規則第11号）

この規則は、公布の日から施行する。

F 福島県立美術館収集評価委員会設置要綱

（設置）

第1条 福島県立美術館に収蔵する美術品及び資料（以下「美術品等」という。）の収集及び評価について審議するため、福島県立美術館収集評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織等）

第2条 委員会は5人以内の委員をもって構成し、委員は学識経験者のうちから福島県立美術館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

3 委員長は委員会を代表し会務を掌理する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第3条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第4条 委員会は、必要のつど館長が招集する。

2 委員会は、美術品等の収集及び評価について審議し、その結果を館長に報告するものとする。

3 委員会は、必要に応じ職員その他の者を出席させて意見を聴くことができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、福島県立美術館において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附則 この要綱は、昭和55年4月1日から施行する。

改正 昭和59年4月1日、昭和61年4月1日

G 福島県立美術館における美術品等の貸出し及び写真撮影等に関する取扱要綱

1 趣旨

(1) この要綱は、財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例(昭和39年福島県条例第22号)第7条、福島県財務規則(昭和39年福島県条例第17号。以下「財務規則」という。)第156条、福島県立美術館条例(昭和59年福島県条例第33号)第7条及び福島県立美術館条例施行規則(昭和59年福島県教育委員会規則第12号)第7条の規定により、福島県立美術館(以下「館」という。)が所蔵し、又は寄託を受けている美術品及び美術資料(以下「美術品等」という。)の貸出し及び写真撮影等(以下「撮影」という。)の取り扱いに関する基準及び手続きを定めるものとする。

(2) 美術品等が福島県美術品等取得基金(以下「基金」という。)所有のものであるときは、昭和59年12月28日付59教財第513号、福島県教育庁財務課長通知により、美術品等の貸出しの手続きは館長の依頼により基金管理者が行うものとするが、美術品等の貸出しの基準及び撮影については、この要綱を準用するものとする。

2 美術品の貸出し

(1) 貸出しの基準

ア 美術品等の貸出しは、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、その他館長が特に必要と認めたものに対して行うものとする。

イ 美術品等の貸出期間は、1年を超えてはならない。

ウ 美術品等の利用目的及び管理上の理由から貸出しをすることが適当でないと認めるときは、貸出しを行わないものとする。

(2) 貸出しの手続き

ア 学芸課は、美術品等の貸出しをする場合には、貸出しを受けようとする者(以下「借受者」という。)から物品借受申請書(財務規則第102号様式。以下「申請書」という。)を提出させるものとする。ただし、借受者の利用目的が展覧会の展示である場合には、次の書類を提出させなければならない。

(ア) 展覧会の趣旨及び企画内容を明記した書類

(イ) 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の貸出しを承認する旨の書類

(ウ) その他必要と認める書類

イ 学芸課は、借受者から申請書の提出を受けたときは、美術品等の利用目的、利用期間及び利用場所等について十分に検討を加え、貸出しの適否を審査するものとする。

ウ 学芸課は、この要綱2の(2)のイの審査の結果、美術品等の貸出しをすることが適当と認めるときは、物品貸付調書(財務規則第10号様式)により当該貸出しについて館長の決裁を受ける

とともに、総務課に關係書類を送付するものとする。

エ 総務課は、この要綱2の(2)のウの書類の送付を受けたときは、速やかに福島県教育庁生涯学習領域(以下「生涯学習領域」という。)に対し美術品等の貸出しについて必要な措置の請求(別紙様式第1号)をしなければならない。

オ この要綱2の(2)のアからエまでの規定は、美術品等が基金所有のものである場合に準用する。

(3) 貸出しの決定

ア 総務課は、生涯学習領域から美術品等の貸出しについて必要な措置が完了した旨の通知を受けたときは速やかに学芸課に対して、その旨連絡するとともに關係書類を送付するものとする。

イ 学芸課は、この要綱2の(3)のアの通知を受けたときは借受者に対して、貸出し承認の通知(別紙様式第2号)をするものとする。

ウ 美術品等が基金所有のものであるときは、当該美術品等の貸出しの決定及び借受者に対する貸出し承認の通知は、基金管理者が行うものとする。

エ 美術品等の貸出しは、無料とする。

(4) 貸出しの条件

美術品等の貸出しをする場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等は利用目的以外の用途に利用しないこと。

イ 美術品等の利用権を第3者に譲渡しないこと。

ウ 美術品等は常に善良な管理者の注意をもって管理保管すること。

エ 美術品等の棄損・亡失等が生じた場合は、速やかにその旨を館に報告し、その指示により損害を賠償し、又はこれを原状に回復すること。

オ 美術品等の輸送、その他貸出しに要する経費は、借受者が負担すること。

カ 図録作成等のため美術品等の写真撮影をする場合は、この要綱3により別途手続を行うこと。

キ 美術品等の搬出または搬入に対して借受者は責任者を立会させること。

ク その他必要と認めること。

(5) 美術品等の引渡し

ア 館長(物品管理者)は、美術品等の貸出しを実行するときは、当該美術品等の現状を確認し、総務課長(物品取扱員)に対し、貸付物品払出通知書(財務規則第102号様式)により、その引渡しを指示するものとする。

イ 総務課長(物品取扱員)は、館長(物品管理者)から貸出し美術品等の引渡しの指示を受けたときは、借受者に対して当該美術品等の受領を証する書面と引換えに、これを引渡すものとする。

ウ 総務課長(物品取扱員)は、美術品等を引渡ししたときには物品貸付台帳(財務規則第140号様式)に所定の事項を記載し整理するものとする。

エ 美術品等の引渡し場所は原則として館とする。

(6) 美術品等の貸付引受け

この要綱2の(5)のアからエまでの規定は、貸出しを行った美術品等が返納された場合の受入れの手続きについて準用する。この場合「美術品等の貸出しを実行」とあるのは「貸出しを行った美術品等を引受け」と、「貸付物品払出通知書」とあるのは「貸付物品受入通知書」と、「引渡し」とあるのは「引受け」とそれぞれ読み替えるものとする。

3 美術品等の撮影

(1) 撮影承認の基準

ア 美術品等の撮影は国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、出版社、その他館長が特に必要と認めたものに対して承認するものとする。

イ 撮影により損傷を生ずるおそれがある美術品等は撮影を認めないものとする。

ウ 撮影の時期が美術品等の管理上、適当でないと認められる場合

は、その時期を変更し、若しくは撮影を認めないものとする。

(2) 撮影承認の手続

- ア 学芸課は、美術品等の撮影の承認をする場合には、撮影を希望する者（以下「撮影者」という。）から美術品等撮影承認願（別紙様式第3号。以下「承認願」という。）を提出させるものとする。
- イ 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の撮影を承認する旨の書類を承認願に添付させるものとする。
- ウ 学芸課は、撮影者から承認願の提出を受けたときは、撮影の目的、場所、時期、対象美術品等について十分に検討を加え、承認の適否を審査するものとする。
- エ 学芸課は、この要領3の(2)のウの審査の結果、美術品等の撮影を承認することが適当と認めるときは、当該撮影の承認について館長の決裁を受けるものとする。
- オ 美術品等の撮影料は無料とする。

(3) 撮影承認の通知

学芸課は、この要領3の(2)のエにより撮影承認の決定をしたときは、撮影者に対して撮影承認の通知（別紙様式第4号）をするものとする。

(4) 撮影の条件

美術品等の撮影を承認する場合には、次の条件を付すものとする。

- ア 美術品等の撮影は館の職員の指示に基づいて行うこと。
 - イ 撮影により美術品等を損傷させないこと。
 - ウ 撮影した写真等は、撮影承認を受けた目的以外に使用しないこと。
 - エ 撮影の目的が著作権法の適用を受けることとなるときは、必要に応じ、あらかじめ著作権者の了承を得ること。
 - オ 撮影承認を受けた美術品等の写真を出版物に掲載したときは、当該出版物を館に提出すること。
 - カ その他必要と認めること。
- (5) 補則
- ア 撮影の場所は、原則として館とする。
 - イ 撮影が美術品等の管理上適当でないとき、館が所有する原版の使用を認めるものとする。
 - ウ 過去に撮影した写真等の撮影承認の目的外使用については、この要領の適用を受けるものとする。
 - エ 館所有の原版を複製して使用する場合は、当該複製版をすべて提出することとする。
 - オ 館所有の原版を使用する際、誤って損傷、亡失させたときは、再撮影に係わる実費を当該申請者に請求することができるものとする。

4 適用

この要領は昭和60年2月9日から適用する。

（平成9年9福美第65号により一部改正）

H 福島県立美術館美術作品等寄託要領

（趣旨）

1 この要領は、福島県立美術館（以下「館」という。）における美術作品および美術資料（以下「美術品等」という。）の寄託に関し、必要な事項を定めるものとする。

（寄託の申し出）

2 福島県立美術館長（以下「館長」という。）は、美術品等の所有者に依頼して寄託を受けようとする場合には、寄託同意書（別記様式第1号）によって所有者の同意を得なければならない。

(2) 館長の依頼によらないで美術品等の寄託をしようとする者は、寄託申請書（別記様式第2号）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

（受託）

3 館長は、所有者の合意、もしくは所有者からの申込みのあった美術品等の寄託が館の事業のため必要があると認めるときは、これを無償で受託することができる。

（受け入れおよび返還）

4 館長は、所有者から寄託された美術品等を受領したときは、所有者に対して受託証書（別記様式第3号）を交付するものとする。

(2) 所有者は寄託した美術品等（以下「寄託品」という。）の返還を受けようとするとき、返還を受けようとする日の一ヶ月以上前に返還申請書（別記様式第4号）を館長に提出しなければならない。

(3) 館長は、この要領4の(2)により、所有者に対して寄託品の返還をしようとするときは、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。

(4) 寄託品の返還を受けようとする者が所有者の代理人であるときは、委任状その他これを証する書面を館長に提出しなければならない。（寄託期限）

5 美術品等の寄託期間（以下「寄託期間」という。）は2年とする。ただし、特別な理由があるとき、館長はこの期間を短縮することができる。

（寄託期間の更新）

6 館長は所有者の承諾を得て寄託期間を更新することができる。

(2) 寄託期間の経過後、所有者から寄託品の返還の請求がない場合は、寄託期間を更新したものとみなす。

(3) 館長は、この要領6の(1)および(2)により寄託期間を更新したときは、所有者に対し更新した受託証書を交付するものとする。（所有者の変更等）

7 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、または所有者の氏名、名称もしくは住所等に変更があったときは、所有者（所有者が変更した場合は変更後の所有者）は、所有権の移転その他氏名、名称等を証する書類を受託証書に添えて館長に提出し、受託証書の書き換えを受けなければならない。（受託証書の再交付）

8 所有者は、受託証書を亡失し、または著しく破損したときは、これらの事実を証するにたる書類（破損の場合は、その受託証書）を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。（寄託品輸送経費等の負担）

9 所有者は寄託品の搬入または返還に要する経費等を負担するものとする。ただし、館長が特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。（寄託品の展示等）

10 館は、寄託品について、展示、研究および撮影等を行い、その結果を公刊することができる。

(2) 館職員以外の者がこの要領10の(1)の行為をしようとするときは、「福島県立美術館における美術品等の貸出しおよび写真撮影等に関する取扱要領」に定めるところにより、所定の手続きを経なければならない。（寄託品の保存）

11 館長は、寄託品の保存管理およびその取扱いについては、館に所蔵する美術品に準じて行う。

(2) 館は、寄託品を亡失し、または損傷した場合は、その補償をするものとする。ただし、天災、その他不可抗力による場合は、この限りでない。（その他）

12 この要領に定めるもののほか、美術品等の寄託に関して必要な事項は、館長が定める。

この要領は、昭和60年4月1日より施行する。

◆予算

【2016年度予算内訳】

歳入

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
使用料及び手数料	21,280
└ 使用料	21,280
└ 行政財産使用料	892
└ 土地使用料	33
└ 建物使用料	859
└ 教育使用料	19,496
└ 美術館使用料	19,496
財産収入	1,291
└ 財産売払収入	1,291
└ 物品売払収入	1,291
諸収入	2,815
└ 雑入	2,815
計	25,386

歳出

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
教育費	226,224
└ 教育総務費	9,118
└ 事務局費	9,087
└ 報酬	5,760
└ 職員手当(児童手当等)	0
└ 共済費	1,641
└ 賃金	1,686
└ 財務管理費	31
└ 交際費	31
└ 社会教育費	217,106
└ 美術館費	217,106
└ 報酬	72
└ 報償費	1,307
└ 旅費	2,920
└ 需用費	71,619
└ (食糧費)	(150)
└ 役務費	6,950
└ 委託料	120,208
└ 使用料及び賃借料	13,679
└ 備品購入費	250
└ 負担金、補助及び交付金	101
└ 公課費	0
計	226,224

◆施設・設備

【建築の概要】

設計 大高建築設計事務所
 施工 鹿島建設株式会社仙台支店（建築・外観）
 敷地面積 60,500㎡
 建築面積 6,471.5㎡
 延床面積 9,680.7㎡
 建物構造 鉄筋コンクリート造（一部S造・2階建）
 総工費 約49億円（本体、外構含む）

【設備の概要】

電気設備

- 1- 受変電設備：受電力 1,100W
- 2- 動力設備
- 3- 電灯・コンセント・照明（調光設備：各展示室、調光装置：講堂・講義室各1台）
- 4- 自家発電機設備
- 5- 避雷針
- 6- 電気時計
- 7- 火災報知設備
- 8- 防火扉・防煙設備
- 9- 拡声設備
- 10- インターホン設備
- 11- ITV 設備
- 12- 防犯設備
- 13- ビデオ設備
- 14- 蓄電池設備
- 15- 電話設備

空気調和設備

- 1- 熱源設備：
 - 展示室・収蔵庫系統＝空気熱源スクルーヒートポンプ、120RT＋熱回収ヒートポンプ30RT 組合せ制御方式、冷水槽300㎡、温水槽250㎡
 - 一般系統・図書館系統＝灯油だき冷温水発生器150RT 2台
- 2- 空調設備：単一ダクト方式
 - 展示室4系統、収蔵庫3系統、ケース内4系統、一般系統7系統（一部フロアコイル併用）
- 3- 換気設備：50系統
- 4- 排煙設備：機械排煙6系統
- 5- 床暖房：2系統
- 6- 自動制御設備：中央監視盤、温湿度監視盤

給排水衛生設備

- 1- 熱源：都市ガス（厨房・実習室・工作修復室）／他は全て電器煮沸器を使用
- 2- 消化系：ハロン消火設備（収蔵庫3系統：共用機械室）／消火栓設備（消火ポンプ1台、屋内消火栓14台、動力ポンプ1台）
- 3- 燻蒸設備：ガスによる殺虫滅菌剤で燻蒸後吸着装置通過、規定濃度以下にして大気放出
- 4- 給水：受水槽45t（加圧給水）／直結給水
- 5- 排水：屋内は汚水・雑排水の分流式（外部で合流後、市下水道公共マスに接続）

昇降機設備

- 1- 乗用エレベーター：油圧式、750kg 11名乗り 1台
- 2- 荷物用エレベーター：油圧式、最大積載量3t 1台
- 3- 乗用エレベーター：油圧式、600kg 9名乗り 1台

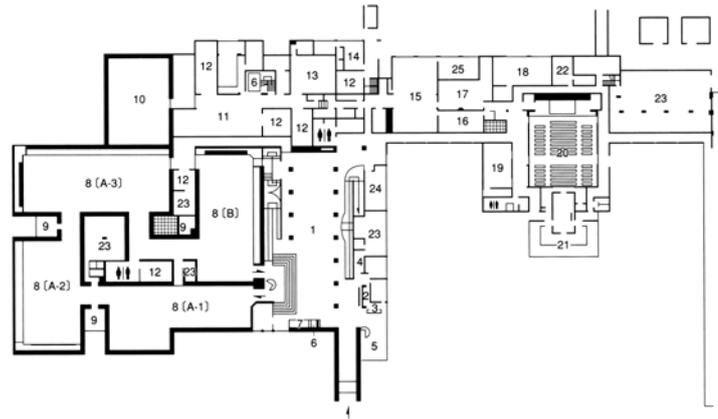
【内部仕上げの概要】

- 1- エントランスホール
 - 床：御影石バーナー仕上げ（一部長尺塩ビシート張）
 - 壁：栓練付石綿ケイカル板
 - 天井：栓練付石綿ケイカル板
 - その他：一部床暖房設備
- 2- 収蔵庫
 - 床：パーケットブロック、ぶな素地
 - 壁：米杉、矢羽根板張
 - 天井：米杉、本実目透張
 - その他：収納棚、絵画収納ラック
- 3- 企画展示室
 - 床：長尺塩ビシート張
 - 壁：合板捨張の上に準不燃合板、特注クロス張
 - 天井：栓練付パネル
 - その他：大型可動壁（幅8,770mm×高3,770mm、11枚）
 - 固定ケース前可動壁：（幅1,600mm×高4,050mm、延長約72m）
 - 固定ケース：（A-2、A-3、B：総延長72.3m）
- 4- 常設展示室
 - 床：タフテッドループカーペット
 - 壁：常設A- 栓練付ケイカル板
常設B- 大理石空積、水磨き仕上げ
常設C・D- くるみ練付ケイカル板
 - 天井：常設A- 栓練付パネル
常設B・C・D- くるみ練付パネル
 - その他：固定ケース（常設A、16.2m）
- 5- 講堂
 - 床：タイルループカーペット
 - 壁：くるみ練付石綿ケイカル板
 - 天井：ビニールクロス張
 - その他：座席数246（うち車椅子席4）／ステージ幅12m×奥行3.2m
- 6- 講義室
 - 床：タイルカーペット
 - 壁：くるみ練付石綿ケイカル板
 - 天井：岩綿吸音板
- 7- 実習室
 - 床：エポキシ系塗床
 - 壁：モルタル金ゴテVP
 - 天井：岩綿吸音板
- 8- 軽食喫茶室
 - 床：長尺塩ビシート張
 - 壁：くるみ練付パネル、粒状岩綿吸音材（一部）
 - その他：テーブル44席
- 9- その他
 - 搬出入口：ホイストクレーン2.8t／テーブルリフター
 - 写真室：電動スクリーン

◆施設配置図

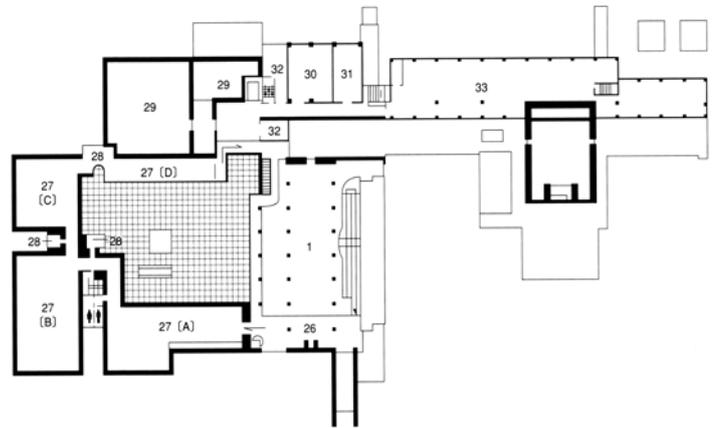
【1階】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. エントランスホール | 14. 警備室 |
| 2. 受付案内 | 15. 事務室 |
| 3. ブックショップ | 16. 応接室 |
| 4. ロッカー室 | 17. 研究図書室 |
| 5. 図書コーナー | 18. 実習室 |
| 6. エレベーター | 19. 講義室 |
| 7. ビデオコーナー | 20. 講堂 |
| 8. 企画展示室 | 21. 軽食喫茶室 |
| 9. 休憩室 | 22. 中央監視室 |
| 10. 収蔵庫 A | 23. 機械室 |
| 11. 荷解梱包室 | 24. 館長室 |
| 12. 倉庫 | 25. 副館長室 |
| 13. 写真室 | |



【2階】

- | |
|-------------|
| 26. ロビー |
| 27. 常設展示室 |
| 28. 休憩室 |
| 29. 収蔵庫 B・C |
| 30. 工作修復室 |
| 31. 会議室 |
| 32. 倉庫 |
| 33. 機械室 |



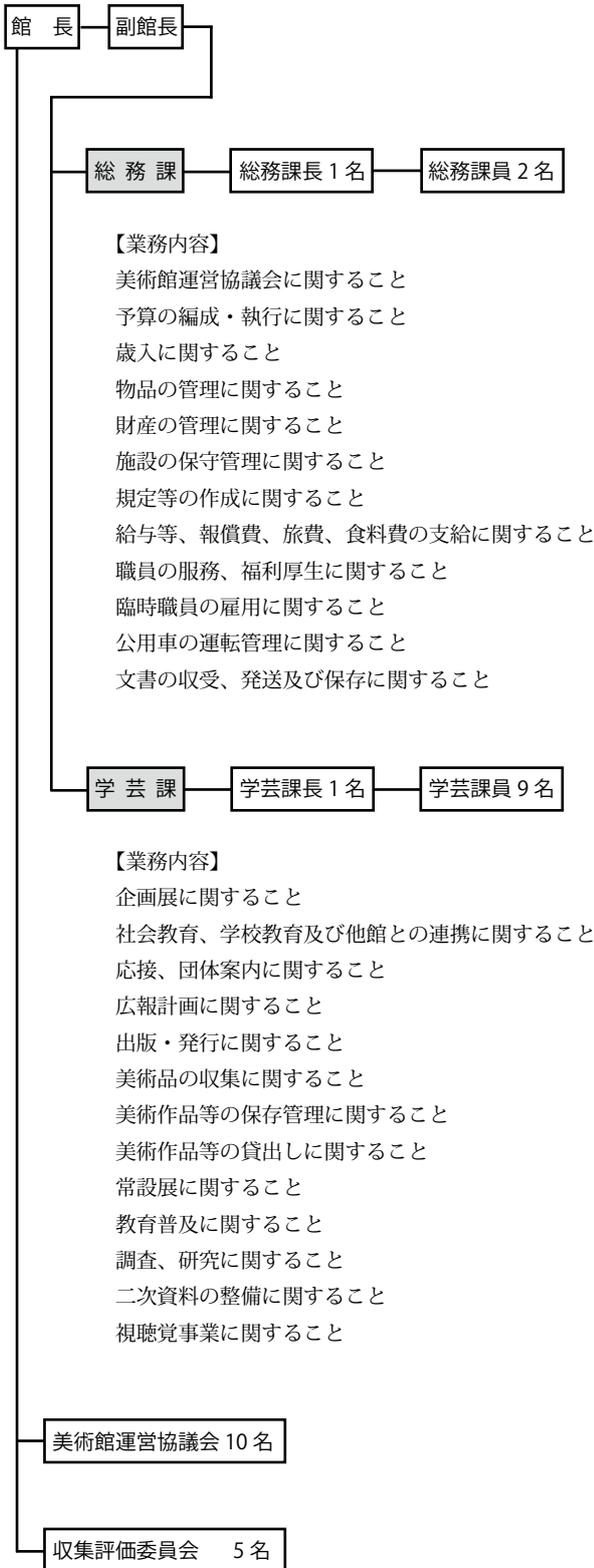
◆部門別専有面積 (*は県立図書館と共用)

サービス部門	1223.8m²
エントランスホール	817.3m ²
受付案内	(ホールに含む)
ブックショップ	(ホールに含む)
ロッカー室	(ホールに含む)
図書コーナー	(ホールに含む)
ロビー	202.1m ²
*軽食喫茶室	179.0m ²
授乳室・救護室	25.4m ²
展示部門	3064.4m²
企画展示室 A (A-1,2,3)	1380.8m ²
企画展示室 B	431.1m ²
	(企画展示室合計 1811.9m ²)
常設展示室 A	403.1m ²
常設展示室 B	359.1m ²
常設展示室 C	143.8m ²
常設展示室 D	132.8m ²
	(常設展示室合計 1038.8m ²)
展示用具室	141.2m ²
展示用具室 2	72.5m ²
収蔵部門	1365.3m²
収蔵庫 A	280.2m ²
収蔵庫 B	368.7m ²
収蔵庫 C	105.1m ²
一時保管庫	51.8m ²
収蔵庫前室	57.6m ²
搬出入口	65.7m ²
荷解梱包室	188.8m ²
梱包倉庫	77.7m ²

荷扱人控室	29.6m ²
燻蒸室	33.3m ²
工作修復室	106.8m ²
普及部門	654.6m²
*講堂	498.6m ²
講義室	73.9m ²
実習室 (準備室含む)	82.1m ²
研究部門	187.2m²
研究図書室	88.7m ²
写真室	98.5m ²
管理部門	1832.7m²
応接室	48.0m ²
副館長室	34.0m ²
事務室 (総務課・学芸課)	174.0m ²
会議室	73.3m ²
館長室	43.2m ²
事務機械室	16.0m ²
警備室	54.7m ²
更衣室	8.7m ²
受付控室	15.4m ²
給湯室	4.4m ²
倉庫	33.0m ²
*機械室	1266.4m ²
車庫	61.6m ²
その他(化粧室・廊下・階段等)	1330.8m²

◆組織図・職員名簿

1. 組織図



2. 職員名簿（2017年3月31日現在）

館長	早川 博明 (2012.4.1-)
副館長	佐藤 泰彦 (2015.4.1-2016.7.31)
同	石幡 敦 (2016.8.1-2017.3.31)
総務課長	菅野 徹 (2016.4.1-)
総務課 主査	曳地香代子 (2012.4.1-2017.3.31)
総務課 同	小形 淳子 (2014.4.1-)
総務課 専門員	玉木 文夫 (2016.4.1-)
学芸課長	伊藤 匡 (文化施設整備室 1982.4.1-2017.3.31)
学芸課 専門学芸員	荒木 康子 (1990.4.1-)
学芸課 同	堀 宜雄 (1989.4.1-)
学芸課 主任学芸員	宮武 弘 (1992.4.1-)
学芸課 同	増渕 鏡子 (1993.4.1-)
学芸課 同	國島 敏 (2012.4.1-)
学芸課 副主任学芸員	紺野 朋子 (2012.4.1-)
学芸課 同	坂本 篤史 (2014.4.1-)
学芸課 学芸員	白木ゆう美 (2014.4.1-)

□利用案内

1. 開館時間

9時30分～17時（最終入館は16時30分まで）

※夜間開館を行うことがあります。

2. 休館日

1) 月曜日（祝祭日をのぞく）

2) 祝祭日の翌日（土日をのぞく）

3) 年末年始（12月28日～1月4日）

※都合により臨時休館を行うことがあります。

3. 観覧料

1) 常設展

一般・大学生：270円（210円）、高校生以下：無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

2) 企画展 その都度料金が変わります。

※企画展の料金で常設展もご覧になれます。

※企画展のみの観覧券は発行していません。

※ふくしま教育週間（11月1日～7日、ただし休館日は除く）

中は、小・中・高校生は企画展料金も無料。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は企画展料金が無料

（それぞれ第1種または1級の方は付き添いの方も無料）

4. 常設展無料

1) 子供の日（5月5日）、県民の日（8月21日）、

敬老の日（9月第3月曜）、文化の日（11月3日）

2) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（それぞれ第1種または1級の方は付き添いの方も無料）

3) 小・中・高校生（団体の場合、引率者も無料）

5. 常設展減額免除

常設展料金無料：大学生が、学校活動の一環で観覧するとき

常設展料金半額：公民館や公共団体が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき

※事前申請が必要です。いずれも引率者は無料となります。

6. 年間観覧券

常設展示・企画展示ともに、購入より一年間有効

（一般・大学生3,000円／高校生1,800円／小・中学生1,200円）

7. 交通案内

1) J R 福島駅（東口）より

電車：福島交通飯坂線「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分

バス：9番バス乗り場より、福島交通もりん2コース「県立美術館入口」下車、徒歩4分

タクシー：約5分

2) 自家用車

東北自動車道・福島飯坂ICより約15分、福島西ICより約20分

※駐車場150台収容

福島県立美術館年報 平成28年度・2016

2017年12月20日 発行

編集・発行 福島県立美術館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

電話 024-531-5511

ファックス 024-531-0447

ホームページ <http://www.art-museum.fks.ed.jp>

印刷

キング印刷株式会社



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

